

関東甲信越地区  
国立大学法人等  
仕事紹介ガイドブック

2020

みらいをひらく

CONTENTS

- P 3 国立大学法人等とは  
P 8 私たちのフィールド  
P 16 私たちのキャリア形成  
P 20 私たちのワーク・ライフ・バランス  
P 22 関東甲信越地区64機関紹介

Develop the future



# みらいをひらく

## INTRODUCTION

国立大学等の各機関は、変化する社会において、より豊かな新しい時代を導くという使命があります。私たちは機関の一員として、緑あふれる環境を守り、歴史を紡ぎ、知を育み、未来に向けてさらなる可能性を広げていきます。大学等の個性と特色を活かした多様な仕事は、あなたの意欲を生かし、活躍できる広大なフィールドです。私たちと共に、未来をひらいていきましょう。



関東甲信越地区国立大学法人等  
職員採用試験実施委員会委員長

サトミ トモカ

里見 朋香

### TOP MESSAGE

このガイドブックを手にしてくださった皆様は、教育や研究、地域・国際貢献、文化・芸術を支援する現場で働くことにどのようなイメージを持っておられるでしょうか。

私たち国立大学等は、2004年4月の法人化により、国の行政機関の一部という位置づけから個々の独立した機関に生まれ変わり、経営の責任と自由が格段に増大しました。職員採用に関しては、関東甲信越地区にある国立大学法人と、大学共同利用機関法人、独立行政法人、国立高等専門学校機構そして放送大学学園が合同で採用試験を実施しています。

今、国立大学法人には、新たな研究領域の開拓、産業構造の変化や雇用ニーズに対応した新しい時代の産業を担う人材育成、地域・日本・世界が直面する経済社会の課題解決などを図りながら、学問の進展やイノベーション創出などへの貢献が求められています。また大学共同利用機関法人には、大学の枠を越えた分野のナショナルセンターとして、研究者コミュニティ全体、大学の機能強化及び社会への貢献が期待されています。独立行政法人は、青少年・女性教育、特別支援教育、教職員・大学支援、大学入試等を支える機関から博物館・美術館、研究所まであり、全国の中核的拠点として幅広い公的分野を牽引しています。

こうした国家的な役割を踏まえて、私たちは、それぞれが未来に向かって特色ある活動を展開しています。必要な職種も多岐にわたります。多様な資質、能力、経験、個性そして「志」を生かすことのできる、創造的で充実した仕事が皆さんを待っています。

## 独立行政法人

(18機関) P32~

国が直接行っていた公共的な事務・事業について、計画的・効率的な運営を行うことで、より良い行政サービスを提供しています。

## 独立行政法人 国立高等専門学校機構

(8機関) P36~

国立高等専門学校(高専)は、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、5年間の一貫教育を行う高等教育機関として、全国に51校、設置されています。それぞれの高専が、自主・自律的に改革に取り組み、社会経済環境の変化に積極的に対応するとともに、高専機構という1つの法人として、スケールメリットを活かした戦略的・効率的な運営を行っています。

## 特別な学校法人

(1機関) P38

法律に基づく特別な学校法人である放送大学学園が設置する大学です。

# 国立大学法人等とは

## 国立大学法人

(26機関) P23~

各国立大学は独立した法人格をもつ「国立大学法人」となりました。国が財政的に責任を持ちながら、自主・自律という大学の特性を活かした運営ができる新しいスタイルです。学術研究の一層の活性化はもとより、教育機能の強化や学生サービスの改善、あるいは、産学連携や地域貢献活動の充実などについて、それぞれの理念をより良く実現できるよう、自主性・自律性を生かした積極的な運営に取り組んでいます。

## 大学共同利用機関法人

(11機関) P29~

大学共同利用機関は、法人化を契機に4つの機関に再編されました。各機関が設置した我が国を代表する中核的研究拠点である大学共同利用機関は、全国の大学の関連研究者のニーズに応え、海外の研究者とも連携を図りながら、最先端の研究領域において大型の実験観測施設・装置を開発し、貴重な学術情報・資料を集積し、これらの共同利用により効果的・先端的な共同研究を推進し、大学院教育や高度な研究者の育成に取り組んでいます。

国立大学法人等は、教育、研究、地域貢献・国際貢献、文化・芸術振興を通じて、社会の発展に寄与するという公共的な役割を担っています。  
各機関は個性と特色を発揮し、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。

## OUR MISSION

### 国立大学法人等のミッション

#### 教育

高度な専門教育と多彩な教養教育を通じて、次世代を担い、多様な分野で活躍する人材を育成します。

#### 研究

基礎的・基盤的研究から独創的な応用研究まで、各機関の強みや特性を生かした研究を行い、人類の発展を支えます。

#### 地域貢献・国際貢献

地域の医療機関、自治体、国内外の教育研究機関と連携し、地域振興や国際貢献活動の中核的機能を果たします。

#### 文化・芸術振興

貴重な芸術作品や標本資料等の収集、保管、展示、調査研究を行うことにより、先人たちの残した貴重な財産を将来世代に伝えます。

# OUR POLICY

## 私たちの仕事

教育・研究機関の活動には、今すぐ役立つものはもちろんのこと、将来の社会を考えて行われている基礎的なものも多くあります。

また、そこで働くことは教育・研究そのものだけでなく、教育・研究をする人、広く社会の人々の生活・地域・時代すべてに対する貢献です。

私たち職員は、変化する社会を広く見つめ、自ら考え、向上心を持って、大学運営のスペシャリストとして、社会のニーズに合った教育、研究、組織運営を行っていきます。未来へ向け、職員として活躍できる場は無限大です。

# WORKING CONDITIONS & WELFARE

## 勤務条件・福利厚生

職員一人ひとりが安心して職務に専念できるよう、各機関は勤務環境の充実を図っています。

※法人化により、職員の身分は「非公務員型」の法人職員となりました。

※各機関ごと、就業規則等により異なります。

### 勤務条件(代表例)

勤務時間	原則として1日7時間45分(週38時間45分)となります。
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)となります。
主な休暇・休業等	<p>年次休暇：年間20日(初年は採用時期により異なります。4月採用は15日) 残日数は20日を限度として翌年に繰り越されます。 (付与日数と繰り越しを合わせて年間最大40日)</p> <p>特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、ボランティア休暇、忌引き等</p> <p>病気休暇：病気やけがの療養のため、必要と認められる期間</p> <p>育児休業：子供が3歳になるまでの間、男女問わず利用できます。ほかに、部分休業や短時間勤務制度もあります。</p> <p>介護休業：配偶者、父母、子等が介護を必要とする場合に利用できます。</p>
給与・手当	<p>初任給は約18万円～22万円程度となります。学歴や採用前の職歴に応じ、決定します。</p> <p>手当は、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当(いわゆるボーナス。6月と12月の年2回支給)等があります。</p> <p>昇給：原則年1回(1年間の勤務成績に応じて昇給します。)</p>

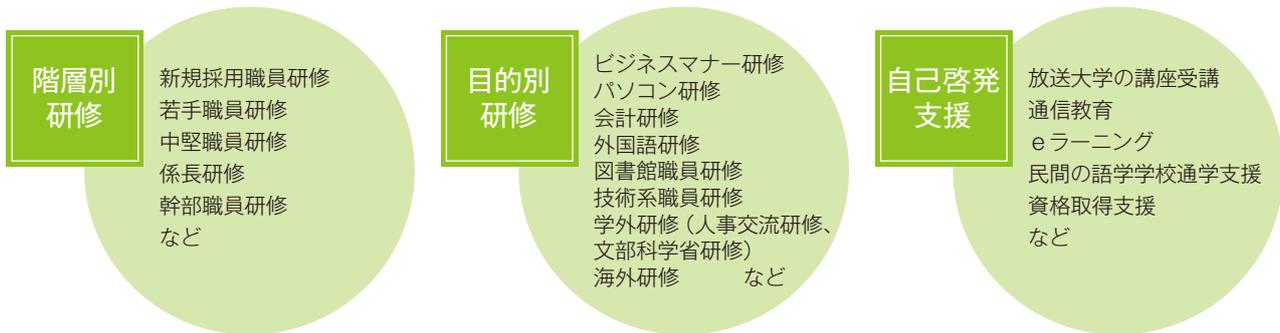
### 福利厚生

健康保険・年金等	文部科学省共済組合等に加入します。
健康管理	各機関では、健康診断の実施、人間ドックの助成を行っています。
宿舎	単身者用・世帯用の住宅を設置している機関もあります。
レクリエーション	機関内・他機関との交流のため、スポーツ大会やサークル活動などが行われています。
施設の利用	各機関の所有する体育館、グラウンド、テニスコート等の各種施設や附属図書館を利用できます。

# TRAINING SYSTEM

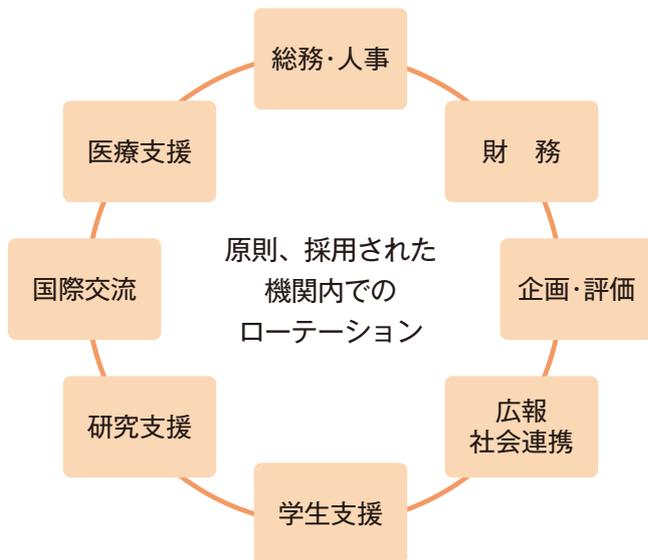
## 研修制度

自ら学ぶ意欲のある職員を支援する環境を整備しています。



# JOB ROTATION

## ジョブローテーション



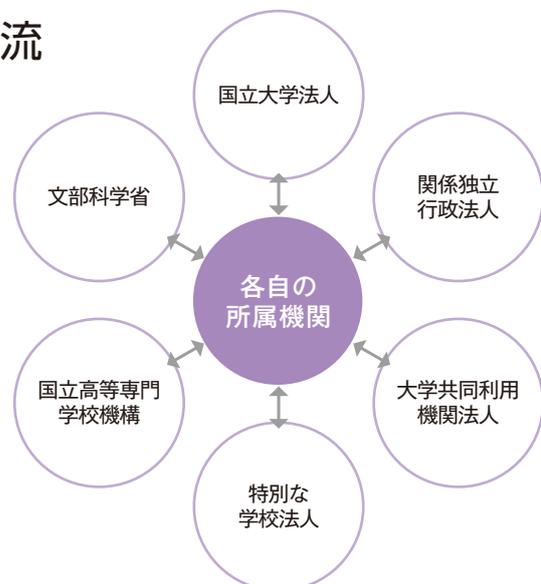
人材の育成を目的として、約2～3年を目安に人事異動を行い、各業務部門を幅広く経験します。

# PERSONAL EXCHANGE

## 人事交流

幅広い視野を持った人材を育成するために、約1～3年の期間を定め、他機関での勤務や、文部科学省等への研修派遣も行っています。

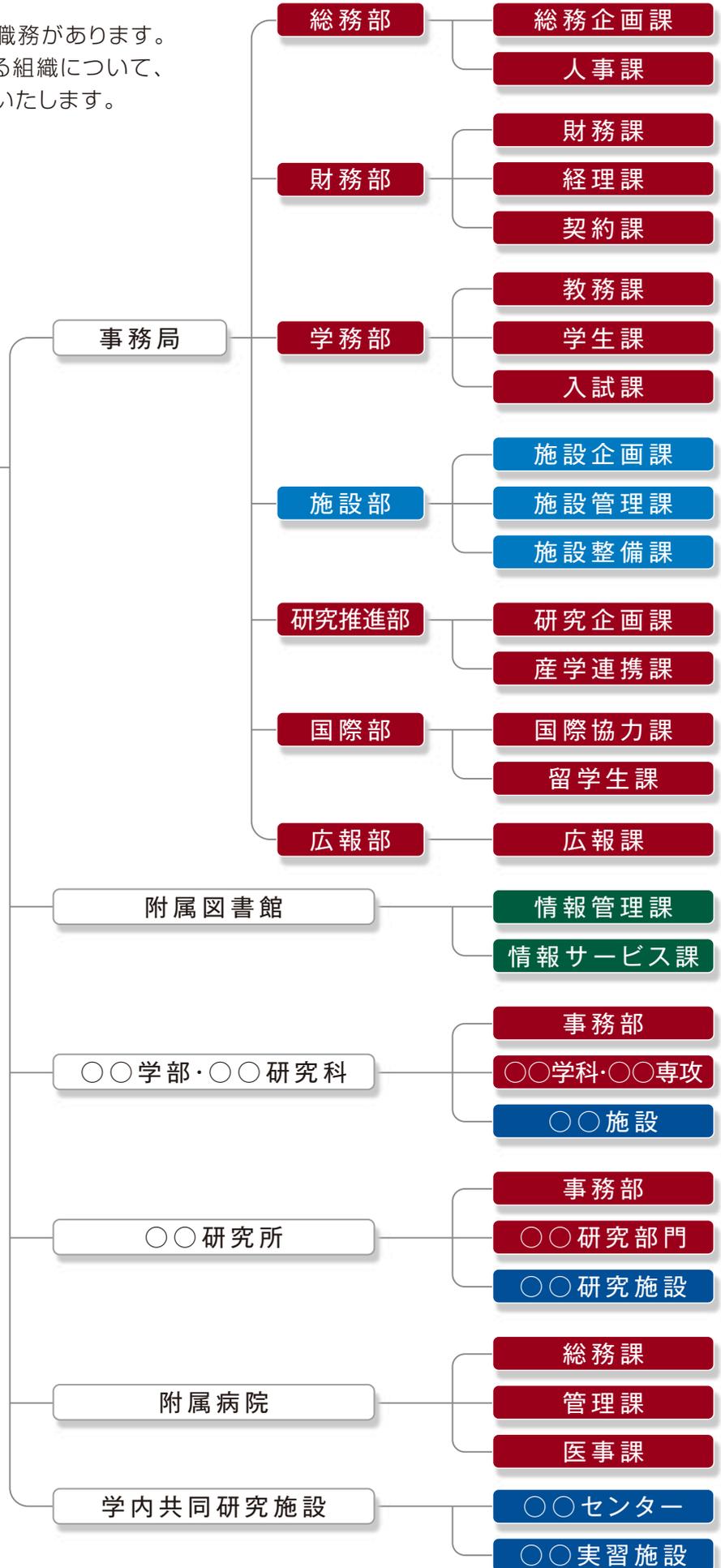
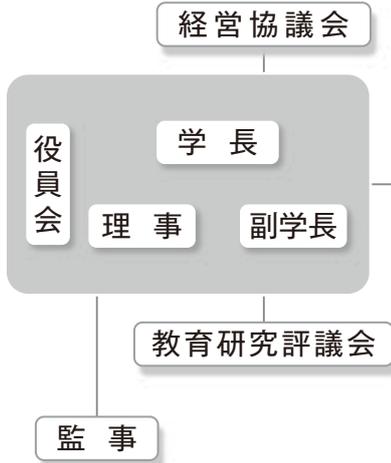
→P19に経験談



このほかに、地方自治体や私立大学、民間企業等で勤務をする場合があります。

## 組織例

国立大学法人等には様々な職務があります。  
採用された場合に配属される組織について、  
国立大学法人を例にご紹介いたします。



国立大学法人等とは  
私たちのフィールド  
私たちのキャリア形成  
私たちのワークライフバランス  
国立大学法人  
大学共同利用機関法人  
独立行政法人  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
特別な学校法人

## 業務内容

各機関では、企画や運営に関わる仕事、学生や研究を支援する仕事、専門知識を活かす仕事など、人事異動により幅広い業務を経験し、多彩なフィールドで活躍することができます。

あなたの活躍するフィールドはどれでしょう？

採用区分			
事務	学生支援 → P8	学生の入学から卒業までを学業面、生活面から支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学籍管理、修学指導、成績データの処理</li> <li>●奨学金、授業料免除、学生の健康管理、生活指導</li> <li>●就職サポート</li> <li>●大学入試センター試験・個別学力試験の実施</li> </ul>
	広報・社会連携 → P9	機関の教育研究活動の内容やその成果を社会に発信する役割を担います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報活動の企画・立案・実施</li> <li>●情報公開に関する業務</li> <li>●地域貢献活動(公開講座、出前授業等)の企画・実施</li> </ul>
	企画・評価 → P10	機関を発展させるための企画・立案を担います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●将来計画、大学改革</li> <li>●中期目標、中期計画、年度計画</li> <li>●大学経営の企画・評価(外部評価、自己点検評価)</li> <li>●業務改善推進</li> </ul>
	国際交流 → P10	海外との学術交流・学生交流の推進を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外の大学・研究機関等との学術交流事業</li> <li>●外国人研究員等の受入、教職員の海外派遣</li> <li>●留学生の受入、学生の留学支援</li> <li>●地域社会と留学生の交流事業</li> </ul>
	研究支援 → P11	研究の助成、産学官連携の推進を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受託研究・民間との共同研究等の外部資金受入</li> <li>●知的財産の管理</li> <li>●寄附講座・寄附研究部門の設置・運営</li> <li>●地域研究拠点の運営・推進</li> </ul>
	医療支援 → P11	高度先進医療を担う附属病院の管理運営業務を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外来患者の受付、入退院の手続、医療情報の管理</li> <li>●診察・入院料金の計算・収納</li> <li>●地域連携医療、災害医療支援、病院再開発計画の策定</li> <li>●病院経営にかかる情報の収集・分析</li> </ul>
	総務・人事 → P12	事務全般を総括し、機関や教職員を支えるための幅広い業務を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教授会・評議会等の会議運営</li> <li>●入学式・卒業式等の式典運営</li> <li>●規則の制定・改廃</li> <li>●教職員の採用・昇任・異動・給与・研修・福利厚生</li> </ul>
	財務 → P12	組織運営に必要な財務上の計画や管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織運営に必要な予算の要求・執行</li> <li>●各種物品の契約・購入・管理</li> <li>●授業料・検定料・入学金等の収入金の出納</li> </ul>
図書	図書 → P13	教育・研究のための学術情報の提供を行います。 <small>※司書の資格は必要ありませんが、図書館学概論等の専門的知識が必要です。</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書の貸出・返却、利用案内</li> <li>●図書雑誌の購入・受入・分類・目録作成</li> <li>●他機関との相互利用に関する業務</li> <li>●利用者の情報リテラシー教育</li> </ul>
電気、機械 土木、建築 化学、物理 電子・情報 資源工学 農学、林学 生物・生命科学	技術(施設系) → P14	キャンパス内の多種多様な施設に関する計画、施工から保全等の業務を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャンパスマスタープラン作成</li> <li>●新築・耐震改修等の計画・調査・設計・積算・検査</li> <li>●工事の発注、工事現場監理</li> <li>●省エネルギー対策の策定</li> </ul>
	技術(教育・研究支援系) → P15	専門知識を活かし、技術面から教育・研究活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データ解析、計測・観測技術の開発、試料作製</li> <li>●学生の実験等の技術支援・助言</li> <li>●研究・実験機器等の設計・開発・維持・管理</li> <li>●ネットワーク・システムの管理・運営</li> <li>●電子計算機利用の知識・技術の普及</li> </ul>

※なお、上記の業務内容は、国立大学等の代表的なものであり、機関の設置目的や規模、事業内容等により異なります。

# 私たちのフィールド **事務**

## 学生支援



### 「和」コミュニケーションを大切に。

埼玉大学  
大学院理工学研究科支援室  
理工研係  
平成25年度採用

キノ アイコ

木野 愛子

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

入試はミスが起きないように細心の注意を払う必要のある、シビアな業務であると思います。その中で着々と準備を進め、滞りなく進行できたときは、安堵とともに達成感を得られます。また、エネルギッシュな学生や、文化の違う留学生、博識な教員等、多種多様な方と接することができるのは大学ならではの魅力だと思います。

### Q1. 現在の仕事内容について

主に大学院の入試を担当しています。具体的には、募集要項の作成、出願受付、入試実施に関わる書類の作成や管理、試験会場の設営、試験本部としての対応、合格発表、入学手続きが一連の流れとなります。こうした入試業務は、入試担当の教員と連絡を取りながら進めていき、調整やとりまとめを行います。

また、窓口に来た学生への対応もしており、履修・成績に関する質問に答えたり、様々な提出書類のチェックを行ったりもしています。留学生が多く在籍しているため、英語での対応を求められることもあります。

### Q3. 職場の雰囲気を教えてください

何事も相談できるような、和気あいあいとした雰囲気です。育児のため残業ができない私をフォローし、業務を調整してくれることがしばしばあり、大変恵まれた環境であると有難く思います。また、大学は施設が充実しているので、昼休みや就業後にテニスやフットサル、バドミントンなど、スポーツを楽しんでいる方が多いです。



### 柔軟に、前向きに考える。

東京大学  
教養学部等教務課  
前期課程第二係  
平成23年度採用

ホンダ ヒロノ

本田 ひろの

### Q1. 現在の仕事内容について

東京大学では、全ての学部学生が1・2年生の間「教養学部前期課程」で学びます。私が働く部署では、前期課程の学生約6600名の学籍・授業・履修・成績管理等、教務全般を担当しています。私の担当は、定期試験や授業(時間割)、学籍管理です。

時間割を例に挙げると、前期課程の授業は年間3500コマ以上あるため、それらが適切に開講されるよう調整を重ね、教員と密に連絡を取り合い、念入りな準備とシステム運用を行う必要があります。窓口での学生のサポートはもちろん、窓口からは見えないところでも本学での学びを支えています。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

アカデミックな環境、緑豊かなキャンパスで、個性豊かな学生や教員と日々接しながら仕事ができるのは、私にとって非常に魅力的です。目の前にいる学生のための仕事であると同時に、長い目で見ると、教育・研究をサポートすることで社会の未来に貢献できる仕事であるということに、使命感とやりがいを感じます。

### Q3. 職場の雰囲気を教えてください

コミュニケーションを取りながらチームで行う仕事が多いため、和気藹々とした雰囲気です。日々の業務は地道で細かな作業が多いですが、ガイダンスやオープンキャンパス、入試等のイベントごとも多く、メリハリがあります。教務の仕事は忙しさの緩急もはっきりしているので、計画的な休暇が取りやすいのも魅力に感じます。

4月・5月	新入生を迎え、キャンパスは一気に賑やかに。 この時期は履修相談が多く、一日中窓口に立っていることもあります。
6月・7月・8月	夏休み前の試験期間には、9日間で約500コマ分の試験が行われるので、2か月以上かけて丁寧に準備します。
9月・10月	新学期も窓口対応におわれますが、履修登録が終わるとほっと一息。 10月にはフレッシュ休暇で長期のお休みを取得予定です。
11月・12月	次年度の時間割準備のため、先生方との会議や打ち合わせを行う機会が多くなります。
1月・2月	定期試験は年に4回行われます。この時期は大学入試シーズンでもあるので、部署全体が慌ただしい雰囲気に。
3月	次年度に向けた準備のため、新入生のクラス編成や入学手続きの対応を行います。一年で最も忙しい時期です。



### 学生第一。学生を待たせない、困らせない。

長野工業高等専門学校  
学生課教務係 主任  
平成19年度採用

サトウ ユウ

佐藤 優

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

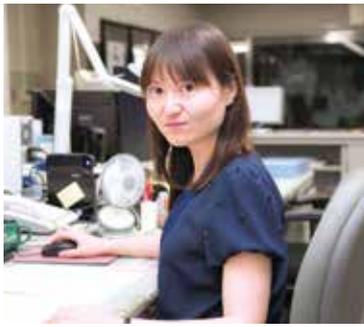
学生の人数が多く、対応する件数も多くなるため、それら素早く対応する必要があります。最初は時間がかかった業務が効率よくできたときは、自分の成長を感じることができます。また、中学校を卒業したばかりの学生が日々大人らしくなる姿に、成長が感じられて嬉しく思います。

### Q1. 現在の仕事内容について

入試業務や各種証明書発行業務のほか、主にインターンシップ参加手続き、教科書、教材の注文受付、選択科目の履修手続きを担当しています。入試のある年度末や、学期の初めは、特に忙しい時期です。学生の窓口対応のほか、教員との連絡調整をしたり、インターンシップ実施企業や書店と連絡をとったり、様々な人と関わります。学生からの質問には、すぐに回答できるように、日々学則の勉強と準備が大切です。

### Q3. 人事異動を経験して感じたことはありますか

今まで庶務系の事務をしていましたが、学務系の事務は、多くの学生に対応することが、忙しくもあり、重要な業務と感じます。窓口対応では、わかりやすく説明するように心がけています。また、どの部署でもそうですが、根拠となる規則をしっかり理解していることが必要です。



前向きに、誠意、向上心をもって取り組む。

信州大学  
総務課広報室  
平成26年度採用

カトウ アリサ  
**加藤 有沙**

Q1. 現在の仕事内容について

私の所属する広報室では、広報誌の発行や報道機関からの取材、記者会見の対応、プレスリリース、代表メール・代表電話からの問合せ対応、大学ウェブサイトやFacebook等のサイト運営・管理、動画配信、学内メールマガジンの配信、各種統計調査・アンケートの対応、同窓会業務など、広報活動をするにあたり日々幅広い業務を行っています。

私は主に大学概要などの刊行物の発行、学外からの問合せ対応、学内メールマガジンの配信、各種統計調査・アンケートの対応、プレスリリース配信などを行っています。

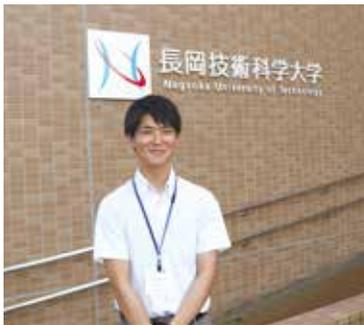
Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

広報室は外から見やすい部分の業務を行う場所であり、同時に緊張感も求められる場所でもあります。自分の大学について日々外に向けて情報発信し、アピールする業務に携われるのがやはり一番の魅力だと感じます。大学を紹介する広報誌や動画の制作などは、大変な時もありますが楽しくやりがいを感じます。

Q3. なぜ国立大学法人等職員を選んだのですか

私は信州大学出身で、学部・大学院と過ごしましたが、就職活動の際、周りは専門性を活かし技術職に就く人が多い中自分はどうしようかと考えた時、長年お世話になった母校についてもっと知り貢献したいと思い、また大学には様々な部署・役割があり幅広い経験が積めること、働きやすさ等も考慮して今の職場を選びました。

8:30	その日のスケジュールやメールを確認。大学に関する記事をチェックするため、新聞を確認し、関連記事を拾い上げます。
9:30	代表メール・電話などの問合せ対応や、その他庶務(会計書類の確認等)
12:00	昼休み、仲の良い外国人教員と一緒に昼食をとることもあります(英会話のスキルアップにもつながります)。
13:00	学外からの統計調査・アンケートに回答するため、学内の関係部署に照会したデータを取りまとめます。
15:00	刊行物の発行にあたり、校正作業を進めます。
17:15	退 勤



迅速かつ正確な仕事を心がけています。

長岡技術科学大学  
大学戦略課企画・広報室  
平成27年度採用

イトウ ヒロキ  
**伊藤 大貴**

Q1. 現在の仕事内容について

大学も様々な情報発信を行う中で広報関係の仕事があり、私は主に入試広報を担当しています。オープンキャンパスの全体計画から当日の運営を行い、また、受験生向けの広報資料作成や各種進学説明会等のイベントへの対応などを行っています。進学説明会のようなイベントとは別に、実際に高校へ訪問することもあります。

入試広報以外では、定例記者会見や報道機関へのプレスリリース、取材の対応、公式ホームページの更新、広報用パンフレットの作成なども行っています。仕事を進めていく上で他部署と連携・協力しながら行っています。

Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

新しいイベントやパンフレットを企画する段階、また、日々の業務の中で、どのようなコンテンツがあるとターゲットとなる人たちにとってより良いものになるかなどを考えながら仕事を行うので、非常にやりがいを感じています。自らが考えたアイデアが実現し、実際に形になるのは広報ならではの醍醐味だと思います。

Q3. 職場の雰囲気を教えてください

私の部署はとてもアットホームな雰囲気なので、上司や先輩へ仕事に関することや仕事以外の相談もしやすく、親身に相談にのってくれます。また、先輩や同期と一緒に食事等に行くことも多く、とても雰囲気の良い楽しい職場です。

8:30	メール、スケジュール確認後、本学関連の新聞記事の確認。
9:00	広報関係の会議資料の作成、各種広報原稿の作成など。
12:00	昼 食
13:00	問い合わせに対する対応、先生や学生と広報誌、パンフレット作成等に関する打ち合わせを行います。
15:00	パンフレット等の校正を行います。
17:15	翌日のスケジュールを確認し、退勤します。

## 企画・評価



### データは大切だが、それに踊らされるな。

東京海洋大学  
企画評価課評価係 主任  
平成18年度採用

ワダ ミサキ

和田 美咲

4月～6月	前年度の大学の業務計画に対する評価を取りまとめて文部科学省へ提出します。
5月～7月	「学校基本調査」「科学技術研究調査」といった大学全体を対象とした調査が実施されます。各課に回答依頼をし、取りまとめて回答します。
7月～9月	「法人評価データ」や学内の教員データベースを入力するためのデータを集めます。
9月～11月	研究業績など、事務では把握できないデータを教員に入力してもらい、集計して教員評価用のデータを作成します。
10月～11月	年度計画の9月末までの実施状況について中間評価をおこない、進捗を確認します。
12月～3月	様々な周期で各種の評価を実施するため、毎年の業務の間に準備をおこなっています。

### Q1. 現在の仕事内容について

企画評価課は、大学の業務に関する目標や計画を取りまとめたり、実績データを集めて評価をおこなったりしています。企画係が今後の方針を決めていくといった性質の業務を担当し、評価係は係名どおり、その評価をおこなうことが主な業務となります。

大学のあらゆるデータを取り扱っており、大学全体を対象とした調査統計を取りまとめたり、教員の業績を入力いただくデータベースを管理し、それらを使用して大学や教員の評価に役立てていくことが主な仕事です。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

法人も教職員も何らかの指標で評価を受けることは避けられませんが、大学もそこで働く教職員もそれぞれの特色や個性があり、そこから生み出されるものはまさに多様です。そんな様々な実績にふれられるのも魅力ですが、それらをいかに汲みとって評価や大学のアピールに生かしていくか工夫することは、やりがいを感じます。

### Q3. 実際に仕事をしてみて、就職前とのギャップはありましたか

最初に配置された「教務課」は、学生さんに窓口で履修方法を説明したりと、まさに就職前に持っていたイメージ通りでしたが、次の「研究推進課」は、共同研究相手の企業の方が訪ねてきたり、契約書や特許を扱ったりと堅めな一面も。現在所属の「企画評価課」は、役員の対応も多く…異動の度に異なる緊張感を味わっています。

## 国際交流



### 最善を尽くす。

大学改革支援・学位授与機構  
国際課高等教育情報室日本教育情報係  
兼高等教育資格承認情報センター日本教育情報係  
平成28年度採用

クニシゲ タケシ

国重 健

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

海外出張時に日本の教育制度に関して質問を受けたり、日頃から国内外の方から問合せを受けていますが、我々の提供する情報によって疑問が解消され問題が解決されたときには、やりがいを感じます。

また、業務を通じて実践的な語学力が磨かれていくことや、国内外の教育制度に関する知識が深まっていくことは魅力の一つです。

### Q3. 休みの日の過ごし方を教えてください

リフレッシュのためのんびりと過ごすことが多いですが、映画を観るときは字幕を英語にしたり、海外の情報番組を視聴したりと、娯楽の中でも他言語に触れる機会を設けるようにしています。

また、それらの成果を明確にし、モチベーションを高めるためにも、機構の研究修等助成制度を利用して、資格試験を受験したりしています。

### Q1. 現在の仕事内容について

令和元年9月に開設された日本公式の国内情報センターである高等教育資格承認情報センターで、日本の教育情報を国内外に向け発信する業務を担当しています。

具体的には、センターのウェブサイトにおいて日本の高等教育制度や高等教育機関の一覧を整備し、掲載情報に関する国内外からの問合せに対応しています。また、毎年海外出張の機会があり、海外の高等教育の最新動向を調査したり、海外の教育関係機関の方々との交流を深め、今後の協力関係の基盤づくりをするとともに、時には日本の教育制度や機構の業務についてプレゼンテーションを行うこともあります。

9:00	メールの確認・対応は随時行います。
10:00	海外の教育関係機関から機構に来訪されることがあり、覚書の締結や情報交換を行います。今年度はイタリアの機関からの来訪者があり、私は機構の業務についてプレゼンテーションを行いました。
12:00	昼食。一度帰宅して食事をとることが多いですが、他の職員と外食に行くこともよくあります。
13:00	国内外から日本の教育制度、資格、高等教育機関等に関する問合せを受けるため、法令等を確認し回答を作成します。
15:00	国内外での調査等を外部業者に委託することがあり、企画や進捗確認のために定期的に打合せをします。
17:45	至急の仕事がなければ定時に退勤します。

## 研究支援



### 簡単に「できない」とは言わない。

東京医科歯科大学  
統合研究機構事務部  
産学連携係 係長  
平成20年度採用

フカボリ ヒデアキ

深堀 英章

8:30	メールをチェックし、返信等の対応をします。 文部科学省からの調査に回答するため、統計を整理します。
11:00	理事との週1回の定例打ち合わせで、新組織の企画・規則改正・研究戦略会議の議題・契約案件に関する報告・相談をします。
12:00	昼食。気分転換のため、大学の外で食事を摂ることが多いです。
13:15	知的財産専門チームの週1回の定例会議に出席します。事務局としての意見を求められたり、規則改正の要望をもらったりします。
14:30	大学の研究者・企業の方との打ち合わせに参加し、活動目的に合わせた契約形態を提案します。
17:15	翌日以降に処理する業務をメモに書き出して退勤します。残業がある日も多いですが、月曜日・金曜日は定時退勤を心がけています。

### Q1. 現在の仕事内容について

- 1) 企業等との契約締結事務…研究者が研究活動を行うために、大学は企業や研究機関などと様々な形態の契約を締結したり、申請をしたりしますが、大学の知的財産の専門チームと協力しながら、業務を遂行します。
- 2) 企業が関係するリスクマネジメント…企業との関係における、情報管理、法令遵守、そして大学の適正な業務執行を妨げかねない利益相反のマネジメントを担当します。
- 3) 大学の研究戦略会議の運営…大学の研究戦略を検討する会議の運営に携わり、会議で立案した戦略の実現に向けて各種調整を行います。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

大学という「教授」「学生」というプレイヤーが主人公のいわば「閉じた」組織と思われがちですが、今や大学は企業をはじめとする外部社会との関わりなしには考えられません。報道や街中でよく名前を見かける企業、最先端の研究や新進気鋭の研究者に接することができるのは大きな魅力だと思います。

### Q3. 職場の雰囲気を教えてください

東京医科歯科大学に採用されてから、現在の部署（統合研究機構事務部）は4部署目ですが、比較的年齢層が低めで、女性比率が高いのが特徴です。個人で特定の案件を担当することが多いですが、役職間の垣根が低く、困ったことや分からないことがあっても、相談しやすい環境にあります。



### 「何のために」の問いかけを忘れない。

東京工業高等専門学校  
総務課総務企画係 専門職員  
平成22年度採用

タキモリ カナエ

瀧森 佳奈枝

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

総務企画係に配属され、国内外から視察に来校される方に対し、学生が研究内容や開発したことを堂々とプレゼンする姿を見て、改めて、未来を担う学生のために働けることが魅力と感じています。

担当業務においては、常に無駄なことや改善できることはないかを考えていますが、少しの工夫でもスムーズに進むとやりがいを感じます。

### Q1. 現在の仕事内容について

私が所属する総務企画係では、主に教員の研究のために必要な事務手続きや、国内外の教育機関や企業などとの連携に関する業務を行っています。

例えば、科学研究費助成事業への申請や採択時の手続き、企業との共同研究などの契約手続き、知的財産の管理、地域の小中学校への公開講座や出前授業の企画・実施などがあります。学生の成果発表の場となるフォーラムの企画・運営事務も担当しています。

係内はもちろん、教員や他部署の職員、企業の方、地域の方など、多くの方とコミュニケーションをとりながら、協力して進めていく業務が多いです。

### Q3. 職場の雰囲気を教えてください

小さい組織のため、職員同士のコミュニケーションがとりやすく、また、若いうちから仕事を任せてもらえる環境だと思います。

私は4月に育児休業から復帰し、育児短時間勤務制度を活用しながら仕事をしています。育児や介護への理解、多方面からのサポートを受けながら、両立して働いている方は私以外にも多数います。

## 医療支援



### 相談されたら、たらい回しにしない。

筑波大学  
病院総務部管理課  
契約管理係  
平成24年度採用

シオザワ ユウゴ

塩澤 雄吾

8:45	子どもがまだ小さいので、勤務時間を15分スライドする申請をしています。
9:30	業者へ必要書類提出の依頼、担当部局への電話確認
12:15	昼食。病院の食堂以外に大学の食堂や外のお店へ食べに行くことも多いです。
13:15	月末に納品される食器洗浄機について、当日のスケジュールや人員の割り振り、事前通知の作成等を栄養管理室と相談
16:00	支払伝票の作成
17:30	翌日の業務を確認して、退勤

### Q1. 現在の仕事内容について

病院の計画に基づく医療機器や研究機器、厨房機器の購入・保守契約や、病院から出る廃棄物の収集運搬・処分に関する契約、患者様の給食に係る配膳下膳及び食器洗浄の外部委託契約、臨床検査や人間ドックの契約等の様々な契約業務や物品の発注・支払い業務等を行っています。

金額の大きい契約については、業者の見積書や積算資料等を用いて予定価格を作成し入札を行っており、なかには総額で1億円を超える契約もあります。契約する内容が多様で、普段の生活では目にすることのない高額の契約が多いことが現在の仕事の特徴です。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

限られた予算の中でより良い医療を提供するために、【経営】を意識して業務に取り組んでいます。可能な限り安い価格で契約することで、数%の値引きであっても百万円以上の費用削減につながる場合もあり、そうした1つ1つの努力が病院環境の改善につながり、患者様のために貢献出来るのが大きなやりがいだと思います。

### Q3. 職場の雰囲気を教えてください

分からないことがあれば気軽に相談できる人や、仕事に対して尊敬できる人が多い職場です。課全体の雰囲気も良く、歓送迎会や暑気払いといった定期的な集まりで全員が集まることもあります。また、自分の仕事でなくても、手が空いていたり他の方が忙しい時は手伝ったり協力して取り組むことに抵抗のない、素晴らしい職場です。

# 総務・人事



## 一生懸命、日々精進。信頼される人になる。

東京農工大学  
小金井地区事務部総務室  
係長  
平成15年度採用

ツカモト エナミ

塚本 江波

毎月第一第二水曜日	<b>運営委員会打合せ</b> 工学研究院長をはじめ、執行部の先生方と各事務部門の責任者で開催される運営委員会の内容を事前に確認します。当日は資料配付、会場設営の後は進行役を担当します。
毎月第一第二水曜日	<b>運営委員会の運営</b> 工学研究院内の各部門長の先生方、事務部門の責任者、担当者が出席する委員会です。資料の配付、会場設営、出欠確認の後は会がスムーズに進行するよう黒字に徹します。
隔月第二週水曜日	<b>教授会の運営</b> 当日は資料配付・会場設営に加え、審議事項の可否は投票システムを使って集計するため、システムの操作も担当します。
毎月第四週翌第一週	<b>翌月の運営委員会・教授会準備</b> 議題・資料を収集し、打ち合わせの資料を準備します。タイムスケジュールも含めて全体の流れをシミュレーションし、不安な部分は事前に各担当に確認し、解消しておきます。

### Q1. 現在の仕事内容について

平成15年10月に採用され、研究協力課で約5年、人事課で約10年の勤務の後、昨年度4月に小金井地区事務部総務室に配置換えとなり、1年半が過ぎました。主に工学研究院の運営委員会や教授会の運営、工学研究院長や教育研究評議員の選挙事務、各種調査のとりまとめや外部からの問い合わせ対応などを担当しています。また、これら通常業務に加えて、現在は教授会で使用している投票システムを新しいものに入れ替えることとなり、システムの開発を担当していただく業者さんとの交渉や学内の関係部署との調整等々を行っています。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

担当する業務によって、感じる魅力も違うかもしれませんが、国立大学という職場はこの国の高等教育を担う素晴らしい研究者である先生方の近くで仕事ができること、先生方のお話が直に聞けること、いろいろなことを学べるところが魅力的だと思います。

### Q3. 休みの日の過ごし方を教えてください

平日にやり残した家事の片付けなどをこなしていると、週末はすぐに終わってしまいますが、昨年度子供の受験が終わったこともあり、最近、長い休みには、車であちこち出かけることができるようになりました。ピカピカに磨いたお気に入りの車で颯爽と走り、おいしいものを食べ、お土産をたくさん買い込んで、幸せな気分になりながら家路につきます。人として興行のある人間になれるように休みの日の使い方を考えるようになりました。



## 資料の作成方法等を丁寧に確認すること。

国立特別支援教育総合研究所  
総務企画課人事係  
平成27年度採用

タカハシ イツペイ

高橋 一平

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

病気やケガの給付等、職員の私生活に関わる仕事なので、職員との距離感を近いものと感じることができ、どうすれば問題を解決できるか共に考えていけることに魅力を感じています。覚えるべき規則等が多く、仕事に慣れるまでが大変でしたが、幅広い業種の経験を積むことができ、やりがいを感じています。

### Q1. 現在の仕事内容について

職員が加入する文部科学省共済組合支部に係る仕事を担当しています。組合の加入・脱退に関する手続きや、病気やケガをした職員への必要な給付の実施、インフルエンザ予防接種等の企画・実施、資金を必要とする職員への貸付等を行っており、職員の生活を支え、安心して働けるようにするための様々な仕事をしています。

また、月に一度文部科学省にある共済組合本部に対し、前月中の職員数や収支の状況等を報告したり、他の国立大学法人等へ異動となった職員の情報を異動先の機関へ提供したりする等、外部の機関と関わる仕事もあります。

### Q3. なぜ国立大学法人等職員を選んだのですか

大学生の頃に自閉症の方の外出支援をするボランティアに参加したことがあり、そこで人に応じた様々な支援をしていくこと、周囲の方々へ理解を求めていくことの大変さを知りました。この経験から障害者支援に携わる方々の役に立てればと、就職先を探していた時に、当研究所の存在を知り、受験しました。

# 財務



## 報告・連絡・相談を心がけています。

千葉大学  
財務部経理課支払係  
平成30年度採用

オカヤス リナ

岡安 里奈

初旬	教職員の給与振込先口座の新規登録や変更、登録内容の確認をします。
中旬	他の職員が入力した伝票の内容を確認します。伝票から読み込んだ支払情報をネットバンキングに取り込み、銀行へデータ送信します。
中旬	論文掲載料や学生の留学プログラム費用、物品購入費等、海外の企業や大学に支払をします。
下旬	給与や謝金等にかかる所得税を集計し、納税します。
随時	納付書のみで支払うものや、海外からの招聘者に現金で謝金や旅費を支払う場合、小切手を作成して銀行窓口で振込や現金の引き出しをします。

### Q1. 現在の仕事内容について

経理課支払係では、大学全般の支払業務を担当しています。主な仕事は、インターネットバンキングや銀行窓口での支払手続き、支払伝票の内容確認、振込先口座情報の管理、小切手の作成です。給与や謝金、物品の購入費、税金、光熱費、海外留学のプログラム費用など、支払内容は多岐にわたります。そのため、業務を正確に遂行することが求められます。他の職員と協力して確認作業を行い、ミスのないよう細心の注意を払っています。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

研修制度が充実しているので、仕事を通じて新しい知識やスキルを身に付けられることが魅力の一つだと思います。間接的ではありますが、円滑に業務を進めることで、大学の研究や学生を支援できることにやりがいを感じています。効率よく仕事ができるよう、日々努めています。

### Q3. なぜ国立大学法人等職員を選んだのですか

教育学部出身であることや、ボランティア活動を通して様々な人と出会った経験から、教育に関係し多くの方と関わる仕事がしたいと思いました。大学は教育の専門機関であり幅広い業務に携わることができること、外国人留学生も多いことから、自分に合った仕事ができると思い、志望しました。

## 過ぎたるは猶及ばざるが如し。



物質・材料研究機構  
総務部門経理室財務第1係  
係長  
平成20年度採用

ササキ ヨシノリ

佐々木 良宜

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

会計業務は独立行政法人通則法、独立行政法人会計基準など様々な法令に基づいて行われます。これらを理解しながら日々の業務や期末の決算業務を行い、財務諸表としてまとめるのは苦労しますが、年間を通してはルーチンワークであって計画を立て易く、これを滞りなく成し遂げることによりやりがいを感じています。

### Q1. 現在の仕事内容について

会計業務のうち月次や四半期、年次の決算業務を担当しております。月次決算では法令に沿った計算書を作成し会計検査院へ提出し、四半期報告では予算執行状況から把握した機構の運営状況を役員等へ報告しています。また、年次決算業務では1年間の会計情報を財務諸表や財務報告書としてまとめ、機構役員に内容報告し、その後、文部科学省や会計検査院に説明を行っています。

また、税務担当として税務に関する様々な情報を集約し、機構内に周知するなど、会計上の注意点が機構の業務に適切に反映されるよう努めています。

### Q3. 職場の雰囲気を教えてください

普段は各自割り当てられた業務を淡々とこなしておりますが、業務を進めるうえでわからないことや、疑問に思ったことがあれば上司や同僚に相談し、その場で解決を図っていく雰囲気があります。また、特定の職員のみ業務に偏ることがないように係長間で調整するなど、経理室が丸となって業務に取り組んでおります。

## 私たちのフィールド 図書

### 図書



### 草の根を分けてでも文献を探す!

東京工業大学  
情報図書館課利用支援グループ  
平成30年度採用

イナゲ マサタカ

稲毛 真隆

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

教員や学生の求めに応じて、他大学の図書館等へ論文の複写を依頼することが、私の仕事の一つです。

データベースなどを駆使し、必要な論文を探し出し、依頼者へ提供します。論文を実際に提供できた際は、直接お礼を言っていただけることも多く、それは大きな魅力の一つだと思います。

### Q1. 現在の仕事内容について

現在の主な仕事は、ILLサービス(大学等の図書館間で図書や複写を提供するサービス)です。

東京工業大学附属図書館は、「外国雑誌センター館」に指定されており、貴重な理工系の外国雑誌を多く所蔵しています。その貴重な資料は、ILLサービスにより、他の大学図書館や研究機関にも提供しています。特に、年間での複写受付件数は全国有数であり、毎日のように多くの申込みがあります。

また、カウンターでの利用者対応(貸出・返却等)や、館内で行われる企画展示、ライブラリーツアーといった館内案内も行っています。

### Q3. 休みの日の過ごし方を教えてください

散策や旅行が好きでよく出かけています。

国立大学法人は全国にあるので、様々な土地に行き、図書館を見てまわったりするのもとても面白いです。

旅行するほど時間のない時は、公園を散策したり、その近辺の美術館に寄ってみたい、そんな自由な時間の使い方をしています。



### 最善はしばしば善の敵になる。

上越教育大学  
学術情報課図書館チーム  
主任  
平成23年度採用

シモジョウ ヨウスケ

下城 陽介

### Q1. 現在の仕事内容について

図書館の窓口対応や、学外からの複写物の取り寄せ、学生さんへの情報検索の講義や研究紀要(大学が発行する学術雑誌)の発行手続き、図書の選書やリポジトリ(論文などを電子媒体で保存し、公開するシステム)の運営をしています。

2019年度は図書館改修があるため、資料や物品の移動なども行いました。改修は何十年かに一度の大作業なので、図書館職員と、時には施設課職員も加わって、何度となく打ち合わせを行い準備しました。

また、オープンアクセスリポジトリ推進協会の作業部会員として、研修講師などを行っています。

### Q2. 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

日々増加していく本や雑誌に触れることで、「この世には自分の知らない知識や情報がたくさんあるんだなあ」と圧倒されます。また、学生さんや先生方に図書や雑誌を利用してもらえる、「研究や学習の役に立っているんだなあ」と感じます。「圧倒的な未知との遭遇」と「利用者への貢献感」が魅力です。

### Q3. 休みの日の過ごし方を教えてください

子どもと遊んでいることが多いです。将棋をしたり、プールに行ったりしています。また、ほぼ1年に1回ですが、大学図書館や公共図書館を見学するために、旅行に出かけます。いろんな図書館で、自分の図書館に取り入れられるサービスや業務がないかを観察しています。

8:30	メールチェックをし、1日のスケジュールを確認します。
9:00	学生や教員からの申し込みを受け、自大学にない図書や雑誌の複写を、他大学に依頼して送ってもらいます。
10:00	利用者からの問い合わせに対応します。資料の場所や探し方を説明します。週に2~3回カウンター当番があります。
12:00	昼休み。トレーニングルームで筋トレしたり、図書館で読書したりします。昼食は学食に行ったり、売店で買ったりします。
13:00	月1~2回開催する学生向けのミニ講座の内容を考え、講師の先生に連絡を取ったり、ポスターを作成したりします。
17:15	1日の振り返りをして、帰ります。

# 私たちのフィールド **技 術**



写真左から藤巻氏、塙氏、備後氏

## 「施設系」業務の魅力

### ～山梨大学医学部附属病院再整備事業～

山梨県唯一の特定機能病院として、昭和58年10月に開院した山梨大学医学部附属病院。地域の中核的医療かつ高度医療を担ってきましたが、すでに開院から35年以上が経過し、施設の老朽化・狭陰化が顕著になっています。そこで、平成25年から病院再整備事業を実施。患者さんの療養環境や職員の労務環境の改善など、時代のニーズに合った機能を備えた病院に生まれ変わらせるべく、山梨大学で技術職員として本事業を担う若手キーマンに話を伺いました。

山梨大学  
施設・環境部施設管理課建築環境グループ

**藤巻 光希** フジマキ コウキ

山梨大学  
施設・環境部施設管理課電気エネルギー管理グループ

**塙 淳一** ハナワ ジュンイチ

山梨大学  
施設・環境部施設管理課機械エネルギー管理グループ

**備後 朋大** ビンゴ トモヒロ

#### —— まずは、普段の業務内容について教えてください。

**藤巻**：建築では、事業計画から予算の要求、そして基本設計から実施設計、その後工事業者を公募し決定。ここまでが大まかな流れです。利用者によって求める利便性等が違ってきますので、患者さん、医師、職員さまざまな関係者へヒアリングを行いながら、病院全体の建築環境を整えていきます。自分が引いた図面が形として残る、私の仕事で充実感と達成感を覚える瞬間です。

**塙**：電気の特長業務は、建築担当や機械担当が施設やインフラを整備する際に影響がないように電気配線を考える業務があります。長期的に電気供給に問題が発生しない配線の組み立てやルートの発見が、仕事の醍醐味ですね。

**備後**：仕事の流れは、2人と大きく変わりません。機器の導入、電気や水道の供給といった要望が入ると、現場の状況に合わせて担当者や業者とコミュニケーションを密に取りながら計画を実行に移していきます。多くの関係者との調整が必要になり、調整力やコミュニケーション能力を求められる場面もあります。

#### —— 現在、再整備事業が実施されていますが、これまでと比べて、どのような点が変わっていくのでしょうか。

**藤巻**：患者さんや従事者へのアンケート調査の結果、個室が少ない、手術室が狭く数も少ないといった問題が浮き彫りになりました。個室は、再整備前は病院全体の約10%でしたが、約30%にまで拡張予定です。

**塙**：病院が掲げる目標に「質の高い安全な医療」「快適な医療環境」「良い医療人の育成」がありますが、手術室が狭いのは大きな問題です。手術の見学者数が限られますし、最新の医療機器を導入できず高度医療を提供できない事態を招く恐れもあるため、手術室を広くし4室増やしました。地域の拠点病院を担う以上、安心・安全が担保された環境の整備が大切だと実感しています。

**備後**：施設管理の立場からは、空調機からの水漏れや故障が目立っていましたので、新しい機種に更新することで、これらが解決できます。

#### —— 実際に再整備事業で苦労した点があれば教えてください。

**藤巻**：患者さんの命を預かる病院。治療や入院生活を中断することはできないので、土日に集中して工事を進めることもできません。病院機能を継続させたまま、工事を進める工程管理が必要となります。「廊下を仕切る」「限られたスペースへの人的な移動」「工事時間の配分」など、移行計画の立案とその調整・管理がもっとも骨の折れる作業でした。

**塙**：「調光機能が備わっていないと医療行為ができない」、「電磁波で波形に影響がでる」など、医療機器や医療を行う場所で求められる電気の仕様が違うので、その対応には苦労しました。また、電子カルテに象徴されるように、電気系統は、医療の生命線であり工事に関しては、「電気を止めるな！」です。一歩間違えば大惨事につながりかねませんので、慎重という言葉では足りない程、計画段階から緻密に繰り返しました。

**備後**：病室のベッドの横には、医療ガス配管や電気配線が組み込まれたメディカルコンソールユニットが設置されています。要望に応じて、縦型を導入したのですが、現場のスタッフには使い勝手が悪かったようで……。もう少し多方面にヒアリングを実施しておけばと反省しました。

#### —— 最後に国立大学法人等の施設系技術職員に興味を持つ方にメッセージをお願いします。

**藤巻**：事業計画から設計だけでなく、建築物の完成からその後の維持まで、一連の流れすべてに携わることができるのは大学特有で、ほかの建設会社では絶対に体験できません。建築物を機能的、利便性、審美性、さまざまな角度から俯瞰できます。

**塙**：人命を預かる大学病院では、ライフラインの要の一つである電気について、多くの経験を積むことができます。もちろん緊張感は伴いますが、その分、加速度的に成長を実感できます。また、病院の再整備事業は、数十年に一度のことなので、これに関わることで、貴重な体験で現在進行形の建設現場に関与できることはとても勉強になります。新病棟をさらにもう1棟建設する予定なので、いきなり大きなプロジェクトを任せられるチャンスが巡ってくるかもしれません。

**備後**：機械の仕事の魅力は、水、空調、医療ガス、消火機器、エレベーターなどの専門的で幅広い分野に直接関わることができるという点です。また、働く地域によって自然環境が違うのも興味深く、例えば、病院周辺には、豊富な地下水があり、敷地内では、この地下水を利用しています。そのための井戸をドリルで地下250mほどまで掘ったのが印象に残っています。機械は難しそうと不安に思う方もいるかもしれませんが、建築設備を専門的に学んできた人はほとんどいませんので、最初は知識やスキルに差はありません。丁寧に教えますので、未経験者も大歓迎です。

**藤巻**：大学の技術職員は、長く働きやすい職場だと思います。また最近では、人手不足の部署もあり、大きなプロジェクトを任せられる機会が多い今こそチャンスだと思います。大きなプロジェクトを自ら進めてみたいというやる気のある方と、ぜひ一緒に働きたいと思います。



## 技術（施設系）



### 人間万事塞翁が馬。

国立高等専門学校  
機構本部事務局  
施設部整備課機械係  
平成30年度採用

カワバタ ジュン

川島 洵

8:30	メールの確認、今日すべきことの確認
9:00	今後発注予定の図面や内訳書の確認
12:15	昼食。東京高専内にある学食で、食事をすることが多いです。職員も利用可能ですので、ちょっとしたコミュニケーションの場にもなっています。
13:00	工事現場で受注業者の方と打合せを行います。工事の進行状況の確認や工事を進める上での問題点などを相談しながら進めます。
15:00	現在進行している各高専の事業について、課内で報告・相談をします。
17:00	明日すべきことを確認。今日学んだことを整理して退勤

### Q1. 現在の仕事内容について

私が所属する施設部整備課では全国にある51国立高専の施設整備業務を行っており、国から各高専へ予算交付された新築、改修工事の予算管理及び設計・積算・工事が適切に執行されるよう調整、助言を行っています。また、各高専における建物、設備等の維持、保全や省エネ対策など、幅広い仕事も行っていきます。

私の所属する機械係では、給排水衛生設備・空気調和設備・熱源設備などを担当しており、整備企画係や建築係、電気係と協力しながら業務を進めています。

### Q2. 施設系業務の魅力、やりがいについて

施設技術職としての最大の魅力は、仕事の結果が「人の役に立つ施設」に形を変えて実感できることです。

初めての現場監理では、設計図面を見ても現場でどのような施工になるのかイメージできず戸惑いでしたが、上司や先輩、また実際に施工する工事業者の方々から様々な形でアドバイスを頂き、少しずつ理解できるようになりました。苦労しながらも完成した建物を見た時は、関係者全員の協力が形になった達成感と充実感がありました。

また、去年初めて建物改修に携わり現場監理をした際、高専施設職員の方から「色々と助かった。ありがとう。」と言って頂いたことがあり、微力ながらも関係者の役に立つことが大変嬉しかったのを覚えています。

人の役に立つ仕事に携わりたい、技術専門職として成長したいと考えていらっしゃる方、ぜひ挑戦してみてください。

## 技術（教育・研究支援系）



### 明日は明日の風が吹く。

高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所  
放射光実験施設 准技師  
平成25年度採用

マツオカ アイ

松岡 亜衣

9:30	子供を保育所に預けるため、育児部分休業を取得して出勤時間を1時間遅らせています。メールを確認しながら、1日の予定を頭に入れます。
10:00	<b>所内会議</b> 担当している業務の進捗状況を報告するとともに、ほかの職員の報告を聞いて情報共有を行います。
12:00	昼休み
13:30	<b>講習会への参加</b> 安全や技術に関する講習会へ参加することも大事な業務の一つです。常に正確で最新の知識を得るよう心がけています。
15:00	<b>現場作業</b> 主に大型実験装置のメンテナンス作業を行います。日によっては、この現場作業で一日が終わることもあります。
17:15	翌日以降にやるべきことを整理し、退勤します。大急ぎで保育所へ向かいます。

### Q1. 現在の仕事内容について

私が所属する放射光実験施設では、加速器から発生する放射光X線を用いた研究が日夜行われています。私はその研究に必要な実験装置の開発・建設・維持管理に携わっており、実験ホールの中での現場作業が主な仕事です。実験に影響を及ぼす振動の測定や、多くの研究者が共通して利用できる装置の設計などに主体的に取り組んでいます。

年に一度は学会などで業務に関する発表を行い、積極的に意見交換と情報収集をするように努めています。実験施設での技術的な業務以外にも、防災担当や報告集の編集委員なども任されています。

### Q2. 教育・研究支援系業務の魅力、やりがいについて

ある特定の研究に関わるのではなく、施設で行われている取り組みや成果全体に貢献できるところがやりがいのひとつです。就職後、科学の発展の陰にある研究者の方々の努力や、それを支える技術職員の技術を目の当たりにし、日常生活での意識も大きく変わりました。私も現在その一員として働いていることに喜びを感じています。

また、施設でより良い研究が行われるよう研究者のニーズに応えるためには、既存のものを改良するだけでなく、新しいものを開発することも重要です。自分の手でゼロから何かを作り出す面白さは、技術職員の魅力だと思います。

仕事を進めていくことが、自分自身のスキルアップにも繋がっています。入所後何年たっても、わからないことは誰かに相談できる雰囲気があり、現在も勉強の毎日です。業務の幅を広げるために、関連する国家資格も取得しました。身につけてきた知識と技術を、これからの仕事に生かしていきたいです。

# 私たちのキャリア形成

## キャリアパス

係員として採用され、いくつかの部署を経験した後、勤務成績、年齢等を考慮して主任、係長、課長補佐、課長といった順に昇任します。人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、約2～3年ごとにあり、様々な業務を経験します。

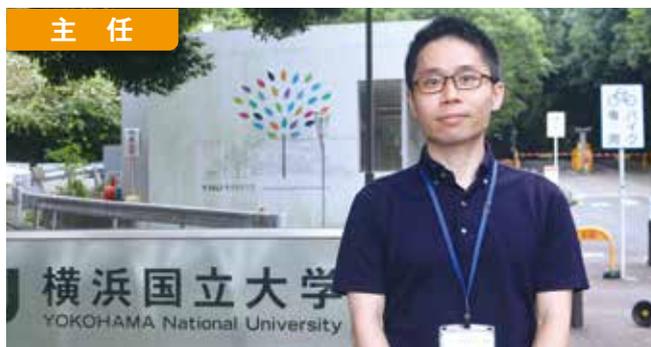


国立青少年教育振興機構  
財務課予算決算係  
平成30年度採用

ワタナベ ハルカ  
**渡部 遥**

### 【私の経歴】

平成30年 4月 管理部財務課予算決算係



横浜国立大学  
理工学系管理課総務係  
平成23年度採用

ナカカネ ユウスケ  
**中兼 優介**

### 【私の経歴】

平成23年10月 社会科学系学務第二係  
平成25年 7月 社会科学系経営学務係  
平成27年 4月 (独)日本学術振興会国際事業部国際企画共同研究係  
平成28年 4月 (独)日本学術振興会ストックホルム海外研究連絡センター  
平成29年 4月 理工学系大学院等総務係  
平成30年 4月 理工学系管理課総務係

### Q1. 現在の仕事内容について、これまでのキャリア

**A1** 係としての仕事は、1年間の予算として文部科学省と概算要求の折衝を行い、本部での事業や全国28か所の青少年教育施設の運営に対し、当初予算を策定・配分します。また、年度末に決算を行うとともに、消費税申告の準備をします。

日常業務としては、物品購入依頼の決裁に係る書類を作成したり、各施設の適切な予算執行のチェック、自己収入や人件費等の管理を行います。消耗品の購入から青少年教育事業の運営にかかる費用まで、財務に関することは全ての部署を通るため、機構全体のお金の流れが見え、とても勉強になります。

### Q2. 仕事をしていて、苦労したこと、楽しかったこと、印象に残っていること

**A2** 年度末から行う決算業務が印象に残っています。決算では、1年間にあった会計取引の総ざらいを行い、財務諸表を作成します。1年目の時は検算等の確認作業が主でしたが、今年は財務諸表内の計算書作成に携わりました。正確であることに加え、限られた時間内の作業は大変ですが、成し遂げたときにはやりがいを感じます。

### Q3. 係やチームで仕事をする上で心がけていること

**A3** 些細なことでも報告・連絡・相談を行うように心掛けています。複数人で仕事をする上で、お互いの認識を同じものにするということは、とても大事であり、難しいです。自分が話している内容が、相手からすると誤った解釈で受け取られていたということが、過去多々ありました。電話でのやり取りだと、顔が見えないせいか特に多い気がします。ミスを減らすためにも、まめに報告・連絡・相談を行い、結論から話す等簡潔に伝わりやすい話し方を意識しています。

### Q4. どんな先輩・上司になりたいか

**A4** 多様な働き方がある現在、当機構でも、就業時間をずらしたり、男性職員が育休を取得することが少なくありません。部下からそのような申し出があった際に、柔軟に対応できるような上司になりたいと考えています。お互いが気持ちよく働くためにも、相手を思いやる事を忘れないようにしたいです。

### Q1. 現在の仕事内容について、これまでのキャリア

**A1** 現在所属している総務係では、教授会等の会議運営や事務部内の調整・その他庶務全般への対応が主な業務です。大学業務について広く関わるので、各課・係に関する知識があればあるだけスムーズに仕事を進めることができます。総務係に着任する前は学務系、研究・国際関係の業務に関わっていたことがあるので、当時の経験も生かしつつ業務に取り組んでいます。もちろん、新たに覚えなければならないことも多くありますので、日々知識を蓄えるようにしています。

### Q2. 仕事をしていて、苦労したこと、楽しかったこと、印象に残っていること

**A2** 日本学術振興会(学振)の国際学術交流研修に参加した際、学振の東京本部と海外研究連絡センターでそれぞれ1年ずつ国際交流業務に携わることができました。派遣先センターのストックホルムでは、日本人研究者がノーベル賞受賞者として発表される瞬間を現場で目にできたことなど、貴重な機会にも恵まれました。

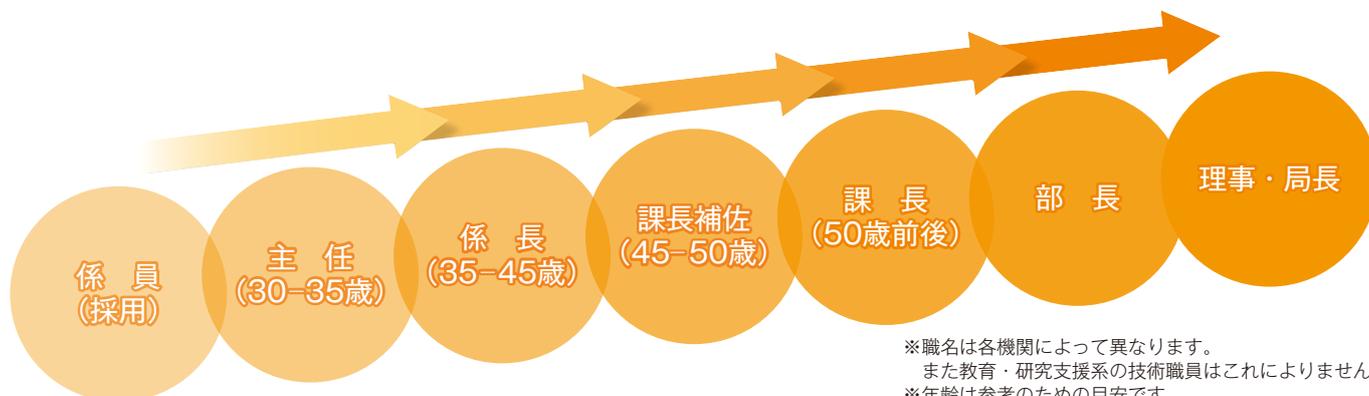
### Q3. 係やチームで仕事をする上で心がけていること

**A3** 情報の受け手が理解しやすい行動を心がけるようにしています。自分が所属する係以外の教職員への働きかけが必要な業務も多いので、会議資料一つとっても相手の立場からみて理解しやすい簡潔なものを作成するよう意識しています。

また、突発的な事案への対応であっても、関係者との調整は不可欠ですので、どのように対処するのか／できるのかについて素早い検討・判断をくださるよう、上司・係内職員とのコミュニケーションを大切にしています。

### Q4. どんな先輩・上司になりたいか

**A4** 経験に基づいた判断力と共に、前例に固執しない柔軟さを持った職員になればと思います。大学をめぐる環境が大きく変化していますので、新しく職員となった方が持つ過去にとらわれない発想を成果に結びつけるサポートができるよう、今後も実務経験を積んでいきたいと思っています。



※職名は各機関によって異なります。  
また教育・研究支援系の技術職員はこれによりません。  
※年齢は参考のための目安です。



**係長**  
新潟大学  
産学連携課知的財産係  
平成17年度採用  
ワダ タケシ  
**和田 剛**

**【私の経歴】**

平成17年10月 医歯学総合病院総務課総務係  
平成19年10月 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課総括係  
平成20年 4月 学務部学生支援課奨学支援係  
平成23年 8月 医歯学系総務課学系会計係  
平成26年 4月 人文社会・教育科学系学務課実務法学研究科学務係  
平成27年 4月 人文社会・教育科学系学務課人文社会科学系大学院学務係主任  
平成28年 8月 人文社会・教育科学系学務課経済学部学務係主任  
平成29年10月 研究企画推進部産学連携課知的財産係主任  
平成31年 4月 研究企画推進部産学連携課知的財産係長

**Q1. 現在の仕事内容について、これまでのキャリア**

**A1** 知的財産係では、特許等の知的財産権の取得・管理・活用、研究試料等の提供に関する契約、利益相反や安全保障輸出管理といったリスクマネジメントに関する業務を行っています。専門性の高い仕事ですが、研究活動を推進する上で不可欠な業務であり、責任感を持って業務にあたっています。  
現在の仕事は、学内の様々な部署（総務系、財務系、学務系）の職員や研究者との関わりがあり、学外（他大学・企業等）とのやりとりも多くありますが、これまでの異動で幅広い部署を経験してきたことが現在の業務に役立っていると感じます。

**Q2. 仕事をしていて、苦労したこと、楽しかったこと、印象に残っていること**

**A2** 大学事務職員の業務範囲はとても広いので、覚えなければならないことが多く苦労します。しかし、それ以上に、学生さんや先生方、学外の方から「ありがとう」の言葉をいただくことが多いので、自身の仕事が学内外に貢献しているという実感が湧き、それが仕事を続けるモチベーションややりがいにつながります。

**Q3. 昇任を経て、仕事に対する見方や意識が変わった点**

**A3** 採用間もない係員の頃は、与えられたルーチンを確実にこなすことや、いかに業務の効率化を図るかということを中心に考えていました。これらはもちろん重要なことで、当然しなければならないことですが、昇任を経て、これまで以上に自学の位置付けや社会から期待される役割を意識するようになりました。そして、自学の目標の中で自身の部署・業務がどう位置付けられていて、自身あるいは所属部署に何を期待されているのか、大学の果たす役割とは何かを考えて仕事をするようになりました。

**Q4. 職員に求めることや期待すること**

**A4** 大学の事務職員は、一般に思われているよりもずっと幅広い分野の業務を行っています。これらの業務に携わることで、大学が多面で社会や地域に貢献していることを実感します。様々な分野で社会や地域の役に立ちたい、人と人との関わりを大事にしたいとお考えの皆様に関心を持っていただけると幸いです。



**課長補佐**  
宇都宮大学  
修学支援課  
平成5年度採用  
オオノ カズタカ  
**大野 和隆**

**【私の経歴】**

平成 5年 4月 教養部会計係	平成19年4月 工学部学生係主任
平成 6年10月 国際学部会計係	平成21年4月 国際学部総務係長
平成 8年 4月 教育学部学生係	平成23年4月 総務部総務課法規調整係長
平成10年10月 教務課教務第一係	平成27年4月 総務部総務課秘書係長
平成12年 4月 学生部教務課教務第一係	平成30年7月 学務部修学支援課課長補佐心得
平成14年 4月 学生部教務課教務係	平成31年1月 学務部修学支援課課長補佐
平成16年 4月 小山工業高等専門学校 学生課教務係(出向)	

**Q1. 現在の仕事内容について、これまでのキャリア**

**A1** 現在、課長補佐として、学生に対する教務及び修学支援に関し、総括し、企画立案し、及び連絡調整する業務を担当しています。  
具体的には、履修指導、授業計画や教育設備管理に関する業務、それらに係る各種会議運営、入学式、学位記授与式の運営、及び社会人対象の教育プログラムの企画など多岐に渡る業務をマネジメントしています。  
これらの業務を遂行するために、これまで携わった業務経験や培った同僚との絆を活かし、関係する学内外の部署との連絡調整を行いながら、学生がより良い大学生活を送れるよう心掛けて業務を行っています。

**Q2. 仕事をしていて、苦労したこと、楽しかったこと、印象に残っていること**

**A2** 学長秘書業務を担当した際には、大学全体の動きや国の政策等の情報も多く、理解力やスピード感がそれまでとは違い、慣れるまでの間、苦労したことが印象に残っています。そういった中で普段なら知り得ないトップの人々の所作や話を聞く機会もあり、私自身にとって、とても勉強になる有意義な経験となりました。

**Q3. 昇任を経て、仕事に対する見方や意識が変わった点**

**A3** 課長補佐となり、これまでの係単位から課全体に視野を広げなければならないことから、良きコミュニケーションや人間関係を構築し、互いの仕事を協力し合える良い職場環境を整えていくことが必要だと今まで以上に心掛けて業務を行うようになりました。今後も自身に期待される役割を理解し、より良い学生サービスが提供出来るように宇都宮大学の3C精神である「Challenge」=主体的に挑戦し、「Change」=時代の変化に対応して自らを変え、「Contribution」=広く社会に貢献するを体現して行きたいと思っています。

**Q4. 職員に求めることや期待すること**

**A4** 大学の変革期において我々職員に求められることも変わってきています。変化に応じながら様々なニーズに応えられる柔軟性や相手の立場になって物事を考えることは重要であり、そういった意識を持ち学生や教員、様々な関係者とのコミュニケーションを積極的に楽しめることが大切なことだと思っています。共に頑張りましょう！

## キャリアパス

# たったひとつの起爆剤が 複数の“点”を“線”に変える。



一橋大学  
総合企画室長  
平成3年度採用

サイトウ ヒロユキ

齊藤 弘幸

## 1年目～ 大学職員としての 自覚が芽生え始めた

大学寮で生活する大学院生と学部生に関連するサポート業務、それが最初に任された仕事です。与えられた業務をこなすだけで必死でしたが、この時期に学生たちの声に直接触れられたのは、その後のキャリア形成において大きな強みになったと考えています。

仕事とは何か。そのような事を考える暇もなく、しやにむに突き進んで10年目。当時、配属先の入試課では入試全般に関する業務とともに高校生の大学見学の案内や質疑応答も担当していましたが、合格発表後の入学手続の会場で「無事合格できました」と見学に参加した学生が挨拶してくれたのです。正直、驚きました。大学職員でもお礼を言われることがあるのかと。大学職員としての自覚が芽生え始めたきっかけでもあります。

仕事との向き合い方が臍げに見え始めたのもこの頃です。入試課に在籍した最後の年の8月に初めて大学のオープンキャンパスが開催されたのですが、当日配布する資料を作成するにあたって自由にアイデアを提案でき、また自分の考えが採用されるたびに充実感や仕事へのやりがいを覚えました。指示待ちではなく、自分の考え方を主張して主体的に動くことのできる環境であると、肌で感じ始めた時期です。

## 12年目～ 他大学の職員との交流をきっかけに視座を高めることに成功

これまでの仕事で形成された固定観念を破ることは自分の視座を高めてくれますが、そのためには蛸壺の外に出るのが有効です。人事課に異動した直後の4か月間、私は出向となり、国立大学等の法人化に伴い、機関自らが採用活動を行っていく仕組み作りのため、採用試験事務室の立ち上げに参画しました。入試課で培ったマニュアル作成の経験やノウハウを応用しながら、他の大学から出向してきた担当者と試験の実施要領と監督要領の素案作りに奮闘しました。過去の経験から得たスキルや能力を新たな場でいかしながら血肉化していくのはキャリア形成の醍醐味ですが、それ以上に他大学の仕事のやり方を直接見ることができたのは大きかったです。他大学の効率的なやり方を吸収でき、仕事の幅を広げることができました。

この人事課に配属になった翌年は、法人化の流れの中で国立大学の在り方が変わった年でもあります。私自身、労働基準法等に基づいた労務管理のマニュアルを作成し、新たに適用される制度を学内の人たちに知ってもらうことに奔走しました。大きく物事が動くときというのは、周囲の理解を得るための活動が必要なことを改めて実感しました。

その後、福祉係長として、それまで分業となっていた年金、健康保険などの業務を集約。さらに、商学部・商学研究科事務部では総務係長として教授会等の総務、大学院の教務、会計の3つの業務について包括的に携わりました。すでにキャリアも20年目を迎え、問題点や改善点に気付けるほどの知識やスキルが定着していたからこそ対処できたのかなと思っています。

## 20年目～ 大学のルール作りを通して組織全体と 業務の結びつきが浮かび上がる

2018年4月から私は、総合企画室長という立場で管理職として大学全体の戦略的な業務を担っています。2019年9月に一橋大学は指定国立大学法人に指定されましたが、それまでの1年半は指定されることを目指し事務の総括的な立場として部下やスタッフの指導にあたっていました。

今後は日本社会における大学の役割や立ち位置、産業界と大学との関連性、これらに大学がどう応えるのか考えていかなければなりません。ポジションもそうですが、考え方や視座の高さは一朝一夕で習得できるものではありません。総合企画室長に昇任する前には総務課法規係長として、大学のガバナンス改革による学内規則の改正、危機管理、コンプライアンス、情報公開請求といった業務に関連する法律、特に学校教育法や国立大学法人法により深く触れたことで、組織全体を俯瞰することを学ぶ機会に恵まれました。その結果、それまで独立していたスキルや知識が化学反応を起こして“点から線”に、言葉に表せない“ああ、そういうことか”という感覚を味わうことができたのです。

キャリアは連続的です。いきなり理想にステップアップできるものではありません。理想と現実のギャップを知り、そこを少しずつ埋めていくことで近づいていくのです。若いうちは、自分の仕事の背景や根拠を意識するのは難しいでしょう。私は自分の経験を通して“今の仕事の意味”を丁寧に伝えることができると考えています。

## メッセージ

大学には「最先端の研究成果を社会に還元する」、「次世代を担う人材を育成する」といった使命があります。そして、どの部署に配属されても、これらを下支えする業務を担うのが私たちの仕事であり、やりがいでもあります。“線”の下の力持ち”、ここに魅力を感じられるなら自分のキャリアを自らの手で主体的に構想・設計できる環境は整っています。

## MESSAGE



### 【経歴】

平成3年4月	一橋大学厚生課
平成7年8月	同 法学部
平成11年4月	同 入試課
平成14年4月	同 企画室
平成15年10月	同 人事課
平成16年4月	同 人事労務課職員福祉係主任
平成17年4月	同 人事福祉係長
平成18年7月	同 人事主査(福祉共済担当)
平成21年4月	同 人事主査(労務主担当)
平成22年1月	同 商学部・商学研究科事務部主査
平成24年8月	同 商学部総務係長
平成25年8月	同 総務課法規係長
平成29年4月	同 総務課課長代理
平成30年4月	同 総合企画室長



東京学芸大学  
国際課短期留学係  
平成22年度採用

(写真右から2番目)

成田 路子 ナルタ ミチコ

## 人事交流先：国立大学協会

平成25年4月から平成27年3月までの2年間、出向職員として国立大学協会(以下、国大協)にて業務に従事しました。

国大協は正会員の全国86国立大学と特別会員の4研究機構からなり、各会員機関が実施する教育・研究及び社会貢献に関する多種・多様な活動において、質の高い成果を挙げるための環境作りを行うべく、様々な事業を実施しています。国大協には全国の会員機関から出向してきた様々な業務経験を持った職員がおり、彼らとの交流は自分にとって得難い財産となりました。

また、それまでの私は、群馬大学の職員として会計事務を中心に業務に携わっていましたが、自分の担当業務を中心とした極々狭い視野しか持ち合わせていませんでした。しかし、国大協への出向期間の中で、それまで国立大学の一職員としては関わることのなかった各大学の学長や理事、管理職の方々とも話をしたり、文部科学省の担当課とも情報をやり取りをしたりと、国立大学法人全体に関わる様々な業務を経験することで、国立大学職員として大きく視野が広がったように思います。



自然科学研究機構事務局  
財務課経理係 主任  
平成24年度採用

藤原 孝文 フジワラ タカフミ

## 人事交流先：筑波大学、国立高等専門学校機構本部事務局

私は平成22年10月に採用された後、2度の人事交流を経験させていただきました。

1度目は筑波大学医学医療エリア支援室の総務担当として、平成23年10月から3年間勤務し、主に教員人事や諸手当の算定等に携わりました。筑波大学篤志解剖体慰霊式の開催に関わるなど、他機関では経験できない大変貴重な経験をさせていただきました。2度目は国立高等専門学校機構本部事務局の国際交流課(当時)に平成29年4月から2年間勤務し、主に留学生の受入れや教職員の海外研修等に携わりました。高専機構本部は全国にある51の国立高専の企画や管理業務を担うことで国立高専と学生を支える組織です。全国から集まる教職員と机を並べ、時にはタイや中国へ出張しつつ、高専・文部科学省・外国政府等と連携してスケールの大きな事業に携わることができ、こちらも大変貴重な経験をさせていただきました。

人事交流を通して様々な出会いや幅広い視点を持つことができ、所属機関に戻ってからも、会議運営やイベント関係に伴う各種手配・調整、様々な書類の確認・作成作業など活かせることが沢山あります。様々なキャリアに挑戦できる環境がありますので、皆様に少しでも関心を持っていただければ幸いです。

## 国際教育交流担当職員長期研修プログラム(LEAP)について

私は、大学の様々な業務の中でも特に国際交流に関心があり、LEAPに参加しました。LEAPでは、1年2ヶ月間国際業務研修生として文部科学省で勤務し、10ヶ月間アメリカでインターンシップを行います。

文部科学省では、高等教育局学生・留学生課で、国際的な大学交流機構や海外留学奨学金等を担当しました。高等教育行政を経験することは、現場よりも少し高い視点から大学の業務を理解することにつながり、大変勉強になりました。

アメリカでは、2ヶ月間の語学研修ののち、8か月間ニューヨーク州立大学のクイーンズ校でインターンシップを行いました。海外留学を担当するオフィスで、留学生の受入等の業務を経験するとともに、大学間のパートナーシップに関する調査を行いました。海外のオフィスでの業務は不安なこともありましたが、アットホームで楽しい同僚達に支えられ、大きなトラブルはなく遂行することができました。

大学に戻って国際業務を担当する今、このかけがえのない経験が心の支えとなり、自信につながっていると実感しています。今後もこの研修の経験を活かして、国際交流の充実に従事し、大学の国際化に貢献していきたいです。



群馬大学  
昭和地区事務部管理運営課経理係 主任  
平成17年度採用

濱田 丘 ハマダ タカシ

## 人事交流先：高エネルギー加速器研究機構

私は、平成28年7月から令和元年6月までの3年間、高エネルギー加速器研究機構(KEK)へ出向し、契約課に所属していました。

契約課の主な業務は、機構内の物品や役務に関する調達です。そのうち私は、情報システム・サーバー類の調達や、教職員の健康診断を実施するために必要な医療機関との契約などを担当しており、ほかにも敷地内にできた蜂の巣駆除の契約(!)も行うなど、契約業務に関して幅広く経験することができました。

異動した当初は、初めての出向でもあり未経験の業務にも不安を感じていましたが、上司、同僚から調達業務についての基本的なことを教えていただくことにより不安も解消され、また、和気藹藹とした雰囲気でもあったので、職場に馴染むのも早く、おかげで多くの知り合いができました。

現在は、自然科学研究機構事務局の調達業務を担当していますが、KEKで得た知識・経験が大いに役立っていると感じています。



小山工業高等専門学校  
学生課学生係  
平成22年度採用

長谷川 慧 ハセガワ サトシ

# 私たちのワーク・ライフ・バランス

## 育児休業



茨城大学  
契約課契約グループ  
平成21年度採用

アキバ サオリ

秋葉 さおり

### 〔育休制度を利用して〕

第一子、第二子出産の際に、産前産後休暇・育児休業制度を2年半取得しました。周囲のメンバーの理解やサポートのおかげで、妊娠中も安心して仕事に取り組み、引継ぎ等もスムーズに行えたため、不安無く育休に入ることができました。育休中は、慣れない育児や寝不足の毎日でも苦労もありましたが、それ以上に、子供の成長を側で見守ることができた、貴重でかけがえのない時間でした。

### 〔両立のために心がけていること〕

復職後は、育児短時間勤務制度を利用し、現在勤務時間を45分間短縮して働いています。夫の帰りが遅い日も多く、退勤後は保育園の迎え～寝かしつけまで一人でやるのがほとんどですが、この制度のおかげで無理のない両立ができています。仕事では、時間内に業務をこなすために、毎朝段取りを考え、いかに時間内に目標を達成するか、スピード感を大事にしています。また、帰宅後にスムーズに家事ができるよう、休日にまとめて作り置きを用意しておくなど効率化を心がけています。子供との時間を確保することは、仕事に対する活力にも繋がっています。

### 〔今後の抱負〕

就職当初から、「長く仕事を続けたい」ということが目標でした。当時は、「仕事と子育ての両立」には漠然と高いハードルを感じていましたが、茨城大学には、ワークライフバランス制度が整い、仕事と子育てを両立している先輩方や、育児休業制度を利用する男性職員も多く、非常に働きやすい職場だと感じています。周囲の理解や協力に対し、日々感謝を忘れることなく、いつか自分が若い世代をサポートできる立場になることが目標です。



筑波技術大学  
総務課人事係  
平成26年度採用

ヤギ ナナミ

八木 菜々美

平成30年の5月から平成31年の3月まで、産前・産後休暇と育児休業を取得して、今年の4月に休業前と同じ部署である総務課人事係に復帰しました。ほぼ丸一年仕事を休んでいたため、子どもの保育所入所が決まり、いざ仕事に復帰するとなったときは、仕事の勤を取り戻せるか、周囲に迷惑をかけないか、何より仕事と育児を両立できるかなど、不安でいっぱいでした。

実際に復帰してみたら、まずは人と普通の会話することに苦労しました。これは予想していなかったことですが、育休中は赤ちゃんとのコミュニケーションばかりだったため、復帰後、通常のスピードでの会話に慣れるのに時間がかかり、正直に言うところではありませんでした。また、こちらは先輩ママから聞いていたことではありましたが、4、5月は保育所から呼び出されて仕事を早退したり、翌日も休んだりすることがかなり多くありました。仕事+育児と、初めての環境になかなか適応できず、ついには自分まで体調を崩してしまうこともありました。

7月頃からようやくペースをつかみ始めたのですが、それもこれも上司や同じ係の先輩、職場全体のサポートがあったからこそ、と強く感じています。現在私は、育児時間制度を利用して、9:30～16:15で働かせていただいています。もちろん、通常より2時間短い時間で、今までと同じ量の仕事をこなすことはできませんが、周りのかたのご理解のもと、業務分担を変更していただきました。また、休みを多く取って申し訳ない気持ちでいっぱいだったところ、「そんな風に思う必要はないよ」と声をかけてもらい、とても救われました。恵まれた環境で働かせてもらっていることに感謝の気持ちを忘れず、メリハリをつけて仕事と育児の両方を楽しんでいけたらと思っています。



電気通信大学  
人事労務課人事給与係 係長  
平成22年度採用

タカクラ ユウスケ

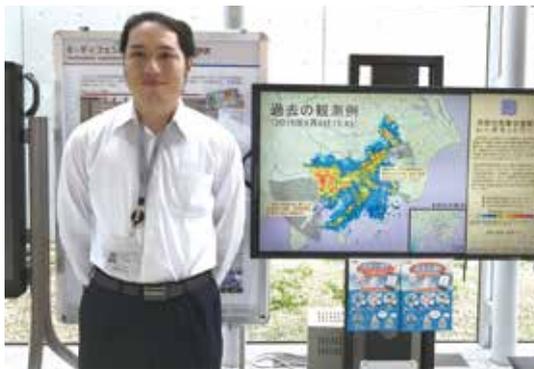
高倉 佑介

平成31年2月から3月のおよそ2か月間、第二子の出生を機に育児休業を取得させていただきました。当時、私は常勤教職員の任用業務を担当しており、教職員の採用・退職・任期更新等の案件が重なるこの繁忙期に育児休業を取得することに申し訳ない思いがありましたが、妊娠発覚後早くから職場に相談させていただき、快く承諾いただいたことに今でも感謝しています。育休開始の1ヶ月ほど前から後任の職員を配置していただいたので、引き継ぎ等もスムーズに行うことができました。

出産直後の母親は、体の回復に専念せねばならないところ、昼夜問わず子どもの世話に奔走し、睡眠もままならない大変な時期です。上の子はイヤイヤ期真っ盛りの2歳児だったので、育休を取得して家事・育児を分担できたことは、夫婦の心の余裕にもつながりました。また、短い期間ではありましたが、毎日世話をしながら、二人の子の成長著しい様子を傍に寄り添って実感できたことはこの上ない貴重な時間だったと思います。

上の子の保育園に園継続の関係から、私は妻の産後休暇終了日までしか育休を取得しませんが、本学では私以外にも男性職員が育休を取得した事例があり、より長い期間育休に専念されていた方もいます。現在、教員でも育休を取得されている方がおり、職種・職位を問わず男性が育児に参加できる環境が整えられている職場であると感じています。

## 転職



防災科学技術研究所  
経理課予算・財務係 係長  
平成27年度採用

カトウ ノブユキ

加藤 信之

### Q1. 現在の仕事内容について

私は、平成29年度より経理課に所属し、予算ならびに補助金、財務に係る業務を担当しています。

予算担当として、所内の各部署が使うお金を研究テーマや業務内容、財源に応じて適切に配り、1年間の執行状況を管理しています。また、補助金の申請や繰越、執行実績の報告等の手続きを行い、補助事業の進捗管理を行っています。さらに財務諸表や決算報告書の作成、消費税の申告等も担当しています。

### Q2. 国立大学法人等に転職をした理由について

私は、大学卒業後、金融機関や個人投資家に資産運用に関わる助言を行う仕事に就いていましたが、異業種でスキルを活かしたいと考え、転職しました。転職先として国立大学法人等を選んだのは、国民生活の必須な分野に携わりたいと考えたほか、研究に関わる業務を行いたいと考えたためです。収益性の観点から民間企業が担うのが難しい分野に身を置きながら、総務・経理・契約・企画といった様々な業務に従事できるのが、国立大学法人等の魅力だと思います。

### Q3. 転職を考えている人へのアドバイス、メッセージ

転職すれば、公的機関と民間企業、ひいては異なる法人間の様々な違いに直面しますが、新たな職場で必要な能力を身に付けるために学ぶことは大きな刺激になります。また、働く場所に関わらず、役立つ普遍的なスキルが必ずあるので、それを見つけ、新たな職場で活かすという考えで行動すると転職経験が活きると思います。



木更津工業高等専門学校  
総務課図書・情報係  
平成26年度採用

コンノ カズユキ

紺野 和幸

### Q1. 現在の仕事内容について

私は木更津工業高等専門学校(高専)の情報担当として、学内システムやネットワークなどの維持管理、また情報セキュリティ対策の実施を行っています。大学と比較すると高専は小さい組織ですので、学内の広い範囲を担当できるのが特徴だと思います。特にシステム更新の際には設計段階から携わる事が出来るためやりがいを感じます。また、図書館の受付や蔵書管理なども行っています。

### Q2. 国立大学法人等に転職をした理由について

私は大学を卒業後、IT関連企業にてシステムエンジニアとしてシステムの開発・テスト・お客様環境への導入を担当していました。仕事をしている中で、情報システムを開発した後である維持運用の仕事にも興味を持ち、その中でも次世代の人材を育成する教育現場に関心を持ちました。民間企業における情報系の実務経験は教育現場でも生かせるのではないかと考え、国立大学法人等職員採用試験を受けました。

### Q3. 転職を考えている人へのアドバイス、メッセージ

技術系学校職員の場合、民間企業の業務内容と比べて大きく異なる部分もあると感じており、民間企業での経験を十分に生かせる環境だと思います。仕事を続けながらの試験勉強や転職活動は大変だと思いますが、民間企業で得られた知識と経験を活かし、一緒に教育現場を支えてみませんか。

## 趣味・私生活



宇都宮大学  
地域デザイン科学部総務係 主任  
平成16年度採用

コマツ オサム

小松 理

私は現在、地域デザイン科学部に配属されています。学部の事務は多岐にわたりますが、主に予算の管理など、会計に関連した業務を担当しています。これまでは財務部で財務諸表などを作成していましたが、令和元年10月に現場とも言える学部配属となり、日々新鮮な気持ちで業務にあたっています。

そのような毎日の中、自転車競技が私の気分転換となっています。本学の所在する栃木県宇都宮市では毎年、海外のトップカテゴリーで活躍する選手も多数出走する「ジャパンカップサイクルードレース」が開催されるなど、「自転車のまち」として知られており、私もこのジャパンカップ観戦がきっかけで自転車競技を始めました。

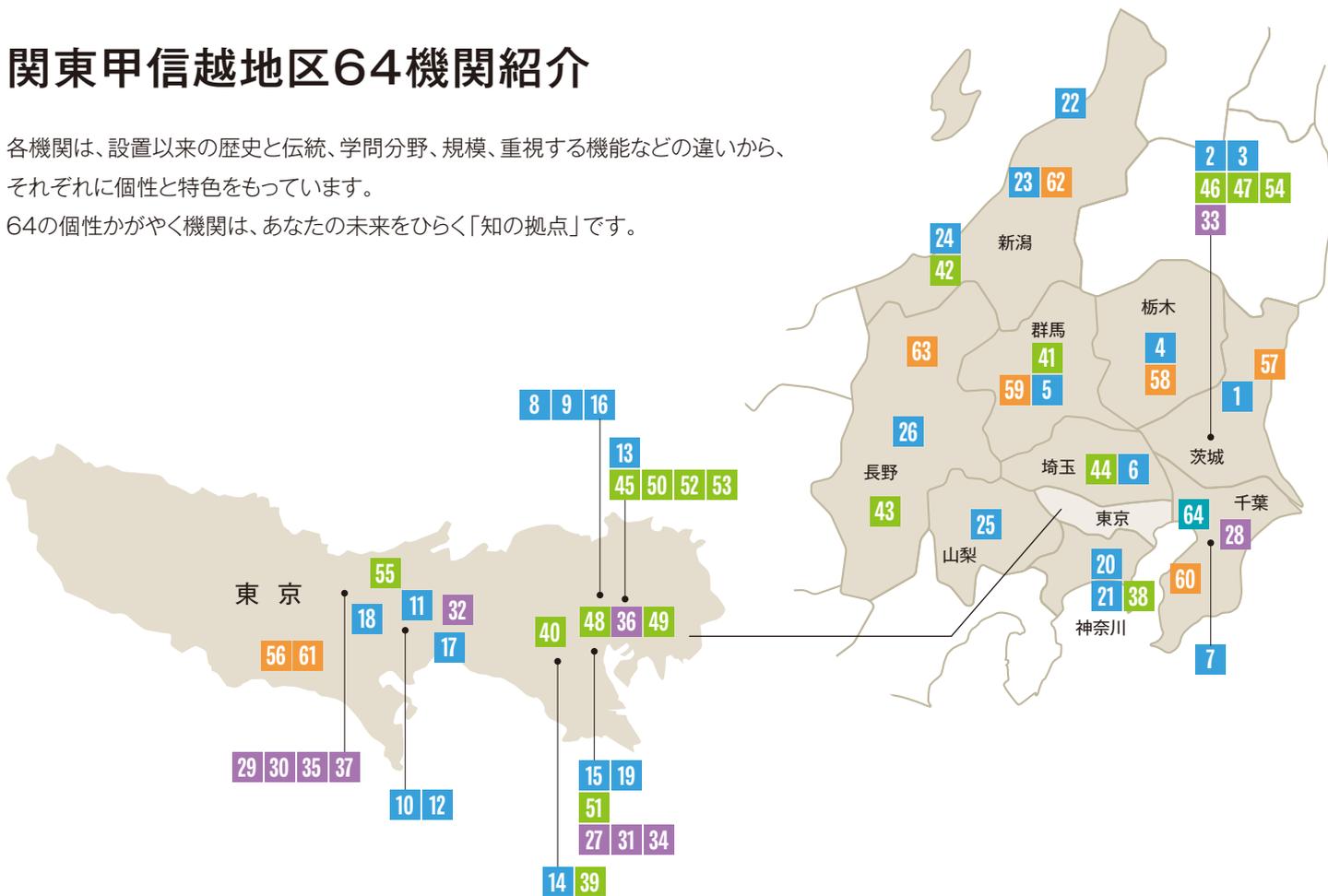
自転車競技では、どれだけ練習を積み重ねたかが如実に成果に現れることもあり、練習時間の確保が課題となります。この課題に取り組むことは、常により効率的に業務を行う方法を探すようになったり、体調管理も含め、自己管理をきちんとするようになったりと、業務遂行の上でも良い影響を与えています。

今後は、職責が上がったり、様々なライフイベントが訪れると思いますが、仕事も趣味も家族の時間も本気で取り組み、豊かな職員生活を過ごしていきたいと思っています。

# 関東甲信越地区64機関紹介

各機関は、設置以来の歴史と伝統、学問分野、規模、重視する機能などの違いから、それぞれに個性と特色をもっています。

64の個性かがやく機関は、あなたの未来をひらく「知の拠点」です。



## 国立大学法人

1	茨城大学	P23
2	筑波大学	P23
3	筑波技術大学	P23
4	宇都宮大学	P24
5	群馬大学	P24
6	埼玉大学	P24
7	千葉大学	P24
8	東京大学	P25
9	東京医科歯科大学	P25
10	東京外国語大学	P25
11	東京学芸大学	P25
12	東京農工大学	P26
13	東京藝術大学	P26
14	東京工業大学	P26
15	東京海洋大学	P26
16	お茶の水女子大学	P27
17	電気通信大学	P27
18	一橋大学	P27
19	政策研究大学院大学	P27
20	横浜国立大学	P28
21	総合研究大学院大学	P28
22	新潟大学	P28
23	長岡技術科学大学	P28
24	上越教育大学	P29
25	山梨大学	P29
26	信州大学	P29

## 大学共同利用機関法人

27	人間文化研究機構事務局	P29
28	国立歴史民俗博物館	P30
29	国文学研究資料館	P30
30	国立国語研究所	P30
31	自然科学研究機構事務局	P30
32	国立天文台	P31
33	高エネルギー加速器研究機構	P31
34	情報・システム研究機構	P31
35	国立極地研究所	P31
36	国立情報学研究所	P32
37	統計数理研究所	P32

## 独立行政法人

38	国立特別支援教育総合研究所	P32
39	大学入試センター	P32
40	国立青少年教育振興機構	P33
41	国立赤城青少年交流の家	P33
42	国立妙高青少年自然の家	P33
43	国立信州高遠青少年自然の家	P33
44	国立女性教育会館	P34
45	国立科学博物館	P34
46	国立研究開発法人物質・材料研究機構	P34
47	国立研究開発法人防災科学技術研究所	P34
48	東京国立近代美術館	P35
49	国立映画アーカイブ	P35
50	国立西洋美術館	P35
51	国立新美術館	P35
52	東京国立博物館	P35
53	東京文化財研究所	P35
54	教職員支援機構	P35
55	大学改革支援・学位授与機構	P36

## 独立行政法人 国立高等専門学校機構

56	国立高等専門学校機構本部事務局	P36
57	茨城工業高等専門学校	P36
58	小山工業高等専門学校	P36
59	群馬工業高等専門学校	P37
60	木更津工業高等専門学校	P37
61	東京工業高等専門学校	P37
62	長岡工業高等専門学校	P37
63	長野工業高等専門学校	P38

## 特別な学校法人

64	放送大学学園	P38
----	--------	-----

# 各機関の紹介

関東甲信越地区の全64機関の紹介です。

求める人物像やメッセージも掲載していますので、

ぜひ、参考にしてください。

(職員数はR1.5.1現在)

- 国立大学法人
- 大学共同利用機関法人
- 独立行政法人
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構
- 特別な学校法人

1



## 国立大学法人 茨城大学

「地域創生の知の拠点、多様なナンバーワン研究を生み出す大学」を目指して

2019年に創立70周年を迎えた茨城大学は、拡充師範学校(1871年設立)を起源とし、旧制水戸高等学校、多賀高等工業学校、旧制霞ヶ浦農科大学などが統合され創立された、長い歴史と伝統を持つ、茨城県を代表する総合大学です。

茨城大学は江戸時代における国内最大規模を誇り徳川御三家水戸藩の藩校であった弘道館(1841年創設)が所在する「学問の府・水戸」に立地する水戸キャンパスを含め、7キャンパスを展開し、5学部・4研究科と4附属学校園を有しています。また、日本近代美術の発祥の地である茨城県北部の五浦に、岡倉天心ゆかりの「六角堂」等の貴重な文化遺産も所有しています。

このような長い歴史と伝統を活かし、「地域創生の知の拠点」として「世界に輝く多様なナンバーワン研究、オンリーワン研究を生み出す活力ある大学」の構築を目指しています。

茨城大学では、若い皆さんの感性による柔軟な発想、チャレンジ精神、向上心を活かした大胆な行動力を期待しています。新しい時代の大学として変化を続ける茨城大学を支えていきたいという志のある方を求めています。あなたの志をぜひ茨城大学でかたちにしてください。

〒310-8512  
茨城県水戸市文京2丁目1番1号  
■総務部人事務課(採用担当)  
☎ 029-228-8014  
ninyou1@ml.ibaraki.ac.jp  
■全教職員数(常勤)922名  
(うち 事務職員231名、  
図書職員9名、技術職員46名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:有り(空室があれば、単身でも入居可)  
■機関紹介HP  
<http://www.ibaraki.ac.jp/employment/index.html>

### 求める人物像

- 元気で明るくファイトのある方
- 常に経営感覚を持ち、多角的な視点から考えられる方
- 慣例にとらわれない柔軟な発想や応用力を持っている方



3



## 国立大学法人 筑波技術大学

聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関

筑波技術大学は、聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関として、1987年に設立された国立大学です。本学の学部は、聴覚障害者が学ぶ産業技術学部と視覚障害者が学ぶ保健科学部の2学部から構成されています。また、2010年からは大学院を、2011年からは教職課程を、2014年からは健常者も対象とした情報保障学を学べる大学院の新専攻を開設しました。今後ますます多様化する学びの需要に対応できる大学、また、全国の障害者教育の先導的かつ中核的役割を担う大学として、着実な計画の推進により実績を積み重ねていきます。

本学は教職員合わせて179名という小規模大学ですが、人数が少ない分、一人一人が幅広く業務を担当しているため、様々な業務を経験することができます。また、特色のある研修として、聴覚・視覚に障害のある学生や教員と円滑なコミュニケーションが図れるよう手話や点字に関する研修も実施しています。是非、私達と一緒に筑波技術大学を創っていきましょう。

〒305-8520  
茨城県つくば市天久保4-3-15  
■総務課人事係  
☎ 029-858-9308-9309  
jinji@ad.tsukuba-tech.ac.jp  
■全教職員数(常勤)179名  
(うち 事務職員48名、  
図書職員2名、技術職員8名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:有り  
(空室があれば、単身でも入居可)  
■機関紹介HP  
<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/>

### 求める人物像

本学は聴覚・視覚に障害のある人のための特別な大学ですが、職員として働くためには必ずしも特別な人である必要はありません。周りの職員と協力して仕事を円滑に進めることができる社会人としての基本的な能力や、苦しい状況にあってもへこたれない強さ、そして、本学の学生が充実した大学生活を送り、自立した社会人として社会に巣立っていくのをサポートしていきたいという気持ちを持った方をお待ちしております。



2



## 国立大学法人 筑波大学

「IMAGINE THE FUTURE.」  
～私たちと一緒に未来を創造していきましょう!

本学は、前身校である東京教育大学のつくばへの移転を機に、従来の制度にとらわれない新しい構想に基づく総合大学として、1973年に創設されました。筑波研究学園都市に位置する緑あふれる広大なキャンパスは、若者が自由に考え、議論し、表現する力を養うのに最適な環境です。また、平成17年に開通した「つくばエクスプレス」によって都心へのアクセスが便利になり、知の拠点としての活動成果をますます発信することができるようになりました。国際交流にも積極的に取り組んでおり、多様な価値観を尊重する大学として国際的な存在感を高めています。本学は、あらゆる意味において「開かれた大学」を目指しています。未来への想像力を発揮し、世界規模の問題に取り組み、自ら未来を切り拓いていく大学として、これからも国際社会に貢献していきます。

筑波大学は、研究学園都市筑波の地で、常に創造的な挑戦を続ける「未来構想大学」として、国境や機関などあらゆる壁を越える「トランスボーダー大学」への飛躍を目指して改革を続けています。

本学が様々な分野で新しい挑戦や改革を進めていくためには、新しい感性を持ったみなさんの力が不可欠です。「未来のフロントランナー」筑波大学で、あなたの力を発揮してみませんか。

〒305-8577  
茨城県つくば市天王台1-1-1  
■総務部人事課(事務系任用)  
☎ 029-853-2090・2091  
sj.ninyo2@un.tsukuba.ac.jp  
■全教職員数(常勤)5,161名  
(うち 事務職員1,049名、  
図書職員48名、技術職員271名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り(東京地区のみ)  
世帯用:有り(つくば地区、東京地区)  
■機関紹介HP  
<http://www.tsukuba.ac.jp/update/jobs/index.html>

### 求める人物像

何よりもまず、「筑波大学職員として働くこと」に意欲を燃やし、高い志や使命感に溢れた方を求めています。大学運営の担い手であるという誇りと自覚を持ち、職員どうしはもろろん周囲の様々な人と協働しながら、積極的な姿勢で課題に取り組み解決に導いていける、そんな職員として、一緒に筑波大学を盛り上げていきましょう。



4



## 国立大学法人 宇都宮大学

### 3C精神が織りなす知の拠点形成、そして未来を切り開く力を紡ぐ

宇都宮大学は、日本で最も学生を大切に育て、地域から信頼される大学であり続けることを方針として掲げ、教育・研究・地域貢献に力を入れています。2019年度には既存の大学院修士課程を統合して、高度な問題解決能力を備えた人材育成を行う「地域創生科学研究科」を新設するなど、地域改革の「知の拠点」として更なる貢献ができるよう教職員一丸となって大胆な改革を進めています。

また、「開かれた大学」のシンボルとして、国の登録記念物である「フランス式庭園」や、登録有形文化財である「峰ヶ丘講堂」などを有し、映画やドラマのロケ地としても利用されています。

宇都宮大学は、栃木県内唯一の国立大学として地域から愛され、また、未来を担う人材輩出大学として地域から期待されています。そのため、業務も大学の中だけに留まらず、地方自治体や民間企業・団体等とも深く関わり、様々な出会いを演出しています。

中規模大学であるからこそ、教職員や学生みんなの「顔が見える距離感」をベースに課題を解決していくのが本学の特徴です。「学生のため、地域のために!」という熱い思いをお持ちの方、私たちと共に宇都宮大学で夢を叶えましょう!

■〒321-8505  
栃木県宇都宮市峰町350  
■総務部総務課人事総括係  
☎ 028-649-5022  
syojinji@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp  
■全教職員数(常勤)631名  
(うち 事務職員151名、  
図書職員2名、技術職員56名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/saiyojyoho.php>

#### 求める人物像

- 宇大スピリット=「3C精神(Challenge, Change, Contribution)」を大切にし、ともに未来を切り拓く強い意志を有する方
- 「日本一学生を大切に育てる大学」を目指すという目標を共有し、自分を成長させ、「みんなのために」力を発揮する情熱を持つ方



5



## 国立大学法人 群馬大学

### 一緒に築こう 明日へのキャンパス ～職場がキャンパスって、ステキじゃない?～

群馬大学は、4つの学部、5つの大学院のほか、医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学推進機構などを擁する、北関東を代表する総合大学です。

群馬大学の徽章は上毛三山に囲まれた大学をシンボライズしたものです。上毛三山のなかで、一番近くにある赤城山は広い裾野を広げその上にいくつかの峰をもっています。群馬大学もこの赤城山のように広い知の基盤を維持して、地に足の着いた教育研究をおこなうことが必要です。

この基盤の上に、リージョナル、ナショナル、インターナショナルと、様々なレベルで注目されるような新しい知を創造発信していく峰をいくつももつ大学を目指しています。

そのために必要なことは何でしょうか?私たちは、教員や医師、看護師などといった職種にかかわらず、皆が一丸となって仕事することだと考えます。仕事が楽しく感じられるのは、頑張った人へのご褒美です。そのために事務職員は支援者ではなく、牽引者でなければなりません。一人ひとりが時代の変化に柔軟に対応し、情熱とチャレンジ精神を持って仕事に取り組み、より良い群馬大学を目指していける方々と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

■〒371-8510  
群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地  
■総務部人事労務課人事企画係  
☎ 027-220-7024・7031  
jinji-kikaku@jimu.gunma-u.ac.jp  
■全教職員数(常勤)2,433名  
(うち 事務職員346名、  
図書職員5名、技術職員49名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out011/g1944>

#### 求める人物像

- 「協調性があること」  
仕事は自分一人だけでは絶対にできません。その意味でも、協調性は重要な要素です。
- 「変化に対応できる柔軟な発想を持っていること」  
大学を取り巻く状況が大きく変化している昨今、社会の変化に柔軟かつ迅速に対応する能力が求められています。
- 「困難な事項に粘り強く取り組み、どんな仕事にも最後まで粘り強く取り組む忍耐力は、どの部署でも必要となる大切なスキルです。」



6



## 国立大学法人 埼玉大学

### 働きやすさもやりがいもギュッと詰まって All in One

埼玉大学は埼玉県下唯一の国立大学です。東京駅から約1時間という都心近くに位置しながら、緑豊かで広々とした教育・研究に最適な環境です。5学部(教養、経済、教育、理、工)と3大学院(人文社会科学、教育学、理工学)を含む全ての教育研究組織が一カ所に集まっている利点を活かし、学長のリーダーシップの下、「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉～多様性と融合の具現化～」のビジョンを掲げ、組織の枠、学問の枠を超えた機能強化を図っています。

具体的には、埼玉大学のブランド化・個性化を図るため、文理融合型産学官金・共創スペースとなる「先端産業国際ラボラトリー」、地域のニーズに則した人材育成のための「統合キャリアセンターSU」を設置し、国際的な研究拠点及び地域活性化拠点としての機能強化に取り組んでいます。

私たち埼玉大学は、キャンパスの特徴を活かし、役教職員が「顔が見える環境」で一体となり、気持ちよく働いています。中でも若手職員は、率先して業務改善に取り組んだり、毎年採用HPをリニューアルするなど、元気に活躍しています。是非採用HPをご覧ください!

あなたの能力や経験が120%発揮できる環境をきっと感じて頂けます。未来の埼玉大学を共に創っていきましょう!

■〒338-8570  
埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
■総務部人事課人事第一係  
☎ 048-858-3009  
jinji-1@gr.saitama-u.ac.jp  
■全教職員数(常勤)759名  
(うち 事務職員170名、  
図書職員5名、技術職員43名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
[http://www.saitama-u.ac.jp/recruit\\_jinji/index.html](http://www.saitama-u.ac.jp/recruit_jinji/index.html)

#### 求める人物像

埼玉大学では、大学改革を一緒に取り組むことができる協調性のある人材、さらに柔軟な発想で新たな埼玉大学を創りだすことができる実践力を持った人材を求めています。



7



## 国立大学法人 千葉大学

### AD ALTIORA SEMPER つねに、より高きものをめざして

千葉大学は、「つねに、より高きものをめざして」という理念の下、世界を先導する創造的な教育研究活動を通して、世界に輝く未来志向型の総合大学を目指して、たゆみない挑戦を続けています。

学生の能動的な学習をサポートするアカデミック・リンク、総合大学としての多様性を生かした部局の垣根を越えた先端研究、「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」として自治体・NPOとともに地域の再生・活性化に向けた活動等、教育・研究・社会貢献の面で確かな実績を積み重ねています。また、グローバル人材育成戦略を更に拡大展開するプランとして、「千葉大学グローバル人材育成"ENGINE"」を策定し、2020年度から「学部・大学院生の全員留学」を目指して、留学プログラムや留学支援体制の強化を行っていきます。

キャンパスは西千葉、亥鼻、松戸、柏の葉という県内の4地区に分かれています。平成28年4月から新たに国際教養学部を加え、10学部、13大学院のほか、附属図書館、医学部附属病院、真菌医学研究センター等の多数の附属施設で構成されています。

■〒263-8522  
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33  
■企画総務部人事労務課人事計画係  
☎ 043-290-2029  
saiyojimu@chiba-u.jp  
■全教職員数(常勤)3,366名  
(うち 事務職員536名、  
図書職員19名、技術職員90名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
[http://www.chiba-u.ac.jp/general/recruit/recruit\\_staff/staff/index.html](http://www.chiba-u.ac.jp/general/recruit/recruit_staff/staff/index.html)



#### 求める人物像

「つねに、より高きものをめざして」という本学の理念に共感できる、明るく楽しく熱意ある人材を求めています。世界に輝く千葉大学ブランドの育成に向けて、あなたの企画力、創造力をフルに発揮してみませんか?





### 知の協創の世界拠点へ

東京大学は、本郷、駒場、柏などのキャンパスに、10の学部、15の大学院をはじめ、全国に施設を持つ、国内最大規模の総合大学です。創立以来140年にわたるこれまでの蓄積をふまえて、世界的な水準での学問研究の牽引力であること、あわせて公正な社会の実現、科学・技術の進歩と文化の創造に貢献する、世界的視野をもった市民的エリートが育つ場であることを目指しています。

その中で職員は、部局(学部や研究所など)や本部における、教育支援、研究推進、社会貢献、組織運営を担っています。その仕事は、学生生活の支援、研究成果の企業への橋渡し、海外大学との協定締結、そしてこれらの活動の学外発信など、多岐にわたります。一方で、こうした仕事に職員が高い専門性を持って取り組めるよう、職員の能力開発やキャリア形成の支援にも力を入れています。例えば、採用後に実施する新人研修をはじめ、その後も役職や経験に応じた階層別研修、仕事の分野等に応じた専門性を身につける研修、海外研修、自己啓発支援など、職員のキャリアアップをサポートする様々な制度を用意しています。

従来の形にとらわれない新しい東京大学の職員像を築きあげ、21世紀の地球社会に貢献する「知の協創の世界拠点」としての東京大学をともに創っていきましょう。

■〒113-8654  
東京都文京区本郷7-3-1  
■本部人材育成課職員採用チーム  
☎03-5841-2317  
shokuiinsaiyo.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp  
■全教職員数(常勤)7,989名  
(うち 事務職員1,401名、  
図書職員150名、技術職員548名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
https://www.u-tokyo.ac.jp/  
recruit/info/index\_1.html

#### 求める人物像

- 東京大学の公共性を自覚し、教育研究の国際的な推進に使命感を持って働ける方
- 柔軟な姿勢で、組織や業務の改革に意欲的に取り組める方
- 専門性や技能など、自らの能力を高め、主体的に発揮できる方
- 様々な大学構成員と協働し、チームワークで職責を遂行できる方



### 世界に冠たる医療系総合大学へ

東京医科歯科大学は、昭和3年に設置された東京高等歯科医学校から歴史が始まり、それぞれ2つの大学院・学部・研究所を擁する日本唯一の医療系総合大学です。キャンパスは文京区湯島にある湯島キャンパス、千代田区駿河台にある駿河台キャンパス、千葉県市川市にある国府台キャンパスの3つがあり、メインキャンパスとなる湯島キャンパスには、多くの学生・教職員が勉学に勤しみ、また、大学発展のために日々努力しています。学生数は、大学院生約1,500名、学部学生約1,500名、大学院研究生約200名です。本学は、医師、歯科医師、またコ・メディカル分野の医療人の育成はもちろん、世界の第一線で活躍しうる優れた研究者、指導者を育成しています。

本学は小規模ではありますが、「知と癒しの匠を創造する」というミッション達成を目標に、教員、医療職員、事務職員が一丸となって前進しつづける活気のある大学です。自分の力で東京医科歯科大学を発展させてやろうじゃないか!というガッツ溢れる人は是非本学の採用試験にチャレンジしてください。

■〒113-8510  
東京都文京区湯島1-5-45  
■総務部人事企画課人材育成係  
☎03-5803-5020  
ikusei@ml.tmd.ac.jp  
■全教職員数(常勤)2,626名  
(うち 事務職員443名、  
技術職員45名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.tmd.ac.jp/

#### 求める人物像

本学事務職員には、専門職としてのプロ意識を持ち、自らが企画立案、情報収集等を行って積極的に行動でき、事務職員のみならず教員や医療職員とコミュニケーションのできる人材を求めています。



### 地球社会化時代の未来を拓く教育研究の拠点大学

東京外国語大学は、江戸末期、幕府が設けた洋学の研究・教育施設で、外交文書の翻訳をも行った本学の前身である蕃書調所以来、150年を超えるその歴史の中で、一貫して「グローバル人材」の育成を行っており、世界諸地域の言語・文化・歴史・社会に関する専門性の高い教育と研究を行っています。

本学は、地域にも開かれたキャンパスとして門扉・塀が無いオープンキャンパスとして設計され、緑豊かなキャンパスの様々な場所に、対話と交流の場が設けられた国際性豊かな大学です。

国立大学として唯一「外国学foreign studies」の名をもつ本学は、21世紀のグローバル化時代のなかで特色のある人文・社会科学系の大学として、世界の知の蓄積と地球社会との協働を目指しています。

本学は小規模な大学ですが、一人一人が幅広く業務に携われるため様々な経験をすることができます。

また、国際性豊かな大学であるため、事務職員でも海外で活躍する機会が多く、言語に関する研修も充実しています。

「世界の懸け橋に!」をモットーに、私達と一緒に未来の東京外国語大学を創り上げていきませんか。

■〒183-8534  
東京都府中市朝日町3-11-1  
■総務部人事課人事務係  
☎042-330-5127  
jinji-roumu@tufs.ac.jp  
■全教職員数(常勤)389名  
(うち 事務職員98名、  
図書職員8名、技術職員4名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.tufs.ac.jp/

#### 求める人物像

協調性があり、積極的にチャレンジ精神旺盛な人材を求めています。



### 『教育の総合大学』 ～教員養成系大学・学部の中核的役割を担う～

東京学芸大学は、人権を尊重し、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与するため、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸諸般の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的としています。

また、学校教育だけでなく、この生涯学習社会において「社会に開かれた大学」として、教員養成系大学ならではの産学連携、地域連携も活発です。教育研究の実績、そして広く緑豊かなキャンパスまですべてを活かし、学校教育とその周囲を支える教育マインドをもった人材を育成する「教育の総合大学」を目指しています。

#### ～職場の雰囲気・環境～

緑豊かな学芸の森で、私たちは『よく働き、よく遊ぶ!』をモットーに日々の業務にあたっています。アットホームな雰囲気と和やかな職員たちによって仕事は丁寧には温かく先輩たちにも引き継がれています。お昼休みや就業後には、学内のコートや体育館で世代も経験も幅広い教職員がサッカーやテニス、バドミントンなどを共に楽しんでいる姿も多くみられます。

■〒184-8501  
東京都小金井市員井北町4-1-1  
■総務部人事課人事係  
☎042-329-7124  
jinjika@u-gakugei.ac.jp  
■全教職員数(常勤)858名  
(うち 事務職員191名、  
図書職員9名、技術職員11名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.u-gakugei.ac.jp/  
jinjika/snokuin-bosyu/

#### 求める人物像

- 大学の仕事に関心を持つ!  
国立大学を取り巻く状況は日々変化しており、広く関心を持つことが重要です。
- 熱意を持ち積極的・主体的に取り組む!  
常に自ら考え、問題意識を持ち仕事に取り組むとともに、柔軟な考えも併せ持つ必要があります。
- 人と人との和を重んじる!  
仕事は相手がいたり、組織として動くことがほとんどであるため、コミュニケーションを図り周りと協調することが何より大事です。



12 TAT 国立大学法人  
東京農工大学地球をまわそう。  
MORE SENSE! 農工大

東京農工大学は、20世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念としています。

東京農工大学は、この基本理念を「使命志向型教育研究-美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE: Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth)と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組んでいます。

農工大は比較的小さな大学ですが、世界トップレベルの大学を目指し、全員で改革に臨み活気あふれる大学です。誰でも大学づくりに参加できる農工大では、社会・世界を見据えた、意義ある仕事に取り組むことができます。同時に多様な研修制度が用意されるなど、就業環境を充実させる取り組みが積極的に行われています。

小規模ゆえに一人ひとりの顔が見える職場は、皆さんの持つ可能性、力を存分に発揮できる場であり、人を大切にできる環境でもあります。

武蔵野に位置する、自然と造形にあふれた職場で、世界を舞台に活躍する大学と一緒に創り上げていきたいと思います。

〒183-8538  
東京都府中市晴見町3-8-1  
■人事課任用係  
☎ 042-367-5509  
saiyo@cc.tuat.ac.jp  
■全教職員数(常勤)632名  
(うち 事務職員148名、  
図書職員8名、技術職員52名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.tuat.ac.jp/

## 求める人物像

心身ともに健康で、コミュニケーションを積極的にとり周囲と良好な関係を構築し、常に問題意識を持ち必要な情報の収集や知識の習得を積極的に行い、問題解決に向けて主体的に取り組める人

13 国立大学法人  
東京藝術大学

## 日本で唯一の国立総合芸術大学

東京藝術大学は、美術、音楽の2学部に加え、美術、音楽、映像、国際芸術創造の4研究科からなる、世界にも類を見ない総合芸術大学です。

本部のある上野キャンパスは台東区上野公園の一角にあり、周辺には美術館、博物館などが点在する文化の薫り高い環境の中に位置しています。

本学は、伝統と革新のバランスを取りつつ、芸術を持って社会に貢献する新しい大学の在り方を模索し続けており、それに向かって学生・教職員が一丸となって取り組んでいます。

本学は、次代の芸術家を育成することや我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが求められていますが、大学を取り巻く環境が大きく変化し、新たな課題も増えています。その課題を一緒に解決することのできる、若い力を求めています。

なお、研修としては、職員のスキルアップのために、実務に直接役立つ研修のほか、英語研修(実務英語、TOEIC対策など)や学生の研修旅行に同行し、奈良・京都の古美術を学ぶプログラムなども実施しています。

〒110-8714  
東京都台東区上野公園12-8  
■総務課人事係  
☎ 050-5525-2016  
jinji@ml.geidai.ac.jp  
■全教職員数(常勤)403名  
(うち 事務職員135名、  
図書職員10名、技術職員9名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
http://www.geidai.ac.jp/

## 求める人物像

本学では、様々な課題を克服するための柔軟な発想や想像力が重要と考えています。学生、教員や同僚職員と対話を交わし、何事にも前向きな発想で積極的に業務に取り組める人材を求めています。

14 国立大学法人  
東京工業大学世界最高の理工系総合大学:  
「世界トップ10 に入るリサーチ  
ユニバーシティ」へ

東京工業大学は、創立から130年を越える歴史をもつ国立大学であると同時に、世界にある約1万の大学の中でトップ100(理工系分野ではトップ20)に入る実力のある我が国を代表する理工系総合大学です。

本学は、広く理工学分野における研究者および教育者、さらには産業界における技術者および経営者として指導的役割を果たすことのできる、善良・公正かつ世界に通用する人材を育成することを使命としています。

また、2016年4月より学部と大学院を統一した「学院」を創設し、6つの学院と全課程を通じて継続的に履修するリベラルアーツ研究教育院を設置することで、より充実した教育システムを実現しています。

さらに、2018年3月に指定国立大学法人の指定を受けました。

教職員・学生に共通する先鋭性と多様性を尊ぶ気質、コンパクトで俊敏な意思決定力・団結力という本学の強みを活かし、学長の下、本学構成員が一丸となり、「チーム東工大」として、自律しながらも協調し合い、明るい未来を創造していきたいと考えています。

〒152-8550  
東京都目黒区大岡山2-12-1  
■総務部人事課  
人事企画グループ  
☎ 03-5734-7620  
jin.saiyo@jim.titech.ac.jp  
■全教職員数(常勤)1,705名  
(うち 事務職員478名、  
図書職員19名、技術職員114名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り(男性のみ)  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.jinjika.jim.titech.ac.jp/  
jin.kik/saiyo/

## 求める人物像

- 大学運営のプロになれる人
- 「成長・変革」できる人
- 「協働」出来る人

15 国立大学法人  
東京海洋大学我が国唯一の海洋系総合大学として、  
世界最高水準の卓越した大学  
を目指す

東京海洋大学は、2003年10月に東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生した、海洋・海事・水産分野の教育・研究を担う我が国唯一の海洋系総合大学です。本学の前身である東京商船大学と東京水産大学は、ともに創基140年を迎えようとする長い歴史と格式の高い伝統を有し、幾多の有為な人材を世に送り出してきました。

本学は、その伝統を継承するとともに、海洋に関する新たな取り組みを加え、社会からの付託に応えるべく、教育研究の一層の発展充実に向け、我が国唯一の海洋系総合大学として、「海を知り、海を守り、海を利用する」ための教育研究の中心拠点となって、海洋に関する総合的教育研究を行い、「国際的に活躍する産学官のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学」を目指します。

東京海洋大学は、平成29年度より新しい学部を増設し、世界最高水準の卓越した大学を目指して更に飛躍します。小規模大学の本学では、教育・研究を支える職員の役割は重要で、様々な場面で活躍する機会も多くあります。今後は更に国際化・高度化の要請に応えるために多様な人材育成の推進を図っており、一緒に大学を創る力を求めています。

〒108-8477  
東京都港区海南4-5-7  
■総務部人事課任用 給与係  
☎ 03-5463-0356  
j-jinji@o.kaiyodai.ac.jp  
■全教職員数(常勤)488名  
(うち 事務職員133名、  
図書職員9名、技術職員23名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.kaiyodai.ac.jp/

## 求める人物像

何事にも積極的に取り組むことができ、誇りと向上心を持って仕事をすることが出来る人材を求めています。





## 学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する

お茶の水女子大学は、日本初の女子高等教育機関として1875年に開校され、以来、女子最高学府としての使命を担ってきました。現在も、リベラルアーツ教育、グローバル教育、リーダーシップ教育といった特色ある教育システムを構築し、わが国と世界の未来を担う女性リーダーの育成に取り組んでいます。また、男女共同参画もいち早く手掛け、男女問わず活躍できる環境を整えています。

本学では、「お茶の水女子大学の理念に基づき業務を支える事務職員の育成」を人材育成の目標としています。これらの実現に向けてSD研修やマネジメント研修、課題解決型研修などを実施し、また、並行して職員ノー残業デーの実施や職員の早出遅出勤務など、職員の働きやすい環境の整備も実施しており、積極的な職員研修や職場環境の改善を人事制度との一体的な取り組みの中で行っています。このような充実した制度・研修を通じ、自己を高め、一緒にこれからのお茶の水女子大学を支えていただける方を求めています。

〒112-8610  
東京都文京区大塚2丁目1番1号  
■人事労務課人事企画担当  
☎ 03-5978-5741  
jinji@cc.ocha.ac.jp  
■全教職員数(常勤)476名  
(うち事務職員92名、図書職員7名、技術職員10名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.ocha.ac.jp/

### 求める人物像

向上心・好奇心を持って積極的に仕事に取り組み、自ら課題を発見した上で周囲との協働の中でその解決策を導き出せる人材、またそれを責任を持って実行できる人材を求めています。



## “総合コミュニケーション科学”を創造するUnique & Exciting-Campus を目指して

電気通信大学は、1918年に創立された無線電信講習所を礎として、2018年に創立100周年を迎えました。本学が目指す大学像をUnique & Exciting Campusと表し、実現に向けて教職員・学生が一体となって教育研究に取り組んでいます。平成29年4月には、100周年事業の一環として小島町地区を再開発し、新キャンパス「UEC Port」を整備しました。同キャンパスは「産学共同研究施設」、「学生宿舍」、「職員宿舍」から構成され、地域・社会との連携・共生を進め、イノベーション創出と人材育成を目指した、共創の場として活用しています。

本学は、緑豊かな東京多摩地区(調布市)に位置し、最寄りの京王線調布駅へは徒歩5分、新宿へも15分程度と、住環境としても恵まれた場所にあります。キャンパスは分散せず一つにまとまっており、職員同士のコミュニケーションが取りやすく、相談しながら安心して業務に取り組むことができます。総合大学の本部事務と学部事務を合わせた仕事ができるのも単科大学である本学の特徴です。

調布市も調布駅前を中心に再開発が進んでおり、本学も街もますます発展してまいります！

〒182-8585  
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1  
■人事労務課人事企画係  
☎ 042-443-5021  
jinji-k@office.uec.ac.jp  
■全教職員数(常勤)521名  
(うち事務職員117名、図書職員5名、技術職員9名)  
■職員宿舍  
平成29年4月に新宿舍を建設  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.uec.ac.jp



### 求める人物像

- 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組むこと
- 疑問を持ち、考え抜くこと
- 多様な人とともに目標に向けて協力すること

これらのことを常に意識し仕事に取り組む方を求めています！



## “Captains of Industry ~知と業(わざ)のフロンティア~”

一橋大学は、市民社会の学である社会科学の総合大学として、日本におけるリベラルな政治経済社会の発展とその指導的、中核的担い手の育成に貢献してきました。

人文科学を含む研究教育の水準はきわめて高く、創立以来、国内のみならず国際的に活躍する、多くの有為な人材を輩出してきました。

この歴史と実績を踏まえ、21世紀に求められる先端的社会科学の研究教育を積極的に推進し、その世界的拠点として、日本、アジア及び世界に共通する重要課題を理論的、実践的に解決することを目指しています。

本学は少数精鋭のため、早い時期から色々な業務に携わり、様々な経験を積むことができるやりがいのある職場です。

職員同士はコミュニケーションを取りやすく、アットホームで穏やかな職場です。

一橋が誇る四季折々の自然環境に恵まれた美しいキャンパスで、一緒に働く日が来ることを心待ちにしております。

〒186-8601  
東京都国立市中2-1  
■総務部人事課人事係  
☎ 042-580-8023  
per-ji.g@dm.hit-u.ac.jp  
■全教職員数(常勤)527名  
(うち事務職員147名、図書職員28名、技術職員5名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り、世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.hit-u.ac.jp

### 求める人物像

- 世界最高水準の先端的研究・教育拠点としてさらなる発展を目指すため、自らが大学運営の担い手として、教員と一体となって業務に取り組む意欲がある人
- 様々な課題に対して、柔軟な姿勢で臨機応変な対応がとれる人
- 人の成長やスキルアップ、キャリアアップを積極的にサポートできる人
- 一橋大学に愛着と帰属意識を持ち、高い志を持って職務を遂行できる人



## Gateway to Global Leadership

本学は、政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治と高度化に貢献するという明確なビジョンのもと、政策に関する研究・教育の両面において卓越した拠点(センター・オブ・エクセレンス)となることを目指しています。本学の特色として次の4点があります。

- ① 学部を持たず大学院のみを置き、かつ研究機能も重視した独立大学院大学。
- ② 国公私立大学の学部卒業生のほか、中央省庁、民間企業等に勤務する社会人など幅広い優秀な学生の受入れ。
- ③ 東南アジア諸国、市場経済移行国等からの積極的な留学生の受入れ。→ 学生の3分の2が留学生。
- ④ 一流の研究者に加え、豊富な経験を持つ行政官や産業界で教授陣を構成。さらに、国内外で著名な実績をあげた政策実務者等を受け入れることにより、流動性と多様性を確保。

職員はフレックスタイム制をとっており働きやすい職場です。世界的な政策研究・教育拠点をめざす大学を支える一員となり、一緒に大学を作っていきます！

〒106-8677  
東京都港区六本木7-22-1  
■組織マネジメント課  
☎ 03-6439-6019  
jinji@grips.ac.jp  
■全教職員数(常勤)135名  
(うち事務職員62名、図書職員3名、技術職員0名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
http://www.grips.ac.jp/jp/

### 求める人物像

以下の資質をバランス良く備えている人物を求めています。

- 何事にも前向きに取り組む積極性
- 多様なニーズに対応できる柔軟性
- 豊かな創造力



20



# 国立大学法人 横浜国立大学

## Initiative for Global Arts & Sciences —グローバルな学術の共創—

文明開化発祥の地である横浜。この地と共に歩んできた横浜国立大学(YNU)は、その源流となる小学校教員養成所(後の横浜師範学校)の設置から数え140年以上の歴史を誇っています。

本学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会に大きく門戸を開く「開放性」、横浜から世界に向けて発信し、海外からも広く人材を受け入れる「国際性」を建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、信頼と連帯を念頭に、教職員が一体となって自らが活力と自立力ある大学としてさらに発展するべく改革を進めています。

現在、本学は5つの学部と5つの大学院を有し、その全てが一つのキャンパスにまとまっていることが大きな特徴として挙げられます。教職員同士の距離も近く、ベテランも若手もお互いが助け合いながら、それぞれが持てる力を発揮しています。

また、横浜という地にありながら、緑が豊かで広々としたキャンパスも本学が誇るものの一つと言えるでしょう。

このような働きやすい職場環境の中で、私たちと一緒に未来の横浜国立大学を創っていきましょう!

- 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番1号
- 総務企画部人事・労務課任用係 ☎ 045-339-3022 jinji.ninyo@ynu.ac.jp
- 全教職員数(常勤)992名 (うち事務職員240名、図書職員10名、技術職員44名)
- 職員宿舍 単身者用:有り 世帯用:有り
- 機関紹介HP <https://www.ynu.ac.jp/>

### 求める人物像

- 自分で考えて行動できる方
- 教員と協働して事業を実施・推進できる方
- 自分を磨く意欲的な挑戦を続けられる方



22



# 国立大学法人 新潟大学

## 私が支えたい大学は、新潟を支えている

新潟大学は、長い歴史と豊かな伝統を持った全国有数の大規模総合大学として、環東アジア地域を基点に世界を見据え、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを全学の目的としています。

学生の教育においては、学士課程では広い教養と確かな専門性を有した問題解決型人材を養成し、大学院では専門性の深化とともに、異分野の融合も可能とする教育研究を推進することで、国際社会のニーズに応えられる中核的人材を輩出することを目的としており、その豊かな自然の中で、10学部5研究科の約1万2千人の学生が勉学やサークル活動などに励んでいます。病院や研究所等を有する大規模総合大学である本学において、職員は周囲と連携しつつ、多様な業務経験の中で自己を高めながら日々業務に取り組んでいます。

教育と研究を通じて地域や世界の発展に貢献することが大学の役割であり、それをサポートするのが大学職員の仕事です。本学では、地域と連携した取り組みや研究に特に力を入れており、若手職員が支えている例もあります。自然がきらめくキャンパスの中で、年齢や性別を超えた仲間達と協力しながら仕事をするのできる環境が本学にはあります。是非、私たちと一緒に活躍して下さる方をお待ちしております。

- 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
- 総務部人事企画課人事係 ☎ 025-262-7615 jinjikakari@adm.niigata-u.ac.jp
- 全教職員数(常勤)3,095名 (うち事務職員396名、図書職員14名、技術職員108名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:有り
- 機関紹介HP <https://www.niigata-u.ac.jp/university/recruit/>

### 求める人物像

プロフェッショナルとして主体的に組織運営の企画・立案・実行を担う人材

- 組織のミッションを共有できる人
- 問題意識を持って積極的に業務に取り組み、自ら考え、責任感を持って主体的に業務を進めることのできる人
- 自らの能力を向上させようという自己成長意欲のある人
- 組織内外のパートナーと協力・協働できる人



23



# 国立大学法人 長岡技術科学大学

## 実践的・創造的技術者の育成 ~未来社会の入口は長岡にあり!!~

長岡技術科学大学は全国の高等専門学校卒業生の学部3年生への編入を中心に学部・大学院修士課程の一貫教育を行っています。本学の教育の特徴は、4~5ヶ月の「実務訓練」(長期インターンシップ)であり、学部4年生が国内外の企業等の現場で長期の実務経験を積んでいます。また、材料工学、安全工学及びロボット工学など世界をリードする研究者が集結し、産学官の共同研究も活発で、留学生も全学生の12%を占めています。このような実践的・創造的の教育の成果は高水準の就職率に繋がっています。

本学は職員と教員、役員との距離が近く、若手職員も重要な仕事を担っています。スピード感ある意志決定に参画ができることには、喜び、やりがいを感じる事ができるでしょう。また、教職員が安心して働ける環境を整備し、高い育児休業取得率、温水プールやゴルフ練習場まで備えた施設の利用等、ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な取組を行っています。豊かな自然に囲まれた環境の長岡の地で、我々と共に未来社会を築く優れた技術者を育てていきませんか。

- 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
- 総務課人事係 ☎ 046-858-1510 jinji@ml.soken.ac.jp
- 全教職員数(常勤)57名 (うち事務職員41名、図書職員1名、技術職員1名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:有り(単身者でも入居可)
- 機関紹介HP <http://www.soken.ac.jp/recruitment/>

### 求める人物像

意欲的でチャレンジ精神旺盛であり、周囲と連携・協力することができる方。



- 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
- 総務部総務課人事係 ☎ 0258-47-9205 jinji@jcom.nagaokaut.ac.jp
- 全教職員数(常勤)342名 (うち事務職員111名、図書職員2名、技術職員34名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:有り (空室があれば、単身でも入居可)
- 機関紹介HP <http://www.nagaokaut.ac.jp/>

### 求める人物像

大学職員として高い能力、意欲及び優れた人間性を兼ね備えた優秀な人材





### ぜったい先生になりたい人と先生のための大学!

上越教育大学は、①初等教育教員の養成を行う学部、②教員の更なる資質能力の向上のための大学院修士課程・専門職学位課程(教職大学院)、③更に連合大学院博士課程、この3つを擁する「教育の総合大学」の体制を整えていることが特長です。21世紀において、我が国の教員養成と教育実践研究の拠点となることを目指しています。

本学が位置する上越市は、新潟県の南西部に位置し、海と山に近く自然豊かな地域です。交通ネットワークも整備され、北陸新幹線や上信越自動車道・北陸自動車道を利用することで、関東や北陸へのアクセスにも恵まれています。

本学は、教職員数300名ほどの小規模な大学のため、教職員間の距離が近く、アットホームで和やかな雰囲気の職場です。また、若手職員については、多様な分野を経験することにより、視野が広く経験豊かな人材となるよう人事異動に配慮しています。本学の事務職員は、多様な経験と個々の強みを発揮して「ぜったい先生になりたい人と先生」のために日々業務に取り組んでいます。

『未来を担う子ども達のための教員を育てる』上越教育大学を私たちと一緒に更に素晴らしい大学にしていきたいと思います。

〒943-8512  
新潟県上越市山屋敷町1番地  
■総務課人事・労務チーム  
☎ 025-521-3217・3218  
jinji@juen.ac.jp  
■全教職員数(常勤)305名  
(うち事務職員89名、図書職員4名、技術職員6名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<https://www.juen.ac.jp/>

#### 求める人物像

- 円滑かつ適切にコミュニケーションがとれる方
- 意欲的に業務に取り組むことができる方
- 明るく元気な方



### 地域の中核、世界の人材

山梨大学は、教育学部、医学部、工学部、生命環境学部の4学部と大学院(教育学研究科、医工農学総合教育部)からなる、山梨県唯一の国立大学です。山梨県内に甲府と医学部の2つのキャンパスを持ち、ワイン科学研究センター、クリーンエネルギー研究センター、燃料電池ナノ材料研究センター、発生工学研究センターといった専門分野に特化したセンター等での先進的な研究活動を行っています。

山梨大学では、世界で活躍できる人材育成を目的に教育・研究活動を行っています。その活動をより良く行うため、事務職員は企画・研究支援・学生支援・財務管理・総務等に、技術職員は施設系・教室系それぞれの所属の中で様々な業務に携わります。多様な業務を行うための研修によるスキルアップの機会もあります。

組織としては小規模ですが、その分風通しが良く、情報伝達がスムーズに行われるため意思決定が早く、組織の隅々まで活性化している元気のある大学です。ベテラン職員だけでなく若手職員も協働して企画にかかわります。本学には皆さんの力を発揮できる環境があります。若い力で山梨大学をともに創りましょう。

〒400-8510  
山梨県甲府市武田4-4-37  
■総務部人事課任用・服務グループ  
☎ 055-220-8742・8008  
ninyou-g@yamanashi.ac.jp  
■全教職員数(常勤)2,045名  
(うち事務職員256名、図書職員7名、技術職員77名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<http://www.yamanashi.ac.jp/>

#### 求める人物像

山梨大学では若い力を必要としています。さまざまな業務・問題に積極的にチャレンジできる方、その都度必要なスキルを学ぶ努力のできる方、明日の山梨大学を創る気概のある方を求めています。あなたの熱意、経験、才能を活かしこれらの山梨大学を一緒に創りませんか?



### 信州の「知の森」を、ともに

信州大学の理念は、豊かな自然と文化を礎とする優れた教育研究を通じて、大学の社会的使命を果たすこと。長野・松本・上田・伊那の4地区に分散した各キャンパスが、それぞれの地域に根差した教育・研究活動を行うことで、地域の発展に寄与しています。その地域の歴史や特性、そしてそこから生まれた知恵と伝統を引き継ぎ、地域に寄り添う本学の姿勢は、「大学の地域貢献度ランキング」4年連続1位という形で全国的にも高く評価いただいています。平成26年に世界最高水準を誇る研究所群である先鋭領域融合研究群を開設、地域戦略プロフェッショナルゼミの開催も実現し、研究も教育も更に充実。地域密着型の活動を基礎に置きながらも、信州大学の活躍のフィールドは世界に広がりを見せ続けています。

信州大学は、「オンリーワンの魅力あふれる地域拠点大学」を目指しています。自然豊かな地域に密着した信州大学でぜひ若いエネルギーを発揮してみてくださいませんか? 信州大学のコアスタッフとなるべくマネジメント能力の養成に重点をおいた研修制度も充実しています。是非一緒に働きましょう。

〒390-8621  
長野県松本市旭3-1-1  
■総務部人事課人事総務グループ  
☎ 0263-37-2041  
jinji-saiyo@shinshu-u.ac.jp  
■全教職員数(常勤)2,625名  
(うち事務職員398名、図書職員25名、技術職員85名)  
■職員宿舍  
単身者用:キャンパスにより有り  
世帯用:キャンパスにより有り  
■機関紹介HP  
<https://www.shinshu-u.ac.jp/>

#### 求める人物像

信州大学をさらに良い大学に変えていく熱意を持ち続けられる方を求めています!

- 様々な事柄に興味を持って取り組み、知識や経験を身につけていこうとする方
- 相手を思いやる気持ちを大切にできる方
- 柔軟な考えがで、積極的に物事に取り組める方



### 人間文化の総合的学術研究の国際的拠点へ — 役職員が丸となって —

大学共同利用機関の役割は、特定の大学の枠を超えて学術研究をリードすることです。

本機構は、6つの大学共同利用機関(国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館)からなる法人です。各機関が大学や学問の伝統の枠を超えて連合し、同時に機関同士が協働し合うことで人間文化の総合的学術研究の国際的拠点となることを目標としています。

機構全体のガバナンス体制の下、機構を構成する各機関が文化資料のナショナルセンターとして蓄積・収集している「学術資料」と「情報」に基づき、機構内外の研究者の総力を結集した調査研究を実施しています。また、その研究成果を広く国内外に発信・社会還元することで、「人間文化」に関わる学術文化の進展に寄与することを目指しています。

本部事務局では、機構全体の総務、広報、法人評価、研究支援、財務及び施設等に関する業務を行うとともに、機構を構成する6機関の総括・調整を行っています。

若手・中堅職員が多く、先輩職員からアドバイスを受けながら、安心して業務に取り組んでいただけます。

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門4-3-13  
ヒューリック神谷町ビル2F  
■総務課人事係  
☎ 03-6402-9215~7  
jinji@nihu.jp  
■全教職員数(常勤)67名  
(うち事務職員25名、技術職員4名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
<http://www.nihu.jp/>

#### 求める人物像

様々な特色を持つ6機関の中心に位置する本事務局では、局内で円滑にコミュニケーションをとりつつ、各機関とも緊密に連携しながら、機構全体の進展に貢献できる視野の広い人材を求めています。部署によって職員に求められる資質は様々ですが、自らの立場や役割を理解し行動できること、自ら課題を設定し主体的に実現していくことが必要です。各研究分野をリードする6機関の架け橋としてあなたの能力を発揮してみてください。





# 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

### 歴史の街「佐倉」に位置する「歴博」は、人々が日本の歴史と文化を巡る時間旅行のお手伝いをしています。

国立歴史民俗博物館(通称「歴博」)は、文献史学・考古学・民俗学および自然科学を含む関連諸科学の協業によって、大学をはじめとする国内外の研究者とともに、学際的で先進的な研究を推進する大学共同利用機関です。

国立の唯一の歴史民俗系博物館でもある本館は、現代的視点と世界的視野のもとに、日本の歴史と文化に関する基盤的並びに先進的研究を推進し、その成果を総合展示や企画展示、刊行物、データベース、シンポジウム、講演会等により国内外へ広く情報発信しています。また、総合研究大学院大学に参画し、次代を担う研究者の育成にも貢献しています。

本館では、研究部の教員と皆さんが配属される管理部の職員が、密接に連携を取りながら様々な業務を推進しています。大学をはじめ他機関との人事交流も盛んです。

佐倉城址公園に立地する緑豊かな本館で、総務、人事、財務、経理、研究協力、資料管理、展示設営、広報活動など様々な業務を通じて、社会人として成長し、一緒に本館を盛り上げていきましょう。

- 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117
- 管理部総務課人事係 ☎ 043-486-6472 jinji@ml.rekihaku.ac.jp
- 全教職員数(常勤)87名 (うち 事務職員46名)
- 職員宿舍 単身者用:無し (ただし空きがあれば世帯用に入居可) 世帯用:有り
- 機関紹介HP <http://www.rekihaku.ac.jp/>

#### 求める人物像

歴博内はもちろん、人間文化研究機構の本部事務局や他機関ともコミュニケーションをとりながら緊密に連携していただけるような、視野の広い人材を求めています。



# 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所

### 「コトバ」を研究し、豊かな社会づくりに貢献する ～日本語の研究推進・情報発信～

国語研は、日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的・中核的拠点として、日本語の特質を解明しようとしている研究所です。世界中のあらゆる言語のひとつとしての日本語研究を通して、より豊かな言語文化・言語生活に資するために活動し、私たちの財産である日本語を未来へ継承・発展させていきたいと考えています。そのために、国内外の研究者と共同研究を実施し、その研究成果を学術資料やデータベース等で広く提供しています。

特色のある研究テーマとして、消滅が危惧されている方言の調査・保存・分析、日本語コーパスの拡充、多文化共生社会における日本語教育研究等があります。

本研究所は、多摩都市モノレール「高松」駅から徒歩7分、JR「立川」駅から徒歩20分の緑に囲まれた自然豊かな環境にあります。のびのびと能力を発揮できるこの職場で、是非みなさんも「コトバ」を未来につなぐ仕事に携わってみませんか。

#### 【事務職員の業務内容】

研究推進課: 研究活動の支援業務、学術交流の推進、研究内容・成果の発信等の業務  
総務課: 庶務・評価・広報・人事といった管理運営全般に係る業務  
財務課: 予算及び決算・契約業務など、財務会計・経理に関する業務

- 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
- 管理部総務課人事係 ☎ 042-540-4376 jinji@ninjal.ac.jp
- 全教職員数(常勤)59名 (うち 事務職員20名、図書職員2名、技術職員4名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <http://www.ninjal.ac.jp/>

#### 求める人物像

国立国語研究所は1948年文科省の直轄機関として創設され、以降1968年には文化庁の附属機関、2001年には独立行政法人、そして2009年に大学共同利用機関法人人間文化研究機構の機関となりました。本研究所は日本語研究のグローバルな研究拠点であるとともに、大学等研究機関との共同研究・共同利用を行う場所でもあります。職員としてこうした活動を支えるためには、「コミュニケーション能力」、「課題解決能力」といった力が必要です。是非、みなさんの豊かな感性、柔軟な発想力と創造性を活かしてみませんか。



# 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構事務局

### 最先端研究を推進するとともに 21世紀に相応しい学問を創成し、 社会へ貢献

自然科学研究機構(NINS)は、宇宙、エネルギー物質、生命等に係る大学共同利用機関(国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所)を設置・運営することにより、国際的・先端的な研究を推進する自然科学分野の国際的研究拠点として、全国の大学等の研究者に共同利用・共同研究の場を提供しています。

また、大学の研究力強化に貢献するため、それぞれの学術分野の特性を活かしながら、①大学の枠を越えた共同利用・共同研究、②大学に直接貢献するネットワーク型共同研究、③国際共同研究といった共同利用・共同研究を推進しています。

本機構事務局は東京都港区虎ノ門にあり、総務課、企画連携課、財務課及び施設企画室で構成されています。採用後の勤務場所としては、事務局を中心として、東京都三鷹市にある国立天文台事務局、岐阜県土岐市にある核融合科学研究所管理課、愛知県岡崎市にある岡崎統合事務センター等があります。ここで、総務、人事、会計、企画連携、研究支援業務等に携わりキャリアを積んでいくこととなります。

また、人事交流等として本機構以外でも文部科学省や国立大学法人等で勤務を経験する機会もあります。

- 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
- 管理部総務課人事係 ☎ 050-5533-2908-2909 jinji@nins.ac.jp
- 全教職員数(常勤)72名 (うち 事務職員29名、図書職員9名、技術職員1名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <http://www.nins.jp/>

#### 求める人物像

当館では、大学共同利用機関としての役割を果たすべく研究活動を行っています。その研究活動を支える一員として、機構事務局と連携しながら、当館の進展に貢献できる視野の広い人材を求めています。機構全体及び当館の組織の方針を十分に踏まえ、柔軟な姿勢で、自らの立場や役割を理解し、自ら課題を設定し主体的に実現していく意欲的な人物と共に働くことを当館では望んでいます。



## 誰も知らない星空の向こう

国立天文台は、世界最先端の観測施設を擁する日本の天文学のナショナルセンターです。大学共同利用機関として全国の研究者の共同利用を進めるとともに、共同研究を含む観測・研究・開発を広く推進し、また国際協力の窓口として、天文学および関連分野の発展のために活動しています。国立天文台の研究・観測施設は日本国内にとどまらず、すばる望遠鏡、TMT(30メートル望遠鏡/ハワイ)やアルマ望遠鏡(南米チリ)のように海外にも進出しています。また、研究の成果を広く社会へ還元するため、主な観測施設で常時公開や特別公開、定例観望会などの活動を行っています。

事務職員・技術職員は、研究をはじめとするこれらの活動を推進・サポートするために研究者と密に連携しながら業務を行っています。事務職員は庶務・会計・国際連携など様々な仕事に携わることができ、また、技術職員も各観測施設の運用や天文台内共通センターでの技術開発など多岐に渡る活躍の場があります。将来的には、「すばる望遠鏡」、「アルマ望遠鏡」、「TMT」など世界最先端の大規模プロジェクトへ貢献するため実際に海外の観測所において活躍することもできる、魅力的な職場です。

〒181-8588  
東京都三鷹市大沢2丁目21番1号  
■事務部総務課人事係  
☎ 0422-34-3657  
jinji@nao.ac.jp  
■全教職員数(常勤)397名  
(うち 事務職員55名、  
図書職員1名、技術職員37名)  
■職員宿舍  
単身者用:(三鷹地区)無し  
世帯用:(三鷹地区)無し  
(ただし、近隣大学等の宿舎に入居できる場合あり。)  
■機関紹介HP  
http://www.nao.ac.jp/

## 求める人物像

- 新しいことに意欲的に取り組み、海外勤務などにも積極的なチャレンジ精神のある方
- 責任感を持ち、直面する課題に主体的に向き合える方
- 他の職員と協調し、柔軟な発想と広い視野で業務に取り組む方
- 天文学に関する専門知識は問いません

宇宙・物質・生命の謎を解く—  
加速器で私たちの「源」を探求する  
KEKで、共に世界の最先端へ

高エネルギー加速器研究機構(KEK)は、加速器と呼ばれる装置を使って基礎科学を推進する研究所です。最先端の大型粒子加速器を用いた加速器科学の総合的発展の拠点として、宇宙の起源、物質や生命の根源の探求を目指すとともに、大学共同利用機関として国内外の研究者に対して研究の場を提供することを目的としています。また、世界に開かれた国際的な研究機関として、アジア・オセアニア地域における加速器科学の中心的役割を果たしています。

機構(つくばキャンパス)は、約300の教育・研究機関を擁する筑波研究学園都市に立地し、広大な敷地に四季折々の自然が息づく緑豊かな職場環境です。

研究所というと研究者が働くイメージが強いと思いますが、機構の運営や研究者の自由な発想による研究活動を支える事務系・技術系職員の存在と、その活躍を抜きに語ることはできません。伝統的に研究者と職員の距離が近く、相互に信頼関係の下で仕事を進めていることがKEKの基盤であり強みであるといえます。そのため、若手職員であっても責任ある仕事が任せられますので、きっとその能力を満足させてくれることでしょう。あなたも最先端の研究所で世界に誇れる仕事をしてみませんか。

〒305-0801  
茨城県つくば市大穂1-1  
■総務部人事労務課人事第二係  
☎ 029-864-5117  
jinji2@ml.post.kek.jp  
■全教職員数(常勤)797名  
(うち 事務職員161名、  
技術職員173名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り 世帯用:有り  
(空き状況により使用可能)  
■機関紹介HP  
https://www.kek.jp/ja/index.html

## 求める人物像

KEKは次のような人材を求めています。

- 協調性、コミュニケーション能力のある方
- 常に業務の効率化を考えながら行動できる方
- 前例にとらわれず柔軟な発想をもった方
- 向上心を持ち、スキルアップや専門性の向上を心がけられる方



## あなたの支える研究が世界を変える

情報・システム研究機構は、生命・地球・環境・社会などに関わる複雑な問題を情報とシステムという観点からとらえ、実験や観測による大量情報の生成、データベース構築、さらにそこからの知識の抽出と活用に関する研究を行うとともに、その研究基盤を大学等の研究者に提供・支援する大学共同利用機関法人です。

当機構は、大学共同利用機関である国立極地研究所、国立情報学研究所、統計数理研究所、国立遺伝学研究所という4つの個性豊かな研究所が一緒になって平成16年4月に誕生しました。機構としての歴史はまだ浅いですが、各研究における歴史は非常に長く、これまで、そしてこれからも「学術研究をリードする存在でありたい」と考えています。大学共同利用機関という性質上、特定の大学というレベルではなく、日本全体の学術研究を推進すること、それを目指して、日々、真剣に仕事に励む人達がいます。

職員は、設立時からの4つの研究所と平成28年から発足したデータサイエンス共同利用基盤施設、そして本部事務局の間を異動してキャリアアップしていきます。

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門4-3-13  
ヒューリック神谷町ビル2階  
■本部事務局総務課人事・労務係  
☎ 03-6402-6209  
jinji@rois.ac.jp  
■全教職員数(常勤)34名  
(うち 事務職員27名、技術職員1名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
https://www.rois.ac.jp/

## 求める人物像

日本全体の学術研究を推進するため、何事にも責任感と自分の考えを持ち、協調性をもって、一緒に機構の発展に貢献してくれる方を求めています。

地球、環境、生命、宇宙などの研究  
分野の研究者コミュニティと連携して  
極地に関する科学の総合的な研究  
と極地観測を実施しています。

国立極地研究所は、極地に関する科学の総合研究と極地観測を行うことを目的に1973年に設置された大学共同利用機関です。南極・北極におけるフィールド観測を基盤に、資・試料の分析、データ解析、モデリングを通じ地球科学、環境科学、太陽系地球科学、宇宙・惑星科学、生物科学などを包括した先進的総合地球システム科学を共同研究として推進しています。

一方、文部科学省におかれた南極地域観測統合推進本部が推進する南極地域観測事業について、学術研究観測、設営等の役割を担うとともに、北極域においては、観測施設の運営、野外活動調査支援、情報発信及び国際対応などの面で、共同利用の役割を果たしています。その他、総合研究大学院大学の基盤機関として、複合科学研究科の極域科学専攻を担い、幅広い視野を持った国際的で独創性豊かな研究者の養成に努めています。

〒190-8518  
東京都立川市緑町10-3  
■情報・システム研究機構  
本部事務局総務課人事・労務係  
☎ 03-6402-6209  
jinji@rois.ac.jp  
■全教職員数(常勤)172名  
(うち 事務職員60名、  
図書職員2名、技術職員38名)  
(事務職員39名、技術職員1名は統計数理研究所と共通)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
https://www.nipr.ac.jp/

## 求める人物像

国立極地研究所には、総務、会計、研究支援、南極観測支援、広報、図書等のいろいろな仕事があります。日本全体の学術研究を推進するため、何事にも責任感と自分の考えを持ち、協調性をもって、一緒に機構の発展に貢献してくれる方を求めています。



# 36 NII 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

人と社会をつなぐ情報学—  
見つけているのは情報社会の未来です。

国立情報学研究所(NII)は、情報学の総合的な研究・教育と、最先端の学術情報基盤の形成・運用を推進する、我が国唯一の情報学の学術総合研究所です。また、他の国立大学法人等と違い、研究や教育に加えて、事業という3つの分野を同時に展開していることが、国立情報学研究所の大きな特徴となっています。国立情報学研究所の職員は、研究協力・競争的資金獲得・知的財産等の管理運用、大学院生や留学生への支援業務、研究成果の広報活動、海外の大学・研究機関との学術交流、予算管理・契約・調達や人事労務全般などの業務のほか、学術情報ネットワークSINETやCiNiiなどの学術コンテンツサービスの構築・運用といった業務を行っています。

最先端の研究・教育・事業に関わっていく本研究所の仕事には大きなやりがいがあります。また、他の国立大学と比べ、本研究所の規模はそれほど大きくありませんが、それゆえに若手職員のうちから責任のある仕事を任せられるチャンスがあります。都心に位置しており、都内主要駅からのアクセスも良く、環境的にも恵まれている職場です。ぜひ私たちと一緒に働きましょう!



- 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センタービル
- 情報・システム研究機構 本部事務部総務課人事・労務係
- ☎ 03-6402-6209
- jinji@rois.ac.jp
- 全教職員数(常勤)260名 (うち 事務職員52名、図書職員10名、技術職員27名)
- 職員宿舍 単身者用:有り 世帯用:有り
- 機関紹介HP <http://www.nii.ac.jp/>

### 求める人物像

国立情報学研究所は、「情報学による未来価値の創成」を掲げ、研究支援、社会連携、国際交流、大学院教育など幅広い仕事ができる職場です。日本全体の学術研究を推進するため、何事にも責任感と自分の考えを持ち、協調性をもって、一緒に機構の発展に貢献してくれる方を求めています。



# 37 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所

知を結ぶ最先端科学「統計数理」  
に関する日本唯一の研究機関

統計数理研究所は大学共同利用機関法人情報・システム研究機構に属する研究所です。昭和19年に設立されて以来、日本における統計数理研究の中心的な研究機関として役割を果たしてきました。統計数理とは、データをもとに数理を道具として、合理的予測の実現を目的に、散在・偏在している様々な知識を適切に「つなぐ」方法を研究する学問です。本研究所では、この統計数理の「つなぐ」特性を活かし、異分野の研究者、広範囲の研究領域、あるいは大学と大学、産業と学術をつなぎ、そして学術と一般社会をつなぐことで、社会に貢献していきたいと考えています。

- 〒190-8562 東京都立川市緑町10-3
- 情報・システム研究機構 本部事務部総務課人事・労務係
- ☎ 03-6402-6209
- jinji@rois.ac.jp
- 全教職員数(常勤)113名 (うち 事務職員42名、図書職員2名、技術職員11名)
- (事務職員39名、技術職員1名は国立極地研究所と共通)
- 職員宿舍 単身者用:有り 世帯用:有り
- 機関紹介HP <https://www.ism.ac.jp/>

### 求める人物像

日本全体の学術研究を推進するため、何事にも責任感と自分の考えを持ち、協調性をもって、一緒に機構の発展に貢献してくれる方を求めています。



# 38 NISE 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

障害のある子ども一人一人のニーズ  
に対応した教育の実現に貢献します

本研究所は、我が国における障害のある子どもの教育の充実・発展に寄与するため、昭和46年に文部省直轄の研究所(国立特殊教育総合研究所)として神奈川県横須賀市に設置されました。目の前には海が広がり、天候の良い日には三浦半島や房総半島が一望できるなど自然豊かな環境に恵まれています。

障害のある子どもの教育については、平成19年度に「特別支援教育」に移行し、特別支援学校などで学ぶ子どもだけでなく、小・中学校等の通常の学級で学ぶ発達障害等のある子どもも対象となりました。本研究所では、障害のある子ども一人一人のニーズに対応した教育の実現に貢献するため、国の政策課題や教育現場の課題に対応した研究や各都道府県等の指導者養成研修、特別支援教育に関する情報の収集・発信、理解啓発活動等を行っています。

事務職員が配属される総務部では、研究活動や研修事業等の業務支援、総務、人事、財務、契約、図書、情報管理などの業務に携わります。障害のある子どもたちの未来のために私たちと一緒に働いてみませんか。

- 〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1
- 総務部総務企画課人事係 職員採用担当
- ☎ 046-839-6925
- jinji@nise.go.jp
- 全職員数(常勤)70名 (うち 事務職員29名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- (ただし空きがあれば公務員宿舎に入居可能)
- 機関紹介HP <http://www.nise.go.jp/nc/>

### 求める人物像

障害のある子ども一人一人のニーズに対応した教育の実現に貢献するために、独立行政法人の職員としての自覚を持ち、目の前の業務に意欲的に取り組むとともに、協調性を持って他の職員と協力し合える方を求めます。



# 39 独立行政法人 大学入試センター

志願者約58万人。試験実施成功  
に向け職員一丸となり業務を行っています。

本センターは、大学が行う入学試験のうち共同して実施することとする試験に関し、問題作成や採点等一括して処理することが適当な業務等を行っています。これらを通じて大学の入学者選抜の改善を図り、大学及び高等学校等における教育の振興に寄与することを目的としています。

これまでの大学入試センター試験は、毎年多くの国民の注目が集まります。平成31年度の大学入試センター試験は、志願者数約58万人、すべての国、公立大学を含む703大学と149短期大学の合計852大学等が参加して行われました。

現在、高大接続改革の柱の一つとして大学入学者選抜改革が取り上げられ、令和3年度入学者選抜から、これまでの大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストが実施されますが、本センターは今後も大学への入学者選抜において重要な役割を果たし続けていきます。

- 〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23
- 総務企画部総務課人事・人材係
- ☎ 03-5478-1215
- jinji@cen.dnc.ac.jp
- 全教職員数(常勤)129名 (うち 事務職員109名、技術職員1名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <http://www.dnc.ac.jp/>

### 求める人物像

常に問題意識を持ち、既成概念にとらわれず柔軟に行動できる方、本センターの業務に対して共に熱意を持って働いていただける方を、文系理系問わず求めています。





# 独立行政法人 国立青少年教育振興機構

### すべての青少年に、感動がもたらす未来を!

#### ■機構本部とは

全国28の青少年教育施設(国立オリピック記念総合センター・国立青少年交流の家(13施設)・国立青少年自然の家(14施設))の事業運営を支援する本部として、総務、人事、財務、施設管理等、機構全体の事務のほか、指導者向けの研修や調査研究事業、国際交流事業、民間団体への助成金交付の事業を展開しています。

#### ■国立オリピック記念青少年総合センターとは

代々木公園、明治神宮に隣接し、緑豊かな環境に恵まれた都市型青少年教育施設です。都市型の教育事業を企画実施するほか、学習・文化・スポーツ活動・研修の場として年間200万人の人々に利用されています。

我が国の青少年教育のナショナルセンターとして、青少年を巡る様々な課題へ対応するため、青少年に対し教育的な観点から、より総合的・体系的な一貫性のある体験活動等の機会を提供するとともに、研修支援、青少年教育に関する調査研究、青少年団体・施設等の連絡・協力、青少年団体への助成を行い、青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

〒151-0052  
東京都渋谷区代々木神園町3番1号  
■管理部門 課 課長 事務系  
☎ 03-6407-7643  
honbu-jinjikkikaku@niye.go.jp  
■全職員数(常勤) 機構全体487名  
(本部100名(うち 事務職員94名、技術職員4名))  
(各施設387名(うち 事務職員376名))  
■職員宿舎  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
(但し、公務員宿舎への入居可能)  
■機関紹介HP  
https://www.niye.go.jp

#### 求める人物像

- 我が国の青少年教育をリードする気概をもち、常に向上心とチャレンジ精神をもって何事にも取り組める人
- 機構職員としての専門性を高めるとともに、自身の将来についてのビジョンを描くことができる人
- 当事者視点に欠かさず、課題意識をもって主体的に行動し業務を遂行できる人
- 笑顔で挨拶、そして思いやりの心をもって積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことができる人



# 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

### 冒険と創造の森

国立赤城青少年交流の家は赤城山の南麓、標高530mに位置し、赤城山の自然環境を活用した集団活動、各種の研修、野外活動及びスポーツ等のプログラムを行える社会教育施設です。

上毛三山(赤城山、榛名山、妙義山)の一つ赤城山は、黒檜山、駒ヶ岳、長七郎山、地蔵岳、荒山、鍋割山、鈴ヶ岳などの外輪山・中央火口丘・側火山などからなる山体の総称です。火口原湖の大沼、火口湖の小沼、「小尾瀬」と呼ばれる高層湿原の覚満淵などの湖沼及びそれらを取り巻く原生林などの自然にあふれています。四季を通じた豊かな自然環境の中、体験の場と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。

関越自動車道「赤城IC」から車で約20分、都心からのアクセスも2時間程度という立地条件もあり、広く県内外から利用されている施設です。

昭和46年の開所以来、恵まれた自然環境の中で様々な自然体験や集団宿泊体験などの体験活動や研修活動をとおり、青少年の健全育成に努めてきました。感性豊かで周りの人や自然を大切に思い、どんなことにも意欲的に取り組む人を育て、「青少年の自立」と「体験活動の普及」を目指します。

〒371-0101  
群馬県前橋市富士見町赤城山27  
■総務係  
☎ 027-289-7203  
akagi-soumu@niye.go.jp  
■全職員数(常勤) 13名  
(うち 事務職員12名)  
■職員宿舎  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
(但し、公務員宿舎への入居可能)  
■機関紹介HP  
https://akagi.niye.go.jp

#### 求める人物像

- 我が国の青少年教育をリードする気概をもち、常に向上心とチャレンジ精神をもって何事にも取り組める人
- 機構職員としての専門性を高めるとともに、自身の将来についてのビジョンを描くことができる人
- 当事者視点に欠かさず、課題意識をもって主体的に行動し業務を遂行できる人
- 笑顔で挨拶、そして思いやりの心をもって積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことができる人



# 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

### 豊かな体験活動を妙高で!!

国立妙高青少年自然の家は、平成3年に妙高戸隠連山国立公園内の妙高山麓の大自然の中に設置されました。本施設のある新潟県妙高市関山は例年3メートルを超える積雪がある豪雪地帯であり、四季それぞれの自然の恵みが豊かな地域です。

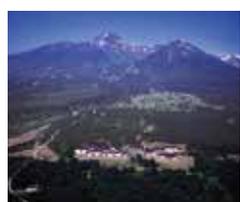
本施設は、青少年が恵まれた自然の中で仲間と集団で宿泊生活をしながら、四季それぞれの自然体験や野外活動を行い、豊かな心とたくましい体を育てることを目的とした教育施設です。また、「妙高の四季」を生かした野外活動や環境学習等の体験を通して、青少年の自立につながる教育プログラムの企画・実施・普及を行っています。

実体験が少なくなった現代の青少年が自然の家で行う体験活動は、子供たちの自立にとって大きな役割を果たしています。私たち職員は、「チーム妙高」として地域の皆様と一緒に、年間約13万人の子供たちに、豊かな体験活動を提供しています。次代を担う子供たちのために私たちが一緒に働いてみませんか。

〒949-2235  
新潟県妙高市大字関山6323-2  
■総務係  
☎ 0255-82-4321  
myoko-so@niye.go.jp  
■全職員数(常勤) 16名  
(うち 事務職員16名)  
■職員宿舎  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
(単身者・世帯用の区別なし)  
■機関紹介HP  
https://myoko.niye.go.jp

#### 求める人物像

- 我が国の青少年教育をリードする気概をもち、常に向上心とチャレンジ精神をもって何事にも取り組める人
- 機構職員としての専門性を高めるとともに、自身の将来についてのビジョンを描くことができる人
- 当事者視点に欠かさず、課題意識をもって主体的に行動し業務を遂行できる人
- 笑顔で挨拶、そして思いやりの心をもって積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことができる人



# 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

### 「自然の豊かさを見つけよう 考えよう 味わおう 楽しもう」

国立信州高遠青少年自然の家は、次世代を担う青少年の健やかな身体と豊かな心を育むことを目的とした教育施設です。本施設は、壮大な南アルプスと中央アルプスの秀峰を望み、高遠コヒガンザクラと城下町で知られる伊那市高遠町の晴ヶ峰高原に所在しています。広大なカラマツ林の中に白樺が点在し、小川のせせらぎ、小鳥のさえずり、可憐な草花など四季を通して自然が豊かです。

国立施設として、青少年教育の喫緊の課題に対応したモデル事業を企画・実施し、その成果を把握・分析し、公立施設等へ普及しています。併せて、青少年教育指導者の養成・研修や、青少年の体験活動等の重要性についての普及啓発を行っています。また、研修支援の充実と利用拡大を重点項目として、青少年をはじめとする施設利用者に対して、日常生活では体験することができない非日常的な活動を通して、感動体験をあたえることを全職員に共通した施設全体の目標としています。

当施設では、大学や教育委員会との人事交流を行いながら多様な人材を確保し、健全なる青少年の育成に向けて、職員は家族的な雰囲気のなか使命感を持って取り組んでいます。

〒396-0301  
長野県伊那市高遠町藤沢6877-11  
■総務係  
☎ 0265-96-2528  
takato-somu@niye.go.jp  
■全職員数(常勤) 14名  
(うち 事務職員14名)  
■職員宿舎  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
(単身用・世帯用の区別なし)  
■機関紹介HP  
https://takato.niye.go.jp

#### 求める人物像

- 我が国の青少年教育をリードする気概をもち、常に向上心とチャレンジ精神をもって何事にも取り組める人
- 機構職員としての専門性を高めるとともに、自身の将来についてのビジョンを描くことができる人
- 当事者視点に欠かさず、課題意識をもって主体的に行動し業務を遂行できる人
- 笑顔で挨拶、そして思いやりの心をもって積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことができる人



44



# 独立行政法人 国立女性教育会館

## 我が国の男女共同参画ネットワークの中核—NVEC(ヌエック)

国立女性教育会館(NVEC)は、我が国唯一の女性教育のナショナルセンターです。男女共同参画社会の実現のための推進機関として、様々な事業を実施しています。

国や地方公共団体、男女共同参画センター、大学、学校、企業、NPO等と連携を図りながら、男女共同参画を推進するリーダーや若年層を対象に、研修事業や調査研究事業を実施しています。また、広報・情報発信事業として、情報資料の収集・整理・提供や、女性アーカイブ機能の充実、eラーニングによる教育・学習支援を行っています。さらに、アジア地域の人材育成や国際的課題をテーマとしたセミナーなど、国際貢献事業にも力を入れています。

近年は女性活躍推進法、政治分野における男女共同参画推進法が施行されるなど、少しずつ女性活躍が推進されています。

しかし、海外と比較すると、我が国は、政策・意思決定過程への女性の参画が少なく、GGGI(ジェンダー・ギャップ指数)が149か国中110位です。また、男性中心の働き方、女性に対する暴力など課題が山積しており、男女共同参画社会の実現は未だ道半ばです。

男女共同参画社会の実現を目指して、NVECと一緒に働いてみませんか。

- 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
- 総務課人事・企画係 ☎0493-62-6714 admindiv@nwec.jp
- 全職員数(常勤)25名 (うち 事務職員15名、図書職員5名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <https://www.nwec.jp/>

### 求める人物像

- 我が国の最重要課題の一つである男女共同参画や女性活躍推進に興味、関心がある方
- 日々の業務に地道に取り組む真面目な方
- 向上心やチャレンジ精神をもって何事にも取り組める方



45



# 独立行政法人 国立科学博物館

## 1877年に創立された、自然史・科学技術史に関する国立唯一の総合科学博物館

国立科学博物館では、地球と生命の歴史、生物と地球環境の多様性、科学技術の歴史について実証的かつ継続的に調査研究を行っています。

これらの調査研究によって当館に登録された470万点を超える標本資料を、国民の共有財産であるナショナルコレクションとして適切に保管し、将来に継承していきます。

調査研究、標本資料の収集・保管を通じて蓄積した、知的・物的資源を、展示・学習支援事業などの方法で社会に還元し、人々の科学リテラシーの向上に資する事業を実施しています。

当館では、展示施設のある上野地区のほか、研究施設や筑波実験植物園がある筑波地区、都市緑地の附属自然教育園があり、それぞれの施設の特色を活かし、事業を展開しています。

事務職員は、総務・人事・財務・研究支援などを担う管理部門、展示・学習支援・博物館サービスなどを担う事業部門で幅広い業務に携わっています。また2019年4月には、博物館の物的・人的資源を最大限活用し、様々な事業を積極的に企画・実施することを目的とした「科学系博物館イノベーションセンター」を新設しました。新たな博物館活動が始まる科博を、私たちと一緒に盛り上げていきましょう。

- 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
- 経営管理部総務課人事担当 ☎03-5814-9816 jinji@kahaku.go.jp
- 全職員数136名 (うち 事務職員71名、技術職員2名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <http://www.kahaku.go.jp/>

### 求める人物像

- 当館の役割、使命、3つの主要事業、目指す姿を理解し、幅広い視野を持って業務に取り組むことができる方
- 当館に係わる関係法令を正しく理解し、幅広い業務について意欲的に取り組むことができる方
- 館の内外において積極的にコミュニケーションをとることができる方



46



# 国立研究開発法人 物質・材料研究機構

## 私たちの生活を支えている「材料」の研究を総合的・専門的に行う研究機関

石器時代から産業革命を経て現代まで、人類の発展は材料の進歩とともにありましたが、近年では地球規模の環境や資源問題の解決手段のひとつとしても注目が高まっています。

物質・材料研究機構(NIMS)はその物質・材料研究の分野における世界トップレベルの国立研究開発法人で、「明日を創る材料研究」をテーマに、未来を拓く物質・材料の研究と、その社会への還元日々取り組んでいます。

NIMSは材料に関する様々な最先端研究を行っており、国内外の多くの研究者が集います。その研究・研究環境を支える事務部門には、NIMSの経営戦略や、広報の企画を行う【経営企画部門】、知的財産の管理や国内外の他機関(企業、大学など)との連携推進を行う【外部連携部門】、職員の採用、研修、評価等を行う【人材部門】、総務、会計等業務を行う【総務部門】、NIMSの施設の企画、維持・管理を行う【安全・基盤施設部門】、法人としての内部統制、コンプライアンスを担当する【内部統制推進本部】などがあります。多種多様な業務の中で、あなたに相応しいキャリアを見つけてください。

- 〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1
- 人材部門人事室 ☎029-859-2020 jinji3@nims.go.jp
- 全職員数(常勤)562名 (うち 事務職員102名、技術職員65名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <http://www.nims.go.jp/>

### 求める人物像

- 単なる研究のアシスタントではなく、プレーヤーとして活躍できる方
- 各業務で専門的能力を磨きつつ、これに固執しない柔軟さのある方
- 他の職員との協業のため芯の強さと協調性を両立できる方
- 公的機関の職員として良識と責任をもって行動できる方



47



# 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

## 「生きる、を支える科学技術」によって災害を力強くしなやかに乗り越える

我が国は数多くの自然災害を経験しており、自然災害から国民の生命・財産を守ることが喫緊の課題となっています。国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及ならびに活用の促進といった業務を総合的にを行い、防災科学技術の向上を図り、その成果を防災対策へと反映させていくことによって、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指しています。

### ■主な研究業務

- 地震災害による被害の軽減に関する研究開発
  - 火山災害による被害の軽減に関する研究開発
  - 気象災害・土砂災害・雪氷災害等による被害軽減に関する研究開発
  - 災害に強い社会の形成に役立つ研究開発
- 職員数の少ない研究所ですが、職員の顔が見える、コミュニケーションの取りやすい職場です。また、色々な業務に携わることができるため、様々な経験を積むことができます。緑が多く自然環境に恵まれた職場です。

- 〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
- 総務部総務課 ☎029-851-1611 koubo@bosai.go.jp
- 全職員数(常勤)305名 (うち 事務職員148名)
- 職員宿舍 単身者用:無し 世帯用:無し
- 機関紹介HP <http://www.bosai.go.jp/index.html>

### 求める人物像

- 心身共に健康であり、素直で協調性のある人
- 粘り強く、向上心がある人



**我が国における芸術文化の創造と発展、国民の美的感性の育成を目指して…**

独立行政法人国立美術館は、美術振興の中心的拠点として、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立映画アーカイブ、国立西洋美術館、国立国際美術館、国立新美術館の6つの美術館を設置し、国内外の近現代美術に関する作品、西洋美術に関する作品などを収集・保管・展示し、館ごとに個性豊かで多彩な活動を展開しています。(関東甲信越地区内は東京国立近代美術館、国立映画アーカイブ、国立西洋美術館、国立新美術館)

本部事務局は、東京国立近代美術館内にあり、職員は東京国立近代美術館運営管理部の職員を兼ねています。法人本部として各館を統括する傍ら、美術館の運営にも携わります。また、採用後は、法人内の6つの美術館のいずれかで活躍していただきます。事務系職員が担当する業務には、総務・人事、財務・会計、渉外・広報などがあり、国立美術館の管理・運営の様々な角度へ活躍の場を拡げることができます。



国立新美術館

〒102-8322  
東京都千代田区北の丸公園3-1  
■独立行政法人国立美術館  
本部事務局人事担当係  
(東京国立近代美術館  
運営管理部人事担当係)  
☎ 03-3214-2583(ダイヤルイン)  
jinji@momat.go.jp  
■全職員数(常勤)112名  
(うち 事務職員57名)  
■職員宿舎  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
独立行政法人国立美術館  
<http://www.artmuseums.go.jp/>

**求める人物像**

- 美術館や芸術文化に興味のある方
- 国立美術館としての使命を果たす責任感のある方
- 自分で考え、企画し、行動できる方
- 様々な人と協働しながら、一緒に国立美術館を盛り上げていける方



オーギュスト・ロダン(考える人)(拡大作)  
国立西洋美術館 松方コレクション

**日本の伝統と文化を未来へ世界へ伝えたい。**

東京国立博物館は1872年(明治5年)に創設された日本初の博物館です。

上野公園内に位置し、日本と東洋の美術・考古遺物を収集・保管・展示するほか、各種講演会やワークショップ、イベント等のプログラムを通して、多くの方々から日本と東洋の美と文化、そして博物館に親しんでいただく機会を提供に努めています。

また、東京国立博物館の属する独立行政法人国立文化財機構は、東京・京都・奈良・九州の4つの国立博物館と東京・奈良の2つの文化財研究所、平成23年10月、大阪府堺市に開設しましたアジア太平洋無形文化遺産研究センター、7施設から成っており、各施設を統括する本部事務局は東京国立博物館内に置かれています。また、平成30年7月に国内外の様々な人が、日本の文化財に親しむ機会を拡大するために本部に文化財活用センターが設置されました。

当館は、文化財の収集、展示、保存、修復を目的としておりますので、職員の業務はすべてこの目的に関連しております。事務職員は、主に総務・人事・企画・研究推進・渉外・財務・経理・契約等のいずれかの職務に就くこととなります。他の国立大学法人等と重なる職務以外に、展示やイベント等に係わる博物館ならではの仕事も数多くあります。

〒110-8712  
東京都台東区上野公園13-9  
■本部事務局総務企画課  
(人事担当)  
☎ 03-3822-1111  
jinji@mn.nich.go.jp  
■全教職員数(常勤)154名  
(うち 事務職員60名、  
技術職員6名)  
■職員宿舎  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
<https://www.tnm.jp/>

**求める人物像**

- 貴重な文化財を守りながら未来へ伝え、日本の伝統と文化を継承していくという使命感を持っている方
- 新しいことに意欲的に取り組むチャレンジ精神を持っている方
- 積極的にコミュニケーションをはかることができる方



**文化財の保存と活用のために**

東京文化財研究所は、我が国の文化財全般にわたる調査研究や保存修復、また文化遺産保護の国際協力を行う研究所です。

1930(昭和5)年に黒田清輝の遺言と遺品により創設された帝国美術院附属美術研究所を母体とし、1952(昭和27)年の当研究所創設以来、有形・無形文化財についての基礎的・先端的な調査研究を進め、文化財保護行政を支える役割を果たしてきました。

また、東京文化財研究所の属する独立行政法人国立文化財機構は、東京・京都・奈良・九州の4つの国立博物館と東京・奈良の2つの文化財研究所、平成23年10月、大阪府堺市に開設しましたアジア太平洋無形文化遺産研究センター、7施設から成っており、各施設を統括する本部事務局は東京国立博物館内に置かれています。また、平成30年7月に国内外の様々な人が、日本の文化財に親しむ機会を拡大するために本部に文化財活用センターが設置されました。

東京文化財研究所(東文研)は小規模ながら、精鋭の職員を配し“チーム東文研”をモットーに日々の業務にあたっています。総務・会計を担当する係のほか、国際協力事業などの企画・渉外を担当する係があります。

文化財の保存修復や文化遺産の国際協力に興味のある方、ぜひ東文研と一緒に働きませんか!

〒110-8713  
東京都台東区上野公園13-43  
研究支援推進部管理課総務係  
☎ 03-3823-2244  
soumu@tobunken.go.jp  
■全教職員数(常勤)43名  
(うち 事務職員8名)  
■職員宿舎  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
<https://www.tobunken.go.jp>

**求める人物像**

- 貴重な文化財を守りながら未来へ伝え、日本の伝統と文化を継承していくという使命感を持っている方
- 新しいことに意欲的に取り組むチャレンジ精神を持っている方
- 積極的にコミュニケーションをはかることができる方



**全国的な教員の資質向上を目指して**

本機構は、(独)教員研修センター(平成13年設立)を前身とし、教職員に対する様々な研修を実施するとともに、教員に必要な資質に関する調査研究及びその成果の普及等の業務を加え、平成29年4月より新たに発足しました。

主な研修内容として、学校組織マネジメント、道徳教育、いじめ・不登校等の生徒指導、学校における安全教育などがあります。研修受講者は、校長、教員、その他の学校教育関係職員で、年間約8,000人を数え、地域の中核リーダーや研修の指導者として活躍しています。

また本機構では、研修教材の作成・提供や研修関連情報の発信、各都道府県市教育委員会への教員研修に関する指導、助言及び援助を実施するなど、教職員に対する総合的な支援を行う全国的な中核拠点として活動しています。

学校教育をめぐる今日的な課題を克服し、学校教育に対する国民の期待に応え、信頼される学校づくりを進めていくためには教員の資質能力の向上が不可欠です。教員研修の企画立案・実施という仕事を通して、我が国の教育、これからの子供たちのために一緒に働いてみませんか。

〒305-0802  
茨城県つくば市立原3番地  
■本部事務局総務企画課人事係  
☎ 029-879-6611  
jinji@ml.nits.go.jp  
■全教職員数(常勤)40名  
(うち 事務職員38名)  
■職員宿舎  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<http://www.nits.go.jp/>

**求める人物像**

- (独)教職員支援機構では、様々な課題に日々奮闘している学校の先生方に、タイムリーで魅力ある研修を提供するため、世の中の動向を素早くキャッチする広い視野や柔軟な発想を生かした企画力、それを着実に遂行する実行力を持った方を求めています。



国立大学法人等とは  
私たちのフィールド  
私たちのキャリア形成  
私たちのワーキングバランス  
国立大学法人  
大学共同利用機関法人  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
特別な学校法人



独立行政法人  
**大学改革支援・学位授与機構**

**大学等の評価、施設費交付、学位授与、大学の評価に係る国際連携活動で日本の高等教育を支援する**

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構は、大学等の教育研究活動の状況についての評価等を行うことにより、その教育研究水準の向上を図るとともに、国立大学法人等の施設の整備等に必要資金の貸付け及び交付を行うことにより、その教育研究環境の整備充実を図り、あわせて大学以外で行われる高等教育段階での様々な学習の成果を評価して学位の授与を行うことにより、多様な学習の成果が適切に評価される社会の実現を図り、我が国の高等教育の発展に資することを目的として活動しています。

また、我が国の高等教育機関の国際的な質の保証に寄与するべく、国際的質保証ネットワークへの参画等による評価事業の国際通用性を高めるための様々な国際連携活動や情報提供等を行っています。

当機構では、「評価事業」、「学位授与事業」、「質保証連携」、「施設費交付・交付事業」という大学とは異なる事業内容で、大学等と連携した業務に携わることができ、皆さんが当機構で、高等教育を多様な方向から支える業務に新たな視点と意欲をもって臨んでいただけることを願っています。

〒187-8587  
東京都小平市学園西町1-29-1  
■管理課総務企画課人事第1係  
☎ 042-307-1514  
krsjinji@niad.ac.jp  
■全教職員数(常勤)152名  
(うち 事務職員137名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し(他機関の宿舎を利用できる場合があります)  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<http://www.niad.ac.jp/>

**求める人物像**

- 日本の大学を世界で通用するよう支援したいと考えている人
- 大学に限らず、多様な学習の形態で学位を取得する学習者のサポートを行いたい人
- 国内外の評価機関と交流したり、全国各地の高等教育機関の教職員と協働して仕事をしたい人
- 教育環境の整備充実に関わりたいたいと考えている人
- 日々の業務を通じて、幅広い視野と専門性を身に付ける意欲のある人
- 変革を恐れず、新しいことにチャレンジしていける人



独立行政法人  
**国立高等専門学校機構本部事務局**

**「高専・学生のために何ができるか」を常に考えて実行する、若い職員が多い、活気のある組織です。**

国立高等専門学校(高専)は、実践的・創造的技術者を養成するため、中学卒業後、5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。高専では、幅広く豊かな人間教育を目指し、実験・実習を重視した専門教育を行い、大学とほぼ同程度の専門的な知識、技術が身につくカリキュラムを特徴としています。

現在、全国に51の国立高専があり、約5万人の学生が国際的に活躍する技術者となるべく、学生生活を送っており、それを支える約6千人の教職員が勤務しています。

高専機構本部は、学校現場である高専と違い、学生はおらず、また教員数も少ないですが、いわば高専全体の「舵取り役」として、また、「縁の下力持ち」として、企画や管理業務を担うことで高専と学生を支える重要な役割を担っています。その業務は、ロボコン(主催:高専連合会、NHK等)をはじめとする各種コンテストの企画・運営補助、全国一斉の学力試験の実施、教職員研修の実施、国際交流支援、51高専への予算配分等、多岐に亘ります。

組織全体を動かすスケールの大きな業務を若い職員も一丸となって企画運営することができ、大変やりがいのある職場です。

皆さんと一緒に高専を支えあえる日を楽しみにしています。

〒193-0834  
東京都八王子市東浅川町701-2  
■人事課人事係  
☎ 042-662-3158  
jinji@kosen-k.go.jp  
■全教職員数(常勤)121名  
(うち 事務職員85名、技術職員18名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<https://www.kosen-k.go.jp/>

**求める人物像**

「高専・学生のために何ができるか」を常に主体的に考え実行する、コミュニケーション力の高い方をお待ちしております。



独立行政法人国立高等専門学校機構  
**茨城工業高等専門学校**

**世界で活躍し世界に貢献できるグローバル・エンジニアの育成を目指して**

本校は、中学校までに学んだことを基礎とした5年制の「本科」と、本科で学んだ知識や技術を基礎とした2年制の「専攻科」で構成され、約1,100名の学生が在籍しています。

近年、グローバル化が進展している世界のなかで、激化する国際競争に勝ち残れるエンジニアや、資源、エネルギーや環境などの数多くの地球規模の問題に他国のエンジニアと協働して取り組むことのできるエンジニアの育成が急務となっています。

本校では、平成29年4月に5学科を1学科へ統合し、国際創造工学科を設置しました。グローバル化への対応に力を入れた教育を行い、複数の分野を幅広く学ぶことで、世界で活躍できるグローバル・エンジニアを育成します。

高校とも大学とも異なる環境で学び、人生で最も多感といわれる時期を過ごす学生を教職員が一丸となって教育、サポートしています。大変責任のある仕事ですが、同時にやりがいを感じられる仕事でもあります。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

〒312-8508  
茨城県ひたちなか市中根866  
■総務課人事・労務係  
☎ 029-271-2808  
jinji@sec.ibaraki-ct.ac.jp  
■全教職員数(常勤)112名  
(うち 事務職員27名、技術職員14名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<http://www.ibaraki-ct.ac.jp/>

**求める人物像**

- 世界で活躍し世界に貢献できるグローバル・エンジニアを育成するために、次のような人を求めています。
- 向上心を持ち、未来志向で行動できる人
- 環境の変化を認識し、柔軟に対応できる広い視野と思考を持っている人
- 困難な課題であっても最後までやり遂げようとする意欲を持っている人



独立行政法人国立高等専門学校機構  
**小山工業高等専門学校**

**探究と創造に挑戦し、今を見つめ未来を創る技術者を育てる高専を目指して**

本校は、生産現場や研究開発を担う中核的技術者を養成する高等教育機関として昭和40年に栃木県小山市に創設されました。現在は、機械工学科、電気電子創造工学科、物質工学科、建築学科の4学科と専攻科(複合工学専攻の1専攻に、学科構成に合わせた4つのコースを設置)という学科構成になっています。

本校では、「技術者である前に人間であれ」という教育理念に基づき、「健やかな心身」「豊かな人間性」「科学技術の研鑽と創造」を目標に、今日までに約8千名余の卒業生・修了生を社会に送り出してきました。

また、校内施設の地域イノベーションサポートセンターや栃木市に開設しているサテライト・キャンパス「とちぎ歴史文化まちづくりセンター」の活動等を通して地域の中核的高等教育研究機関として地域連携活動の強化に取り組んでいます。

高専は、教育現場であり、地域社会における研究拠点でもあります。その中で関わることとなる教職員、学生、企業の方々等様々な人と積極的にコミュニケーションを取りながら、一緒に魅力ある学校作りに携わってみませんか。

〒323-0806  
栃木県小山市大字中久喜771  
■総務課総務係  
☎ 0285-20-2116  
jinji@oyama-ct.ac.jp  
■全教職員数(常勤)120名  
(うち 事務職員32名、技術職員11名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<https://www.oyama-ct.ac.jp/>

**求める人物像**

- 笑顔で挨拶をし、相手の目を見てコミュニケーションが取れる人
- 周囲を巻き込みながら、率先して目標や課題に取り組むことのできる人
- 現状に満足せず、より良い姿に変えるため日々改善・改革を実行できる人
- 困難な状況においても、忍耐強く課題に取り組むことができる人
- 常に学ぶ姿勢を持ち、自らを高め続けることのできる人





## 独立行政法人国立高等専門学校機構 群馬工業高等専門学校

### ものづくりの夢と希望を持った学生達のお手伝いを一緒にしませんか！

本校は、中学校卒業後5年間ないし7年間の一貫教育を行う高等教育機関で、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり人類の繁栄に貢献できる人材を育成する」という教育理念のもと、豊かな教養と高度な専門技術を身につけた視野の広い科学技術者を育成することを目的としています。

学科は、機械、電子メディア、電子情報、物質、環境都市の5学科からなり、更に高度な教育を行う専攻科(生産システム工学専攻、環境工学専攻)を設け、今日の先端産業技術が必要とする創造的な技術者の育成に力を入れています。

本校の事務組織は、総務課、学生課の2課から構成されており、教育研究支援センターに技術職員が配置され、学校運営等に携わっています。

〒371-8530  
群馬県前橋市鳥羽町580  
■総務課人事・労務係  
☎ 027-254-9010  
jinji@jim.gunma-ct.ac.jp  
■全教職員数(常勤)115名  
(うち 事務職員27名、図書職員1名、技術職員13名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
(但し、単身者も世帯用を使用可)  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.gunma-ct.ac.jp/

#### 求める人物像

- 人が好きな方
  - 向上心のある方
  - 明るく元気な方
- 本校では、教員、職員ともに一丸となり高等専門学校の果たすべき役割を担い、ものづくりの夢と希望を持った将来性ある若い人たちとともに、新たな学校づくりを志す熱意ある方を求めています。



## 独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校

### 日本の未来を支える、若き力。それを支えるのは、あなたです。

機械、電気電子、電子制御、情報、環境都市の5学科及び専門性を深める専攻科(機械・電子システム工学専攻、制御・情報システム工学専攻、環境建設工学専攻)があり、最新の科学技術を教育しています。

さらに、地域に開かれた学校をモットーに地域の企業と共同研究を行う地域共同テクノセンターの活動や、各種公開講座の開設及び図書館の市民開放などを通じて地域の方々と共に歩んでいます。

事務職員の組織は、事務部長のもと「総務課」「学生課」の二課から構成され、学生支援、研究推進、国際交流、総務・人事、財務、施設整備などの学校運営業務に携わっています。

技術職員で構成される「教育研究支援センター」では、学生の技術教育や教員の研究サポート、高専教育で大切な実験・実習をはじめ、高専ロボコンや高専プログラミングコンテストなどのもの作りのサポートも行っています。

木更津高専は、いつも元気で活気あふれた声の響き渡る活気のある職場です。学生に近いフレッシュな皆さんの感覚を生かし、さらに活気のある学校づくりに協力してもらえることを期待しています。

〒292-0041  
千葉県木更津市清見台東2-11-1  
■総務課人事・労務係  
☎ 0438-30-4007  
ajinji@akisarazu.ac.jp  
■全教職員数(常勤)118名  
(うち 事務職員30名、技術職員14名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
http://www.kisarazu.ac.jp/

#### 求める人物像

本校は、実践的・創造的エンジニアの育成と、教育研究に基づく社会貢献に努めており、大学や自治体との連携、施設設備の充実、入学志願者や地域に対する広報活動、教職員の勤務環境改善、管理運営、財務面の効率化、外部資金の獲得などに、広い視野と熱意を持って、積極的に取り組む方を求めています。



## 独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校

### 世界に羽ばたくトップエンジニアをつくる

本校は企業に囲まれた都市型高専で、機械工学科・電気工学科・電子工学科・情報工学科・物質工学科の5学科と、その後のより高度な技術者教育を行うことを目的として、2年間の専攻科を設置しています。教員、技術職員、事務職員が一丸となって、若きエンジニアの卵達がより豊かな青春時代を過ごす場を提供することに力を注ぎ、現在・将来のニーズを読みとり、先取りし、そのニーズに応えられる創造力・実践力・応用力をもった技術者を育成しています。また、東京高専が生み出し、蓄積してきた学問の成果を広く社会に還元できるよう、地域の教育力向上、学術文化の発信、自治体との連携、産業界との連携などに積極的に取り組んでいます。その結果、多数の実践的技術者を産業界等へ送り出し、国内外から高い評価を得ています。

教職員相互が親しく、アットホームで穏やかな雰囲気があります。大学とは違い、一人ひとりの携わる仕事が多岐にわたるため、早いうちに多くの知識や経験を身につけられます。構内は、春夏秋冬それぞれ趣のある自然豊かな環境です。

私たちと一緒に、より良い学校づくりに挑戦してみませんか。

〒193-0997  
東京都八王子市栢田町1220-2  
■総務課人事・労務係  
☎ 042-668-5115  
jinji@tokyo-ct.ac.jp  
■全教職員数(常勤)113名  
(うち 事務職員32名、技術職員14名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り 世帯用:有り  
■機関紹介HP  
https://www.tokyo-ct.ac.jp/

#### 求める人物像

「高専・学生のために何ができるか」を常に主体的に考え実行するための3つの力

- 発信力
  - ・問題意識を常に持ち、自分の言葉で考えを発信
- コミュニケーション力
  - ・広い視野を持ち、互いの意見を尊重
  - ・積極的に意見交換ができる
- 挑戦力
  - ・前例や既成概念にとらわれず、より良い学校を目指し、積み続ける



## 独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校

### 人類の未来をきりひらく、感性ゆたかた実践力のある創造的技術者の育成

本校は、新潟県下第2位の人口を擁する長岡市に位置し、桜の名所として知られる悠久山公園に隣接する風光明媚な高台にあります。国立高等専門学校の第1期校として設置され、50年以上の歴史と実績を持っています。

大学教育とは異なり、中学卒業生を受け入れ、専門技術者を養成するために5年間一貫教育を行うほか、より高度な技術教育を行うことを目的とした2年制の専攻科を設置しており、約1,100名の学生が就学しています。

本校は産学官・地域連携と国際交流が盛んです。外部資金の獲得額や外国人留学生の受入数は全国の国立高等専門学校の中でもトップクラスです。また、アジア・欧米諸国の学校10校と学術交流協定を結んでおり、職員も海外出張する機会が与えられています。

職員の所属する組織には、事務部(総務課・学生課)と教育研究技術支援センターがあります。

本校の教育理念である「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかた実践力のある創造的技術者の育成」のため、私たちと一緒に力を合わせて、これからの長岡高専を創造しましょう。

〒940-8532  
新潟県長岡市西片貝町888番地  
■総務課人事係  
☎ 0258-34-9313  
jinji@nagaoka-ct.ac.jp  
■全教職員数(常勤)119名  
(うち 事務職員29名、技術職員14名)  
■職員宿舍  
単身者用:無し  
世帯用:無し  
■機関紹介HP  
http://www.nagaoka-ct.ac.jp/

#### 求める人物像

- 協調性のある方
- 積極性のある方
- 元気で明るく、常に前向きな方



# 63 独立行政法人国立高等専門学校機構 長野工業高等専門学校

## 優れた技術者は、優れた人間でなければならない

本校は、実践的技術者の養成を目的に設立された国立高専の一つとして昭和38年(1963年)に開校し、「優れた技術者は、優れた人間でなければならない。」の教育理念に基づき、知・徳・体のバランスが取れた全人的な教育を行っています。本校の教育システムは、5つの専門学科から成る5年間の一貫教育で、さらにより高度な技術教育を行うことを目的として設置された専攻科(2年間)への進学や、大学の3年次編入学という道も開かれており、卒業生、修了生は本校で培った実践的な知識・技術を武器に、多方面で活躍しています。

職員の組織は、事務部(総務課、学生課)及び技術支援部から構成され、本校が目指す教育理念の実現に向けて、学校運営に積極的に携わっています。

世界で活躍するエンジニアを育てる学校です。

次代を担う若者の成長を、教職員が一丸となってサポートします。

学生さんと教職員の熱いエネルギーは、「長野高専」の成長の原動力です。

あなたも一緒に成長しましょう。

〒381-8550  
長野県長野市大字徳間716  
■総務課人事係  
☎ 026-295-7004  
jinji@nagano-nct.ac.jp  
■全教職員数(常勤)120名  
(うち 事務職員27名、  
図書職員1名、技術職員15名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り  
世帯用:有り  
■機関紹介HP  
<http://www.nagano-nct.ac.jp/>

### 求める人物像

高専は、小規模な組織ですが、自然と早い時期から幅広い視点で考えて、責任感を持った仕事ができる環境です。そのような高専の仕事に対して、意欲的で向上心溢れ、若手らしいフレッシュな感覚・視点を持った方をお待ちしています。



# 64 特別な学校法人 放送大学学園

## 全ての人に開かれた、日本唯一の生涯学習機関

放送大学学園は、大学教育の機会に対する広範な国民の要請にこたえとともに、大学教育のための放送の普及発達を図ることを目的とした「放送大学学園法」に基づく特別な学校法人です。

放送大学学園が設置する放送大学は、学びたい全ての人びとに対して開かれた生涯学習の大学であり、大学としては日本唯一の放送局と全国57カ所にある学習センター・サテライトスペースを活かし、テレビ・ラジオ・インターネットを利用する遠隔授業、全国各地の学習センターで行う面接授業等、場所や時間を問わない多様な教育方法により、多くの人々の学習を支えています。

本学は、学生だけでなく職員も様々な機関から多彩な職員が集まっており、それぞれの知識や経験を結集して運営されています。そうした中でも、直接採用による職員には、長期的な視点に立って経営を担っていくことが求められ、採用後にはやりがいのある仕事を任せられる機会が多くあります。熱意ある皆さんと共に働けることを楽しみにしています。

〒261-8586  
千葉県千葉市美浜区若葉2-11  
■総務部総務課人事係  
☎ 043-298-4210  
jinji-grp@ouj.ac.jp  
■全教職員数(常勤)333名  
(うち 事務職員208名、  
図書職員6名、技術職員29名)  
■職員宿舍  
単身者用:有り 世帯用:有り  
(空き状況により使用可能)  
■機関紹介HP  
<http://www.ouj.ac.jp/hp/kyouin/index.html>

### 求める人物像

大学を取り巻く環境が大きく変化し大学間競争が激化しつつある中、本学も自らの地歩を固め、日本の生涯学習及び高等教育の充実発展に更なる貢献を行っていくために、弛まぬ変化を続けていく必要があります。そのために、以下のような人材を求めています。

- 組織の方針を理解した上で、自らの立場と役割を自覚し、他者と向き合い対話をしながら行動・協働することができる者。
- 様々なニーズや問題点を進んで収集・分析し、自ら課題を導き出すことができる、豊かな感受性と主体的な行動力を有する者。



# QUESTIONNAIRE

## 国立大学法人等の職員になって、良かったことはなんですか？

- 学生だけでなく、企業や教育機関の方々など、様々な立場、身分の方と関わることができること。
- いつでも学生さんの顔が見え、声が聞こえることで、ここにいる学生さん達の為に私たちの業務があると実感できること。
- 学生支援はもちろん、総務や人事、財務や研究支援など、多岐にわたる業務を経験することができること。
- 大学という学びの場にある職員の一員として、人を育てる仕事に関わっていただけること。
- 教育・研究の最前線に関われること。
- 第一線の研究者の方とお仕事をすることで、刺激を得られること。
- 直接的ではないが、大学で行われる様々な研究など社会に役立つ物事のサポートを行っている意識できること。
- 大学は今大きな転換期を迎えており、考えるべきことや取り組むべき課題は多い。職員に期待される部分も大きく、自分の心意気次第でなんでもできること。
- 定期的に異動があり、環境が変わることで良い意味で刺激的。多くの職種や幅広い年齢層の人たちと関わることで、新たな知識や価値観など学ぶことが多いこと。
- 公共性を使命として働けること。
- 文部科学省とのやりとりを行う中で、国の大学改革の動きと流れを鮮明に感じ取れること。

- 語学研修や他機関との合同研修等、各種充実しており、スキルアップや、他機関の方とも交流が出来ること。
- 夏季休暇・年末年始等、休みが計画的にとれること。
- 育休等も周囲にサポートしてもらえ、安心して取得できたことや、周りに育休等を取得した女性上司も多く、性差なく仕事に打ち込めること。
- ワーク・ライフ・バランスがしっかりしていること。
- 転居を伴うような異動が少ないため、生活拠点が安定すること。
- 安定した収入を得られること。
- 昼休みにサッカーやバドミントン等運動ができたり、大学の図書館や生協食堂を利用できること。

### 【技術系職員の声】

- 高い水準の教育活動を支援できること。
- 高いレベルの研究活動を間近に感じられ、胸が熱くなること。
- 医学・医科学に携わる職種においては、高度に専門的な知識や技術の修得に務めると同時に、高い倫理観や社会への配慮が求められ、常にこれらを忘れずに仕事に臨みたいと思っています。

# 「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」に参加して

## Q1. 航海プロジェクト支援参加の経緯について

3万年以上前に海を越えて日本列島に人々がやってきた沖縄ルートを再現する「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」。その本番航海は、現場を運営する研究者たちのチームと、ゴール地点である与那国島に設置した陸上本部に分かれて進められていました。陸上本部運営のため、各部署からメンバーが集められタスクフォースを結成することになり、前職での営業経験や、最初の配属先である財務課での経験を見込まれ今回のメンバーに選ばれました。

## Q2. 出張のミッション、具体的にどのような仕事をしたのか、印象に残っていること、今後の目標等について

### 【ミッション】

今回の本番航海は、男女5人の漕ぎ手が杉の木から作った丸木舟に乗り、時計・コンパス・GPSなどを持たず、風・うねり・太陽・星などを使って台湾から与那国島を目指して針路を探る航海実験です。ゴール地点である与那国島に設置した陸上本部の運営が事務担当である私の主なミッションです。

### 【陸上本部の仕事】

国外である台湾から航海してきた漕ぎ手メンバーを、国際港のない与那国島で受け入れる為に入国管理検査・検疫・税関検査の受入体制手配を行いました。その他にも、丸木舟と並走している伴走船から衛星電話を介して入ってくる情報を、関係機関だけでなくSNSで一般人へ情報を素早く提供する情報発信業務。記者からの取材・問い合わせ対応等、業務は多岐に渡りました。

丸木舟がゴールした際は、自らがカメラマンとなり写真・動画撮影を行いリアルタイムで情報発信しつつ、漕ぎ手メンバーの誘導や記者会見場の準備も行いました。

### 【印象に残っていること】

丸木舟が与那国島へ到着するその瞬間、関係者、島民、取材陣からの声援により現場の盛り上がりはとてつもないものでした。私は最初から携わっていたわけではないですが、裏方の仕事で本番航海をサポートし、3年におよぶプロジェクトが達成する世紀の瞬間に立ち会えた時は、大きな喜びと達成感が込み上げてきました。

### 【今後の目標】

博物館職員としてタスクフォースに参加するのは今回が初めてでした。それぞれのメンバーが任務をこなし、力を合わせ助け合いながら一つの目標に向かっていく姿勢を、今後の博物館人生にも活かしていきたいです。



国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター  
マーケティング・コンテンツ開発担当  
平成30年度採用

トヨタ アロウ

豊田 晃郎

## 採用試験のプロセス

情報収集(説明会への参加・各機関のHP)、試験案内の確認

事務系  
事務

事務系  
図書

技術系  
電気/機械/土木/建築/化学/  
物理/電子・情報/資源工学/農学/  
林学/生物・生命科学

第一次試験申込

第一次試験／教養試験

一般知識20題(社会7、人文7、自然6)  
一般知能20題(文章理解7、判断推理8、数的推理及び資料解釈5)

第一次試験合格

第二次試験  
面接等

第二次試験  
図書系専門試験  
面接等

第二次試験  
面接等

※第二次試験は各機関で実施。希望機関へ各自申込みが必要。

最終合格(内定)

# 全国の国立大学法人等職員採用試験について

国立大学法人等職員採用試験は、地区ごとに職員採用試験を実施しています。  
各地区の詳細については、それぞれのHPでご確認ください。



北海道地区 (採用試験事務局)  
TEL 011-706-2019



東北地区 (採用試験事務局)  
TEL 022-217-5676



近畿地区 (採用試験事務局)  
TEL 075-753-2230



関東甲信越地区 (採用試験事務局)  
TEL 03-5841-2768 ~ 2770



東海・北陸地区 (採用試験事務局)  
TEL 052-788-6053 ~ 6054



中国・四国地区 (採用試験事務局)  
TEL 082-424-5616



九州地区 (採用試験事務局)  
TEL 092-802-2340

編集・発行

関東甲信越地区

国立大学法人等職員採用試験事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本部内)

TEL 03-5841-2768~2770

<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>